

機械設備工事特記仕様書

I 工事概要

Table with 2 columns: No. (1-4), Item (1. 工事項目, 2. 工事場所, 3. 工期, 4. 建物概要)

Table with 2 columns: 建物名称, 構造, 階数, 延面積 (㎡), 消防法施工令別表第一, 備考

5 工事種目 (●印を付いたものを適用する。)

Table with 2 columns: 建物別及び屋外工事種目 (○空気調和設備, ●換気設備, ●衛生器具設備, ●給水設備, ●排水設備, ○配原機設備, ○ガス設備), 工事種目 (1-5), 屋外

- 6 指定部分 (○無, ●有 (令和年月日) を目途とし、工事対象範囲のうち、)
7 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)
9 機械設備工事概要 (トイレ改修工事に伴う機械設備工事、受水槽・高架水槽の更新)

Table with 2 columns: 埼玉県環境配慮方針の適用項目 (12), 長寿命機材の選定 (2-3-3), ●設備更新を踏まえた計画 (2-3-4), ●再生品の優先使用 (2-3-6), ●有害物の放数量が少ない材料の使用 (2-4-2), ●発生材の再資源化を推進 (3-1-6), ●フロン等の回収、破壊を行う (4-1-1), ●代替フロンの使用抑制 (4-1-2), ●新冷媒の採用 (4-1-3), ●太陽熱利用システムの導入 (5-1-2), ●高効率機器の採用 (5-2-2), ●ゾーニングの工夫 (5-3-1), ●外気冷房制御の導入 (5-3-2), ●搬送動力の低減 (5-3-3), ●ヒートポンプの採用 (5-3-4), ●熱回収システムの導入 (5-3-5), ●コージェネレーションの導入 (5-4-1), ●節水機器の採用 (6-1-1), ●雨水利用 (6-1-3), ●排水再利用 (6-1-4), ●アスコン廃材の再利用 (6-3-2), ●再生塩ビ管の採用 (6-3-3)

- 10 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。
11 同時期発注の関連工事 (●建築工事 ●電気設備工事)

II 工事仕様

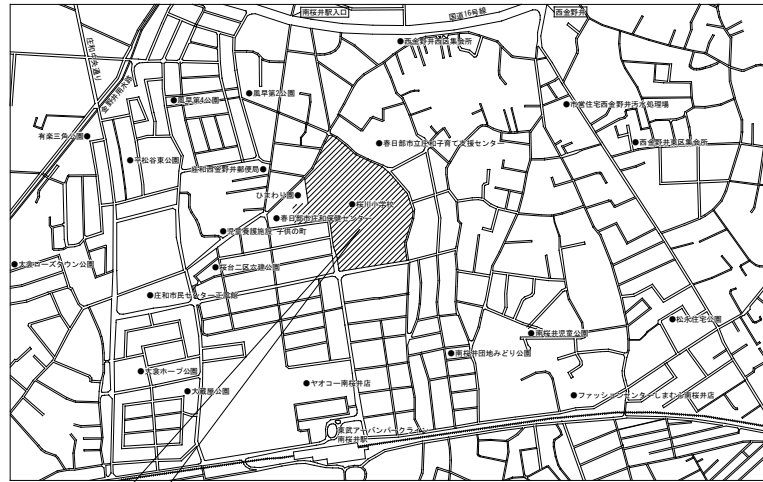
- 1 共通仕様 (1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書 (以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編)、公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) (以下「標準仕様書」という。) 及び監督員の指示に従い施工する。
2 特記仕様 (1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものがなければ、※印を適用し、●印のものは適用しない。○印とⓧ印の付いた場合は、共に適用する。

Table with 2 columns: 章項目, 特記事項 (1. 機材等, 2. 電気保安技術者, 3. 施工条件, 4. 技能士の適用, 5. 機材の検査及び試験, 6. 監督員事務所, 7. 官公署その他への届出手続等, 8. 工用電力・水等, 9. 工用仮設備, 10. 足場・さんばし類, 11. 残土処分, 12. 埋め戻し土・盛土, 13. 再生砂、再生砕石、再生アスコン使用, 14. 発生材の処理等, 15. 容量等の表示, 16. 配管, 17. 耐震施工)

Table with 2 columns: ⑬ 防露保温工事, ⑭ 防露保温工事 (給排水衛生設備工場の保温の種別, グラウトの保温の種別, 給排水衛生設備工場の保温の種別)

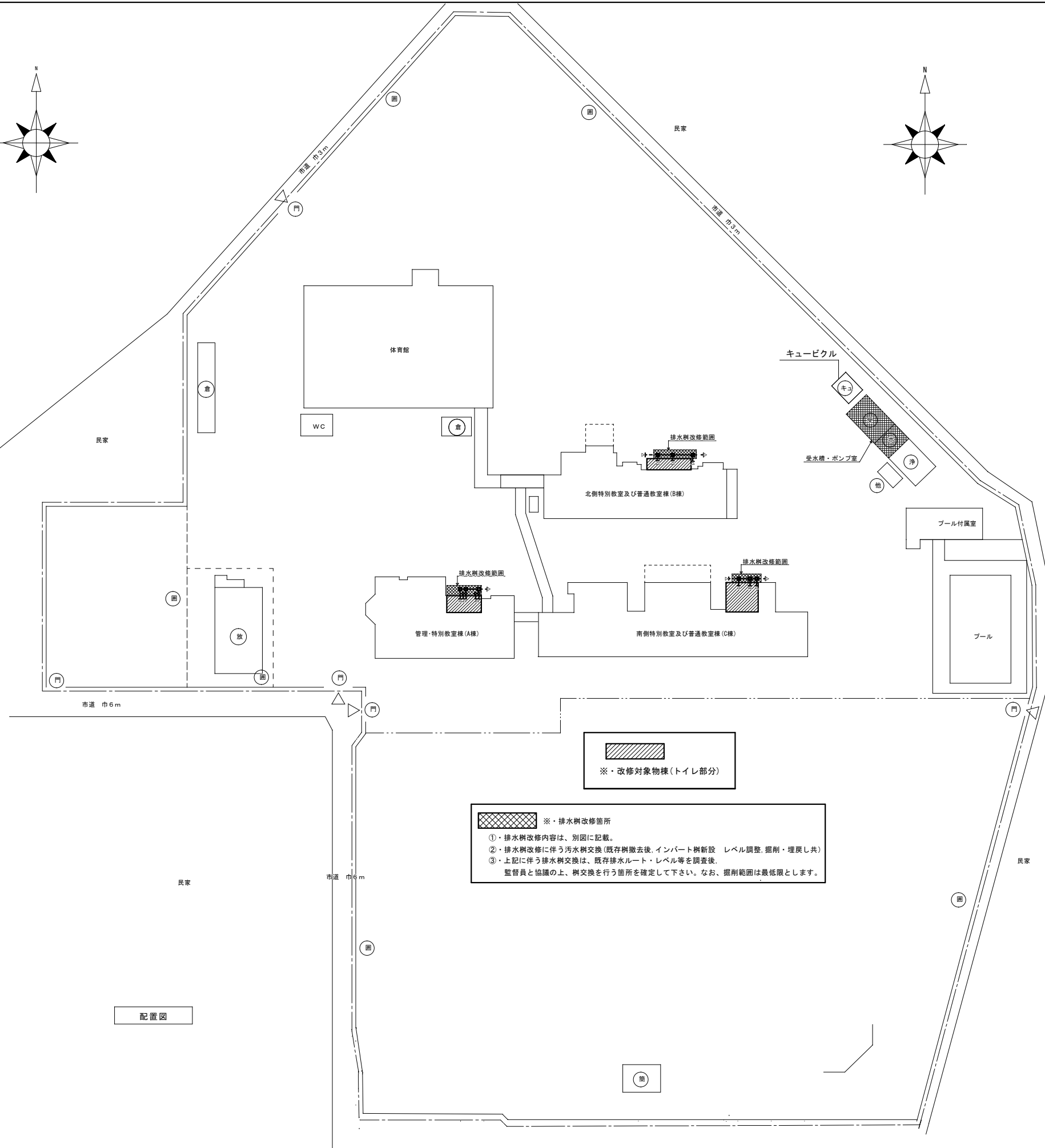
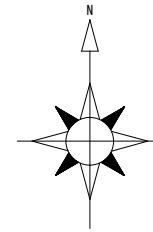
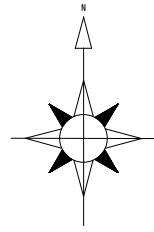
Table with 2 columns: ⑮ 管の埋設深さ, ⑯ 既設管分岐・接続, ⑰ 絶縁紐手の設置・種別, ⑱ 26 天井仕上げ区分, ⑳ 71 工事との取合区分, ㉑ 28 施工図等の取扱い, ㉒ 29 保 険, ㉓ 30 配管識別, ㉔ 31 塗落制止用器具 (フルハネス型), ㉕ 32 施工計画書, ㉖ 33 誘導電動機, ㉗ 34 その他, ① 共通事項, ② 改修部分の足場, ③ 既存部分養生・既存家具等養生, ④ 備品等の移動, ⑤ 仮設間仕切り, ⑥ 撤去後機材の扱い, ⑦ 支持金物の再使用, ⑧ あと施工アンカーの種別, ⑨ フロン回収, ⑩ 総合調整, ⑪ 既設基礎等の解体はつり, ⑫ アスベスト事前調査結果の報告, ⑬ その他

	(3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。 (4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一時的取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの(一財)日本石油燃焼機器保守協会)が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。	18 空気熱源ヒートポンプ空調機 標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御・オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC (R410A、R32又はR407C) (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。	12 凝音装置 ・女子用トイレブースに設置する。(※本工事・別途工事) ・男子用トイレブースに設置する。(※本工事・別途工事) ・多目的トイレブースに設置する。(※本工事・別途工事) 衛生設備器具の適用等の必要などは別途衛生設備器具表による。	2 洗面器等の排水管 洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。 3 満水試験継手 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット・満水試験用掃除口ソケット 4 樹の適用 別紙附表による。	1 配管材料 ・露出部 M鋼管 その他 保温付被覆銅管 (M鋼管) ・一般配管用ステンレス鋼管 ・ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法) 2 絶縁ランジ 取付部は下記による。 ・鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ・鋼管とステンレス管及びこれに類する部分 3 井 類 (1) 規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取付ける弁は、JV8-11による。 4 ガス瞬間湯沸器 ・屋外設置の潜熱回収型・PS扉内設置の潜熱回収型 5 電気給湯器 飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。
○ 空気調和設備	1 設計温湿度 表 外 気 温度 (DB) 湿度 (RH) 温度 (DB) 湿度 (RH) 温度 (DB) 湿度 (RH) 温度 (DB) 湿度 (RH) 夏 期 36.9℃ 46.1% 28℃ % % 冬 期 0.6℃ 50.7% 20℃ % % ※外気処理用エアコンの室内設定値は、夏期湿度50%とする。 2 総合試運転調整 ※本工事・別途 風量調整 ※する・しない 水量調整 ※する・しない 騒音の測定 ※する・しない 室内外空気の温湿度の測定 ※する・しない 室内気流及びじんあいの測定 ※する・しない 初期運転状態の記録 ※する・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ※する・しない 3 煙 道 (1) 鉄板厚 (※3.2mm・4.5mm) (2) ばい煙濃度計 ※設ける・設けない (3) ばいじん量測定口 ※設ける (測定口は80φとする)・設けない 4 煙 突 ※別途・本工事 5 長方形ダクト ※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (A区分 B区分) ・塩ビ製ダクト (A区分 B区分) 6 円形ダクト ※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (VU) ・換気用耐火二層管 (大臣認定品) ※フレキシブルダクト (保温付・保温無) (注1) 使用区分は図示による。 7 風量測定口 取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト 8 チャンパー (1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300・300×500 ※400×600・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。 9 吹出口及び吸込口ボックス ※亜鉛鉄板製・ガラスウール製 10 ダンパー (1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ビストンダンパー 復帰方式 (※遠隔) 11 配管材料 (1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ (3) プライン管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ (4) 冷媒管 ※断熱材被覆銅管 (保温厚mm ガス管 ※20以上・10以上 液管・20以上 ※10以上) ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚は、8mmとしてもよい。 (5) ドレン管 (屋外) ※配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管VP ドレン管 (屋内) ※保温機能付空調用ドレン管 (ISO/ACI/IN/IT 相当品) ・ 耐火二層管VP (FDPS-1) ・ 配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管VP (消防協議事項: ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ (7) 蒸気管 給水管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ 給水管 ※圧力配管用炭素鋼管 (黒) Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ 12 井 類 規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。 また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。 13 温度計 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ※ダクト接続形空気調和機のサブライチャンパー、レタンダクト、 外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・ 14 圧力計 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ※冷温水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・ 15 瞬間流量計 瞬間流量計はビト管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は (※1個・個) 付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに (※固定形・着脱形) を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに (※固定形・着脱形) を設ける。 16 油面制御装置 ※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ (※固定形・着脱形) を設ける。 制御盤には (※給油ポンプ制御 ※満減油警報・遠隔警報・電磁弁制御 ・返油ポンプ制御) の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。 17 冷却塔 ※直交流式・向流型 ※レゾナラ風扇殺菌剤等の自動薬液注入装置 ※自動ブロー装置 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。	1 長方形ダクト ※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (A区分 B区分) ・塩ビ製ダクト (A区分 B区分) 2 円形ダクト ※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (VU) ・耐火二層換気管又は耐火VP ※フレキシブルダクト (保温付・保温無) (注1) 使用区分は図示による。 3 風量測定口 取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト 4 チャンパー (1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300・300×500 ※400×600・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。 5 ダンパー (1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ビストンダンパー 復帰方式 (※遠隔) 6 多温箇所排気ダクト (1) 排気ダクトのうち下配管は硬質塩化ビニル管 (VU) (防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火VP) を使用できる。 ※浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) ・ (2) 水抜き管は (※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分) の排気ダクトには設ける 7 保 温 下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠れ部ダクト 仕様はN・(口)・XIとする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 ・ (※厨房・湯沸室) 用の隠れ部ダクト (仕様はh・(イ)・IXとし範囲は図示による) 8 試運転調整 風量調整 ※する・しない 風量測定 ※する・しない 騒音の測定 ※する・しない ○ 排煙設備 1 ダクト ※亜鉛鉄板 2 排煙口の形式 ※天井取付 (スリット形 ※スイング形) ・壁取付 (スリット形・スイング形) 3 排煙口手動開放装置 開放及び復帰方式 ※ワイヤー式・電気式 (遠隔操作・不要・要) 4 排煙風量測定 建築設備定期検査基準書 (一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。 ○ 自動制御 1 中央監視制御装置 ・有り ※無し 2 構成・機能 図示による 3 電気計装用機材 使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠れ電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。 ○ 衛生器具設備 ① 小便器用節水装置 JIS B 2026 (自動水栓) による電気開閉式とし、小便器 (※一体形・分離形) とする。 ② パリアフリー対応 ・小便器 ※全部ストール形 一部ストール形 手すり (※本工事・別途工事) ・洗面器 ※自動水栓 (全部 ※一部) ・レバー式水栓 (一部) ・シャワー ※サーモスタット式・ミキシング式 ※スライドバー・フック ※止水機能付節水形シャワーヘッド ・鏡 ※600×800 (耐食鏡) ・傾斜鏡・照明無・照明付) ③ 衛生器具付属水栓 (1) 器具付属止水水栓は ※ドライバース式・ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。 ④ 自動水栓類の電源 ・AC100V・乾電池等 ※自己発電 ⑤ 暖房便座 (1) JIS A 4422 (温水洗浄便座) とする。 (2) 機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭・温風乾燥・トイレ室内暖房 (3) 温水洗浄加熱方式 ※瞬間式・貯湯式 (4) 使用液体は、飲料用水道水とする。 (5) リモコン・AC100V・乾電池等 ※自己発電 ⑥ 大便器洗浄弁・洗浄用タンク 器具表又は下記の場合を除き、※節水I型・節水II型とする。 ・洗浄弁操作方式は、※手動式・電気開閉式 (※センサー式・タッチスイッチ式) ・上層階で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動圧を確認し、必要に応じて低圧形とする。 ⑦ 大便器耐火カバー ※設ける (ビツ内は除く) ・設けない ⑧ 掃除用 ※共栓なしとする。・共栓付とする。 ⑨ 排水器具用ゴミ継手 ※使用できる・使用できない 10 標 記 板 大便器、小便器の洗浄用水に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。 11 水せつけん入れ せつけん供給栓等がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗いに設ける。	● 給水設備 ① 配管材料 配管材料は、※下記・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。 管 種 別 施工箇所 床下、暗渠内 (ビツ内、共同溝を含む) ※HIVP・SGP-PD ・ポリブテン管 ウエット厨房、浴室等の温湿シンダー内配管 ※SUS・SGP-PD ※HIVP ・ポリブテン管 保温をしない屋外露出部 ※HIVP・SGP-PD 地中埋設部 (水道直結部分) ※HIVP・水道用ステンレス鋼管 ・水道配用水用ポリエチレン管 (PE) 上水配管 地中埋設部 (一般部分) ※HIVP・水道用ポリエチレン管 ・水道配用水用ポリエチレン管 (PE) ・ 県営住宅 住戸内 ・ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法) 便所天井内、PS内 ※HIVP 便所天井内 ・ポリブテン管 (10mm保温付) 便所空腔壁内又は衛生器具等接続管 ・ポリブテン管 その他の部分 ・SUS・SGP-PD ※HIVP ・ポリブテン管 床下、暗渠内 (ビツ内、共同溝を含む) ・SUS・SGP-PD・HIVP ・ポリブテン管 温湿シンダー内配管 ・SUS・SGP-PD・HIVP ・ポリブテン管 保温をしない屋外露出部 ・SUS・SGP-PD 地中埋設部 (一般部分) ※HIVP・水道用ポリエチレン管 ・水道配用水用ポリエチレン管 (PE) 中水配管 便所天井内、PS内 (注5) ・高密度ポリエチレン管 (32A以上) 便所天井内 ・ポリブテン管 (10mm保温付) 便所空腔壁内又は衛生器具等接続管 ・ポリブテン管 その他の部分 ・SUS・SGP-PD・HIVP ・ポリブテン管 (注) 1. SUSとは、JIS G 3448 またはJIS G 115に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部 (圧縮 ※ゲージ・拡張) 使用・廊下流し廻り露出配管 (※拡張) とする。 2. ステンレス管に取付ける弁は、JV8-11による。 3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、誤接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。 4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用柵を設ける。 5. 口径25Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。 6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂 (PE100) を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。 2 一体形タンク 一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。 ③ 水 栓 ※給湯用水栓を除き大きめの呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。 4 量 水 器 ※親メーター (※買与品) ・子メーター (※買取り) ・ 5 量水器柵 ※水道事業者指定品・標準図MC形 6 井 類 規格はJIS又はJVとし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。 7 水 栓 柱 ・防寒コンクリート水栓柱 (1200L) ※不凍給水栓 8 建物導入部配管 図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4 (・(a)・(b)・(c)) 9 検針方法 水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。 10 水道利用加入金 水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事に含む。 11 本管取出し 水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。	○ 消火設備 1 配管材料 屋内消火栓用 一般配管※SGP (白) ・STPG370 (白) Sch40 地中埋設※SGP-VS・HIVP ・高密度ポリエチレン管 (消火用) 消火用 一般配管※SGP (白) ・STPG370 (白) Sch40 地中埋設※SGP-VS・HIVP ・高密度ポリエチレン管 (消火用) 不活性ガス消火用 ・STPG370 (白) Sch40 ・STPG370 (白) Sch80 2 建物導入部配管 図示部分について下記のとおり施工する。 ・埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4 (・(a)・(b)・(c)) ○ ガス設備 1 配管材料 ・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆鋼管・SGP (白) 地中埋設 ※PE管 2 ガス漏れ警報 進断装置 漏洩検知装置は、流量検知圧力監視型とする。 3 液化石油ガスの供給権 ガス設備工事の施工者にガスの供給権が付帯しない。 ○ 厨房設備 1 厨房機器の固定 原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 2 シンク用水栓 ・レバー式泡沫水栓・自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。 舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書 第1条 この特記仕様書は、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水 (以下「濁水」という。) の処理に必要事項を定めるものである。 第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ・種類及び処理量 汚泥 (油分を含む汚泥) m3 ・中間処理施設 市 地内、(株) ・処理方法 ・中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は溶解含まず) ・中間処理後、最終処分場又は再資源化 (処理に焼却又は溶解を含む) 2 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。 第3条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥 (油分を含む汚泥) として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票 (以下「マニフェスト」という。) により管理するものとする。 第4条 受注者は、施工計画において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2 受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。 第5条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。 2 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合には、事前に監督員と協議するものとする。 3 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。	
			春日部市 学校教育課 教育施設課	川小学校校舎トイレ改修工事 機械設備工事特記仕様書 (2)	M-02



工事場所：春日部市大倉496-1

案内図



※・改修対象物棟(トイレ部分)

※・排水樹改修箇所
 ①・排水樹改修内容は、別図に記載。
 ②・排水樹改修に伴う汚水樹交換(既存樹撤去後、インパート樹新設 レベル調整、掘削・埋戻し共)
 ③・上記に伴う排水樹交換は、既存排水ルート・レベル等を調査後、
 監督員と協議の上、樹交換を行う箇所を確定して下さい。なお、掘削範囲は最低限とします。

配置図

撤去衛生器具表

器具名	型式	設置場所					合計	設置場所						合計	設置場所						合計
		管理・特別教室棟トイレ (A棟)						北側特別教室及び普通教室棟トイレ (B棟)							南側特別教室及び普通教室棟トイレ (C棟)						
		1階女子トイレ	1階男子トイレ	2階女子トイレ	2階男子トイレ			1階女子トイレ	1階男子トイレ	2階女子トイレ	2階男子トイレ	3階女子トイレ	3階男子トイレ			1階女子トイレ	1階男子トイレ	2階女子トイレ	2階男子トイレ	3階女子トイレ	
和風大便器	フラッシュバルブ	3		2	1		6組	3	1	3	1	3	1	12組	1	1	1	1	1	1	6組
洋風大便器	フラッシュバルブ	1	1	1	1		4組	1	1	1	1	1	1	6組	6	2	6	2	6	2	24組
紙巻器		4	1	3	2		10個	4	2	4	2	4	2	18個	7	3	7	3	7	3	30個
床ストール小便器	フラッシュバルブ		3		4		7組		4		4		4	12組		7		7		7	21組
壁掛け洗面器	立水栓×1	2	2	3	3		10組	2	2	2	2	2	2	12組	4	3	4	3	4	3	21組
掃除用流し		1					1組	1	1	1	1	1	1	6組	1	1	1	1	1	1	6組
化粧鏡	350×450	2	2	3	3		10枚	2	2	2	2	2	2	12枚	4	3	4	3	4	3	21組
手摺り															1	2	1	2	1	2	9組

※注記
1. 和風便器撤去後の開口部閉塞は建築工事とする。

撤去機器表

機器名	仕様	電源			設置場所	台数	備考
		φ	V	W			
自動排水ポンプ(SP-1)	強化樹脂製水中ポンプ フロートスイッチ付自動型 40φx60L/mx5mH	1	100	250	管理・特別教室棟トイレ：ピット内	1台	
受水槽(T-01)	材質：FRP製 外形寸法：4.0x5.0x1.5H				屋外	1基	
高架水槽(T-02)	材質：FRP製 外形寸法：2.5x4.0x1.0H				北側特別教室及び普通教室棟：PHR階	1基	
高架水槽(T-03)	材質：FRP製 外形寸法：2.0x2.0x2.0H				南側特別教室及び普通教室棟：PHR階	1基	

撤去機器表

機器名	仕様	設置場所	台数	備考
天井換気扇(EF-1)	150φx210m3/hx70Pa	管理・特別教室棟トイレ：1～2階	4台	
壁付換気扇(EF-2)	250φ SUS製ウエザーカバー共	北側特別教室及び普通教室棟トイレ：1～3階	6台	
壁付換気扇(EF-3)	300φ SUS製ウエザーカバー共	南側特別教室及び普通教室棟トイレ：1～3階	6台	

新設衛生器具表

器具名	型式	参考品番	付属品	設置場所							設置場所							設置場所							合計												
				管理・特別教室棟トイレ (A棟)							合計	北側特別教室及び普通教室棟トイレ (B棟)							合計	南側特別教室及び普通教室棟トイレ (C棟)							合計										
				1階男子 対応トイレ	1階女子 トイレ	1階女子 トイレ	2階男子 トイレ	2階女子 トイレ	2階女子 トイレ	2階女子 トイレ		1階男子 トイレ	1階女子 トイレ	2階男子 トイレ	2階女子 トイレ	3階男子 トイレ	3階女子 トイレ	1階男子 トイレ		1階女子 トイレ	2階男子 トイレ	2階女子 トイレ	3階男子 トイレ	3階女子 トイレ													
洋風大便器 (掃除口付)	連続洗浄対応型タンク式	CFS-498BC	壁給水、床排水 普通便座: 変なしスローダウン機能付・ワンタッチ着脱式・大型 付属品共一式 紙巻器: SUS製2連棚付・ワンタッチ式・高荷重タイプ・付属品共			1	2	3			6組	2	4	2	4	2	4					18組					2	4	2	4	2	4					18組
洋風大便器 (掃除口付)	連続洗浄対応型タンク式	TCF-5831AUY	壁給水、床排水・洗浄便座: 貯溜型変なしスローダウン機能付・ワンタッチ着脱式・大型 タッチスイッチリモコン 付属品共 紙巻器: SUS製2連棚付き			1					1組																										
車椅子対応大便器	高座面対応	C-480AN	壁給水、床排水 自動洗浄フラッシュ弁 (人体感知センサー付き) 洗浄便座: 楕円形 (変なし 金属ベースプレート付) タッチスイッチエコリモコン 電波受信ユニット 付属品共 紙巻器: SUS製2連棚付・ワンタッチ式・高荷重タイプ・付属品共	1							1組													2	2	2									6組		
自動洗浄小便器		UFS-900WR	壁掛 低リップ型 発電式 (バッテリー式) 付属品共		2		3				5組	4		4		4											4		4		4				12組		
壁掛け洗面器		L-250C	壁給水 自動単水栓 発電式 (バッテリー式使用回数制限なし) 排水栓なし 水せっけん入れなし 排水Pトラップ 付属品共		2	2			4		8組	2	3	2	3	2	3										2	3	2	3	2	3				15組	
車椅子対応洗面器		L-103A	壁給水 自動単水栓 発電式 (バッテリー式使用回数制限なし) 排水栓なし 水せっけん入れなし 排水Pトラップ 付属品共																					2	2	2										6組	
カウンター一体型洗面器		MLRA-50B	台付自動水栓発電式 (バッテリー式使用回数制限なし) 排水金具 (床) 固定部材一式	1							1組																										
掃除用流し		SK-22A	換水栓 アングル形止水栓 床排水金具 (Sトラップ) バックハンガー 付属品共			1			1		2組	1	1	1	1	1	1											1		1		1				3組	
マルチシンク		SK-500	換水栓 壁排水金具 バックハンガー 付属品共																								1		1		1					3組	
化粧鏡	耐食鏡	YM-3580FC	耐食形 350×800 耐食鏡 付属品共 左右両取り加工		2	2			4		8組	2	3	2	3	2	3							2	2	2	2	3	2	3	2	3				21組	
腰掛便器用てすり	樹脂被覆タイプ	T-112CL10	L 形 700L 付属品共	1		1	1	1			4組	1	1	1	1	1	1							2	2	2		1		1		1				9組	
可動式便器用てすり	樹脂被覆タイプ	T-112HK7R	跳ね上げ形ロック付き 付属品共	1							1組													2	2	2	1		1		1					9組	
小便器用てすり	樹脂被覆タイプ	T-112CU22			1		1				2組	1		1		1											1		1		1					3組	
洗面器用てすり	樹脂被覆タイプ	T112CP21-1	P形 700L 付属品共									2		2		2											2	2	2	2	2	2				12組	
洗面器用てすり	樹脂被覆タイプ	T112CP21-1	P形 550L 付属品共		2	2			2		6組		2		2		2																			6組	

※注記

1. 陶器の色は、施工時に打ち合わせの上決定する。
2. モップ掛け・雑巾掛け・姿見鏡は、建築工事とする。
3. 壁に取り付ける器具取付用の合板補強は、建築工事とする。
4. 最上階の器具は、低水圧対応とすること。
5. 手摺及び紙巻器の取付け・納まりは、建築意匠図 (部分詳細図) を参照する。
6. 衛生器具廻りの水掛り部 (洗面器や掃除用流しの上端・側面側) は、シーリング (SR-1) を施工する。

新設換気扇

記号	機器名	仕様	電源			設置場所	台数	備考
			φ	V	W			
E F-1	天井扇	形 式 低騒音タイプ 150φ×250m3/h×120Pa	1	100	4.4	管理・特別教室棟 (A棟) 女子トイレ: 1階 管理・特別教室棟 (A棟) 男女トイレ: 2階	3台	VD-20ZC13
E F-2	天井扇	形 式 低騒音タイプ 100φ×150m3/h×60Pa	1	100	2.0	管理・特別教室棟 (A棟) 男子トイレ: 1階 車椅子対応トイレ: 1階 南側特別教室及び普通教室棟 (C棟) 車椅子対応トイレ 1~3階	8台	VD-15ZPC13
E F-3	換気扇	形 式 格子タイプ 電気式シャッター 250φ×690m3/h SUS製防虫網付ウエザーカバー	1	100	15.5	北側特別教室及び普通教室棟 (B棟) トイレ: 1~3階	6台	EX-25EK9C
E F-4	換気扇	形 式 格子タイプ 電気式シャッター 300φ×1050m3/h SUS製防虫網付ウエザーカバー	1	100	2.7	南側特別教室及び普通教室棟 (C棟) トイレ: 1~3階	6台	EX-30EK9C

新設機器表

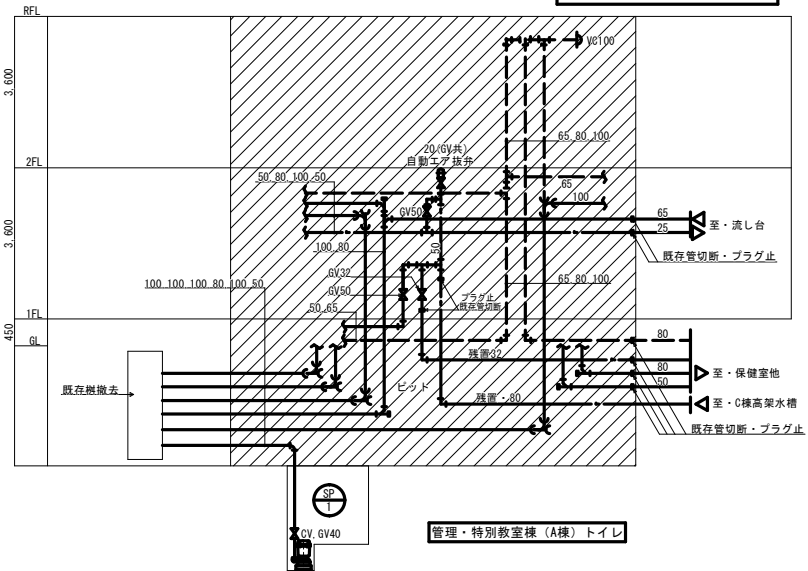
機器名	仕様	電源			設置場所	台数	備考
		φ	V	W			
自動排水ポンプ (SP-1)	強化樹脂製水中ポンプ ホルテックス フロートスイッチ付自動型 40φ×60L/m×7mH	1	100	25.0	管理・特別教室棟トイレ: ビット内 (A棟)	1台	
受水槽 (WTS-1)	材質 : 鋼板製一体型水槽 実容量 : 有効 24.0m3 参考寸法: 2.7x4.4x2.83H 緊急時排水口 (GV, 横水栓付)				屋外, ポンプ室	1基	基礎: 既設再使用
高架水槽 (WTS-2)	材質 : 鋼板製一体型水槽 実容量 : 有効 2.0m3 参考寸法: 1.5x2.0x1.32H				北側特別教室及び普通教室棟屋上 (B棟)	1基	基礎: 既設再使用
高架水槽 (WTS-3)	材質 : 鋼板製一体型水槽 実容量 : 有効 4.0m3 参考寸法: 2.0x2.1x1.7H				南側特別教室及び普通教室棟屋上 (C棟)	1基	基礎: 既設再使用

改修前

撤去管凡例(残置図示以外は撤去とする。)

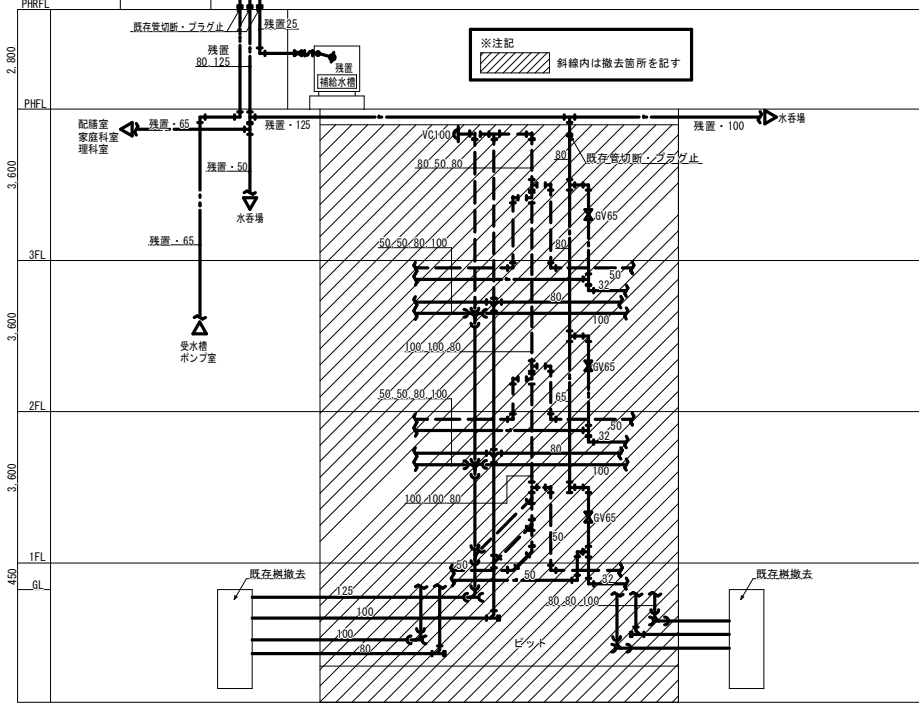
記号	名称	施工区分	仕様
—	給水管	ビット・天井・PS内	水道用塩ビライニング鋼管
—	汚水管	ビット・天井・PS内	排水用鋼管
—	排水管	ビット・天井・PS内	配管用炭素鋼管
—	通気管	ビット・天井・PS内	配管用炭素鋼管

※注記 斜線内は撤去箇所を記す



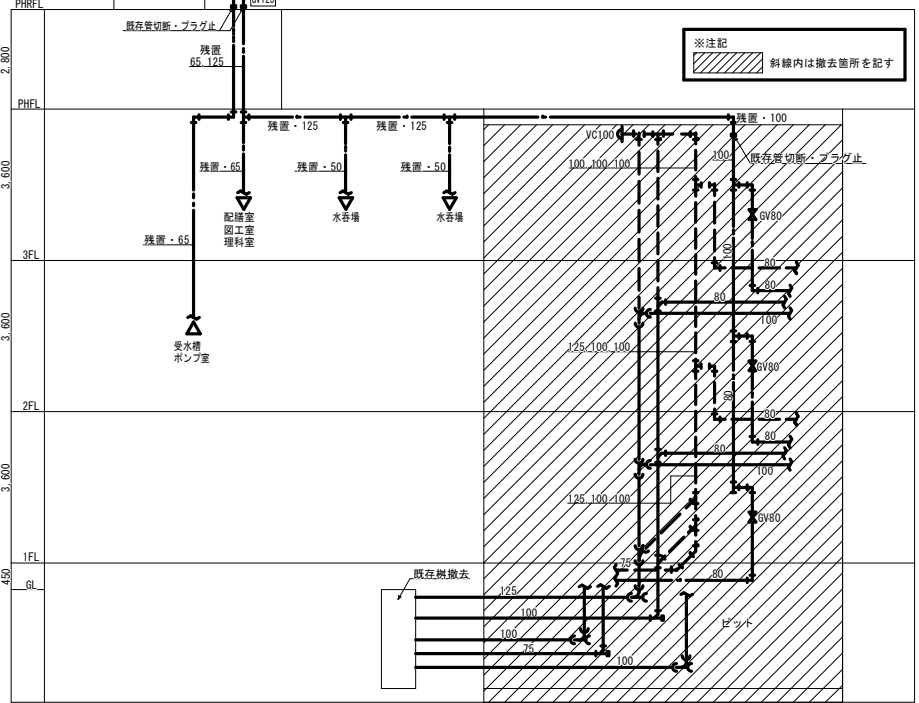
撤去管凡例(残置図示以外は撤去とする。)

記号	名称	施工区分	仕様
—	給水管	ビット・天井・PS内	水道用塩ビライニング鋼管
—	排水管	ビット・天井・PS内	排水用鋼管
—	汚水管	ビット・天井・PS内	排水用鋼管
—	排水管	ビット・天井・PS内	配管用炭素鋼管
—	通気管	ビット・天井・PS内	配管用炭素鋼管



撤去管凡例(残置図示以外は撤去とする。)

記号	名称	施工区分	仕様	施工区分	仕様
—	給水管	ビット	水道用塩ビライニング鋼管	天井・PS内	水道用塩ビライニング鋼管
—	排水管	ビット	排水用硬質塩化ビニル管(VP)	天井・PS内	排水用塩ビライニング鋼管
—	汚水管	ビット	排水用硬質塩化ビニル管(VP)	天井・PS内	排水用塩ビライニング鋼管
—	排水管	ビット	排水用硬質塩化ビニル管(VP)	天井・PS内	排水用塩ビライニング鋼管
—	通気管	ビット	排水用硬質塩化ビニル管(VP)	天井・PS内	排水用塩ビライニング鋼管

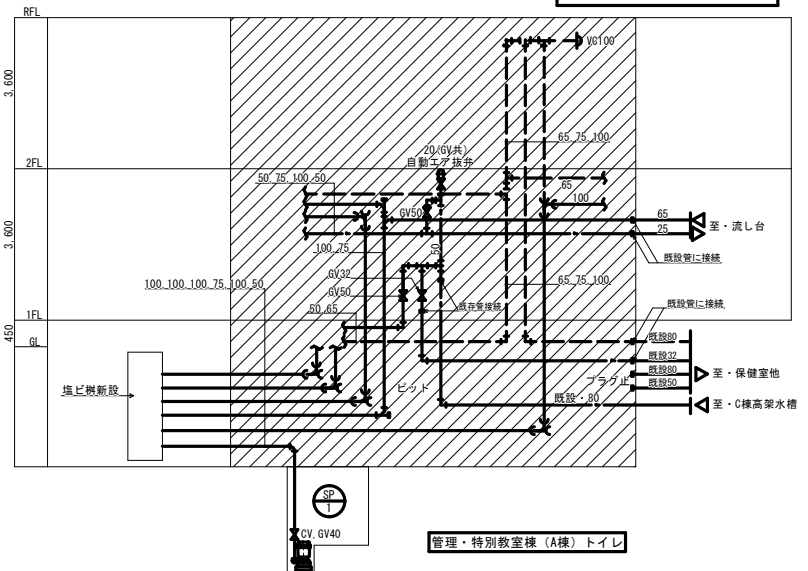


改修後

新設管凡例(既設図示以外は新設とする。)

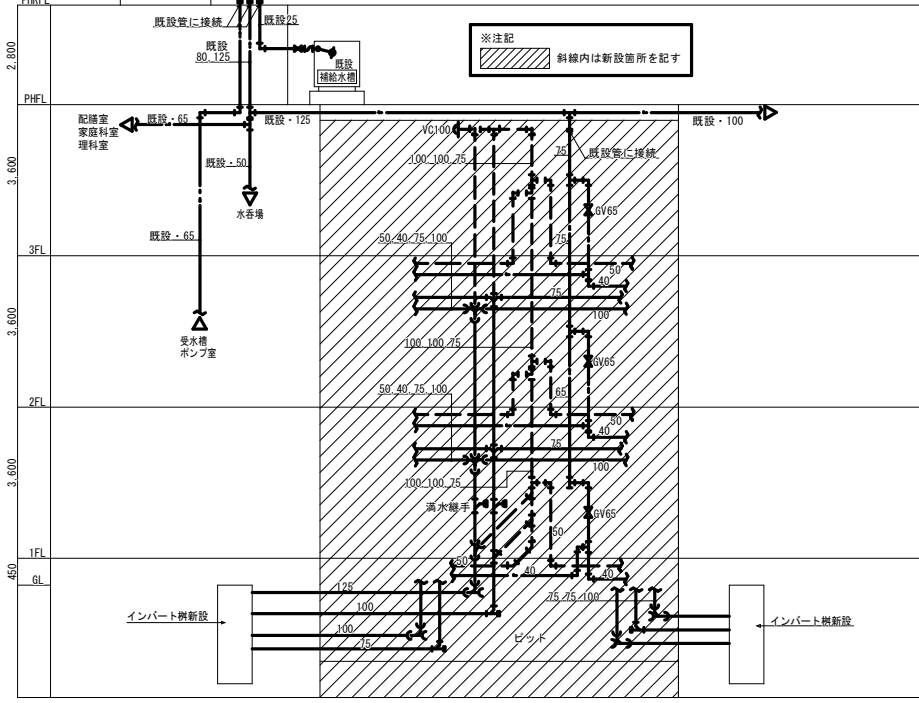
記号	名称	施工区分	仕様
—	給水管	ビット・天井・PS内	耐衝撃性塩化ビニル管(HIVP)
—	汚水管	ビット・天井・PS内	リサイクル発泡3層塩化ビニル管(VP)
—	排水管	ビット・天井・PS内	リサイクル発泡3層塩化ビニル管(VP)
—	通気管	ビット・天井・PS内	リサイクル発泡3層塩化ビニル管(VP)
—	既設	既設	改修前凡例による

※注記 斜線内は新設箇所を記す



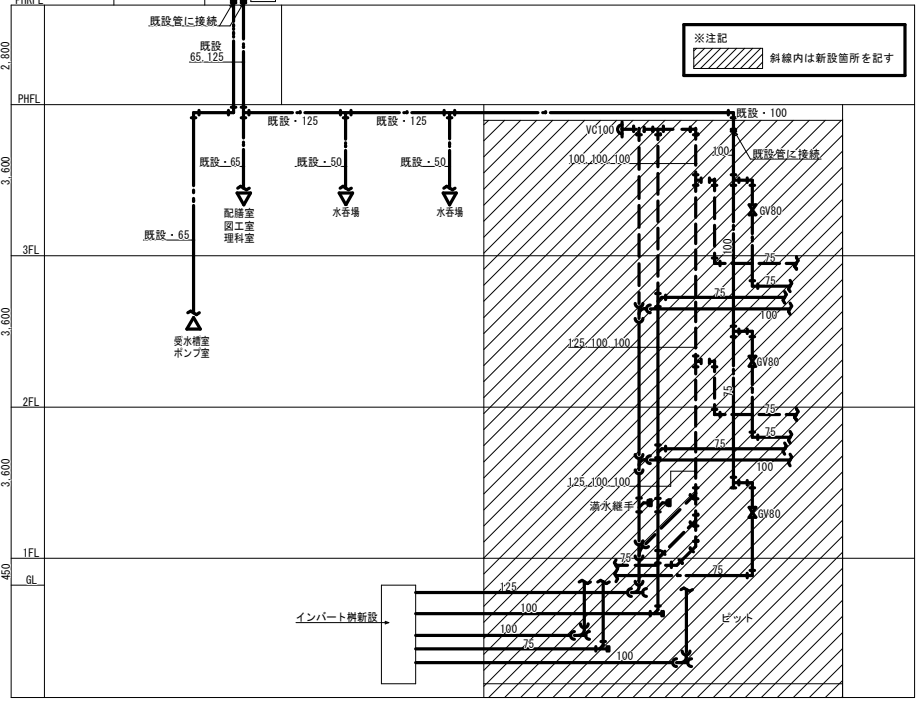
新設管凡例(既設図示以外は新設とする。)

記号	名称	施工区分	仕様
—	給水管	ビット・天井・PS内	耐衝撃性塩化ビニル管(HIVP)
—	給水管	屋外	水道用塩ビライニング鋼管
—	排水管	ビット・天井・PS内	水道用塩ビライニング鋼管
—	汚水管	ビット・天井・PS内	リサイクル発泡3層塩化ビニル管(VP)
—	排水管	ビット・天井・PS内	リサイクル発泡3層塩化ビニル管(VP)
—	通気管	ビット・天井・PS内	リサイクル発泡3層塩化ビニル管(VP)

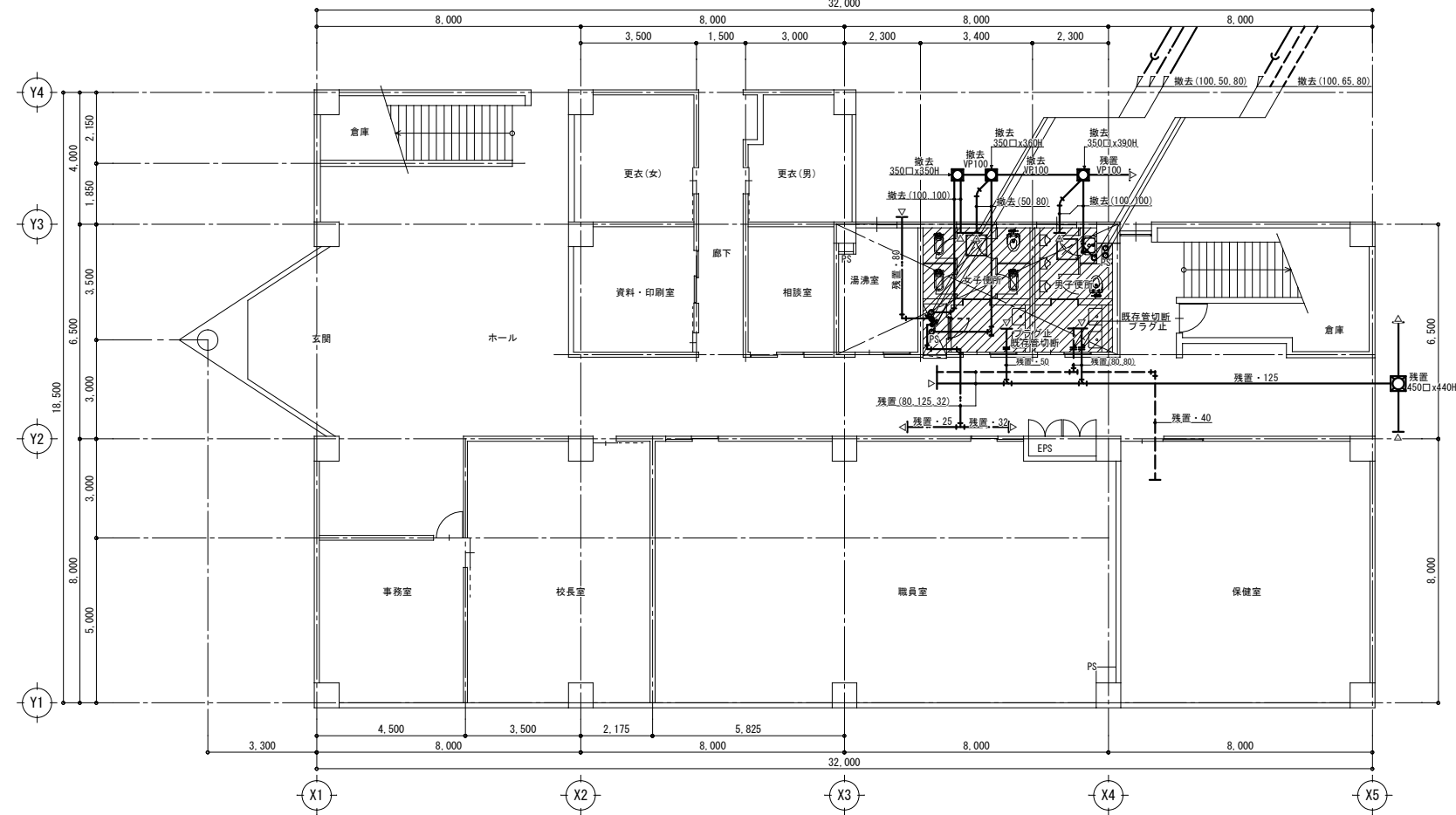


新設管凡例(既設図示以外は新設とする。)

記号	名称	施工区分	仕様
—	給水管	ビット・天井・PS内	耐衝撃性塩化ビニル管(HIVP)
—	給水管	屋外	水道用塩ビライニング鋼管
—	排水管	ビット・天井・PS内	水道用塩ビライニング鋼管
—	汚水管	ビット・天井・PS内	リサイクル発泡3層塩化ビニル管(VP)
—	排水管	ビット・天井・PS内	リサイクル発泡3層塩化ビニル管(VP)
—	通気管	ビット・天井・PS内	リサイクル発泡3層塩化ビニル管(VP)



管理・特別教室棟 (A棟) 1階平面図 (改修前)

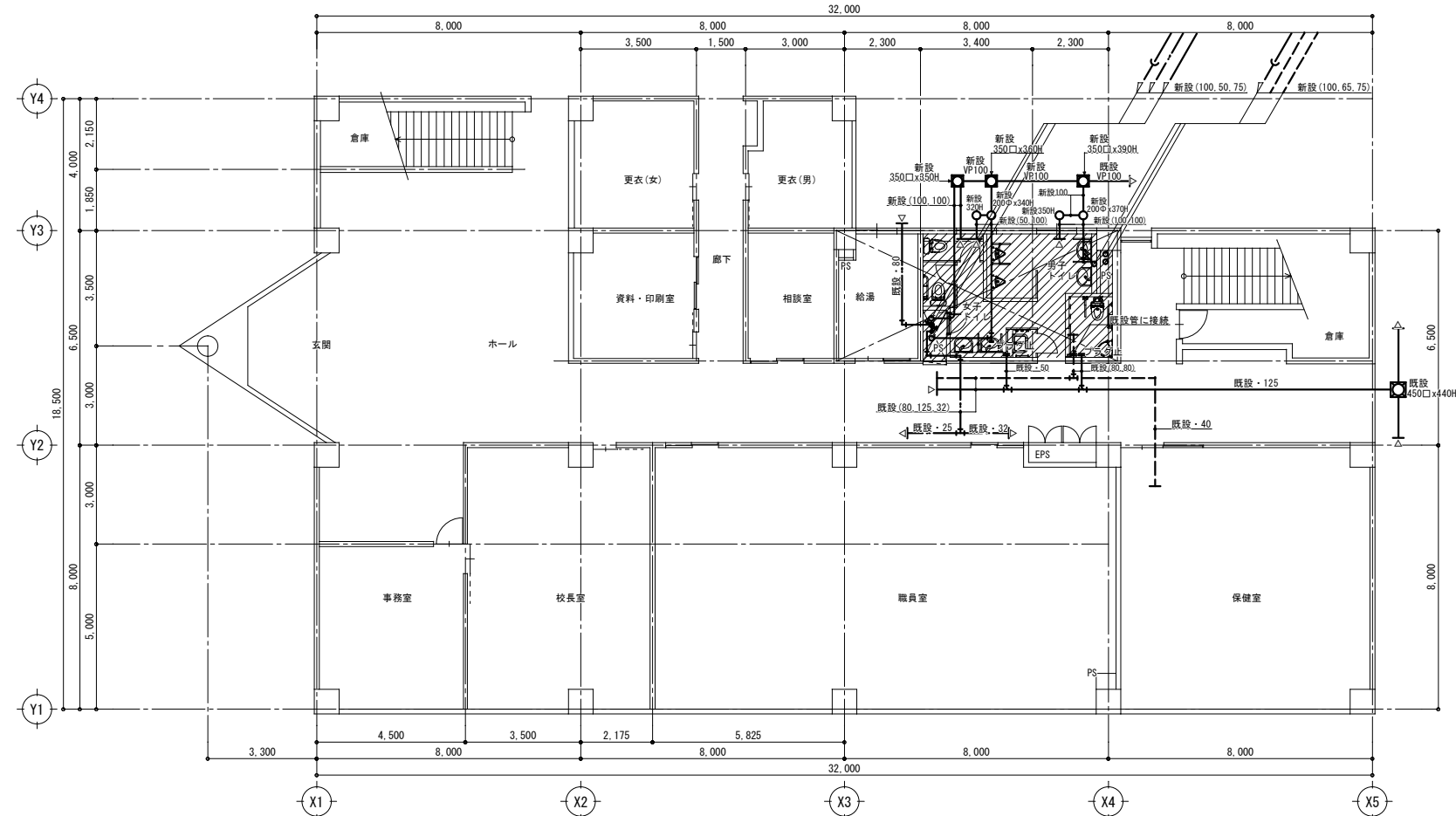


凡例：改修工事部分（全面リニューアル改修工事）を表す。

記号	名称	施工区分	仕様
	給水管	ビット内	水道用塩ビライニング鋼管
	汚水管	ビット内	排水用鋳鉄製
	排水管	ビット内	排水用鉛管
	排水管	ビット内	配管用炭素鋼管
	通気管	ビット内	配管用炭素鋼管
	排水管	地中埋設	硬質塩化ビニル管 (VP)

- ※注記
1. 衛生器具及び水栓を撤去し処分する。
 2. ビット内配管（保温共）を撤去する。
 3. 図示の残置屋内外排水管以外は撤去する。
 4. 図示の残置屋内給水管、通気管以外は撤去する。
 5. 屋外インパット樹は撤去とする。
 6. 掃除口、床排水トラップを撤去する。
 7. 和風便器撤去後の開口閉鎖（補強共）は建築工事とする。

管理・特別教室棟 (A棟) 1階平面図 (改修後)

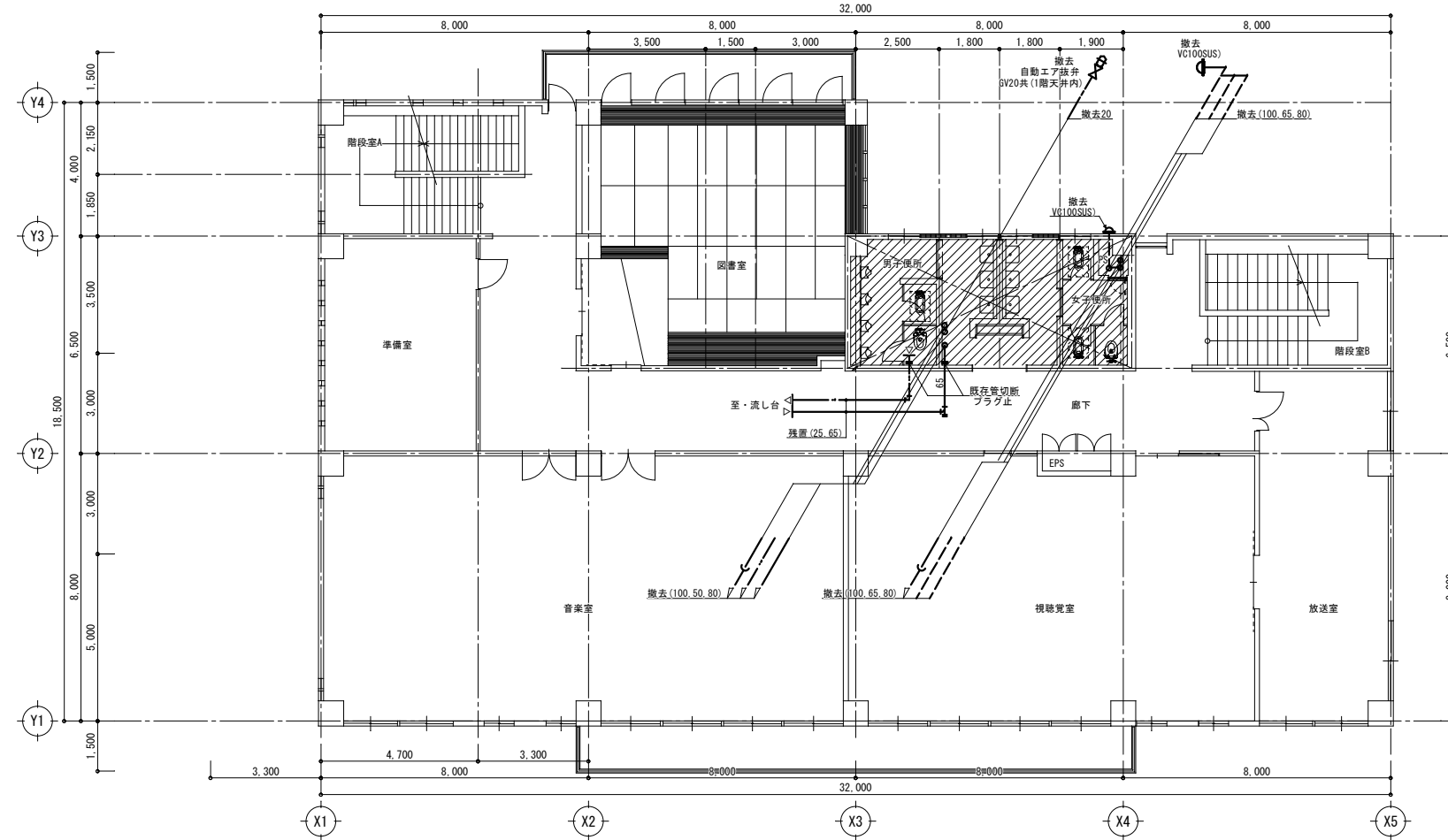


凡例：改修工事部分（全面リニューアル改修工事）を表す。

記号	名称	施工区分	仕様
	給水管	ビット内	耐衝撃性塩化ビニル管 (HVP)
	汚水管	ビット内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
	排水管	ビット内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
	排水管	地中埋設	硬質ポリ塩化ビニル管 (VU)
	通気管	ビット内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
	既存管	地中埋設	改修前凡例による

- ※注記
1. 衛生器具及び水栓を新設する。
 2. ビット内給排水・汚水・通気管を新設とする。
 3. 図示箇所屋外配管及びインパット樹は新設とする。
 4. 新設配管は既存梁貫通スリーブを使用する。
 5. 既存スリーブは新設配管後は外部からの浸水が無いよう処理する。
 6. トイレ内天井及びダクトを新設する。
 7. 車椅子対応トイレに天井及びダクトを新設する。

管理・特別教室棟 (A棟) 2階平面図 (改修前)

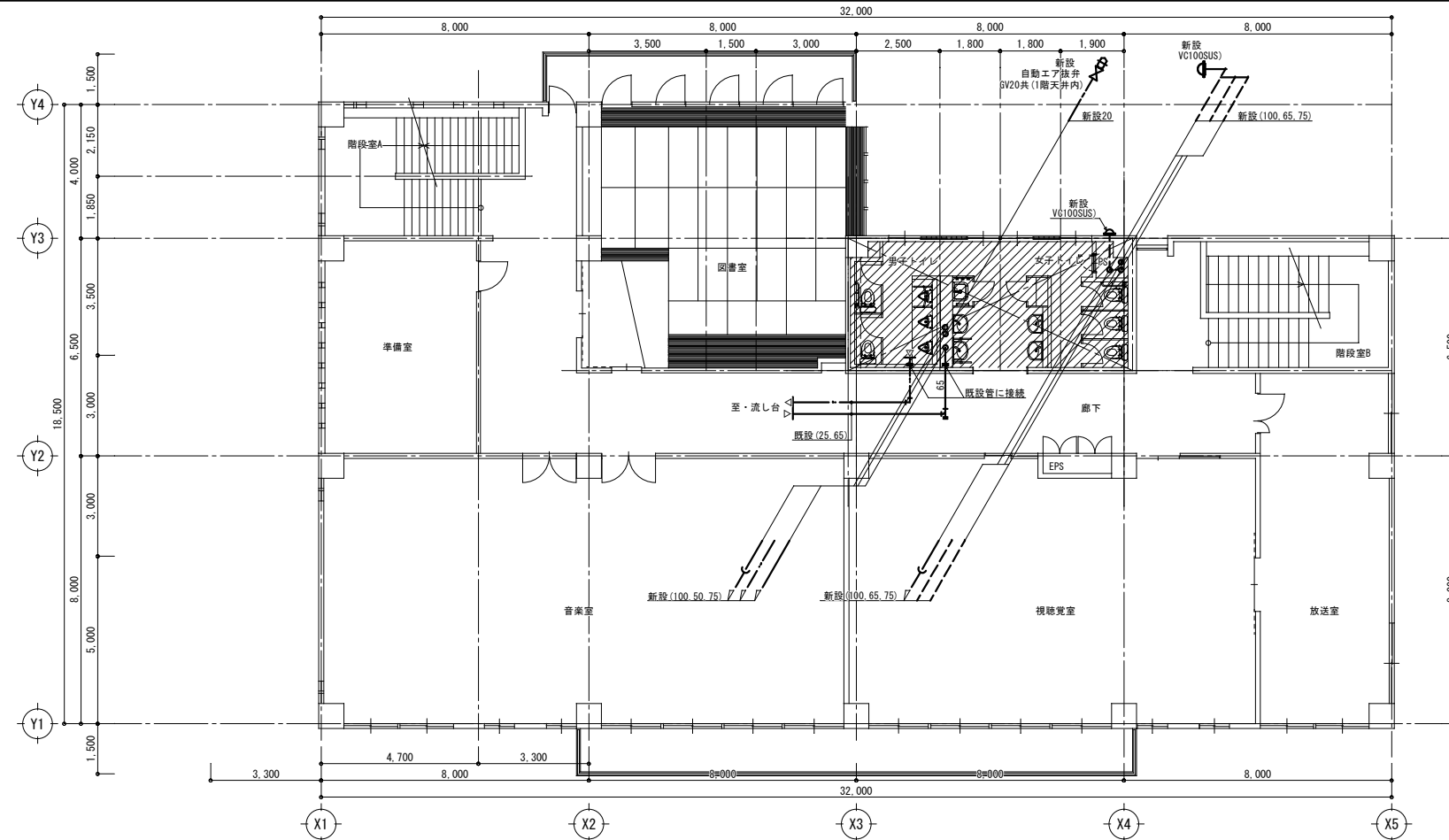


凡例 : 改修工事部分 (全面リニューアル改修工事) を表す。

記号	名称	施工区分	仕様
	給水管	天井・PS内	水道用塩ビライニング鋼管
	汚水管	天井・PS内	排水用鉄製
	排水管	天井・PS内	排水用鉛管
	通気管	天井・PS内	配管用炭素鋼管

- ※注記
1. 衛生器具及び水栓を撤去し処分する。
 2. 天井内及びPS内配管 (保温共) を撤去する。
 3. 図示の残置屋内排水・給水管以外は撤去する。
 4. 掃除口、床排水トラップを撤去する。
 5. 和風便器撤去後の開口閉鎖 (補強共) は建築工事とする。
 6. 図示の通気用VCIは撤去する。

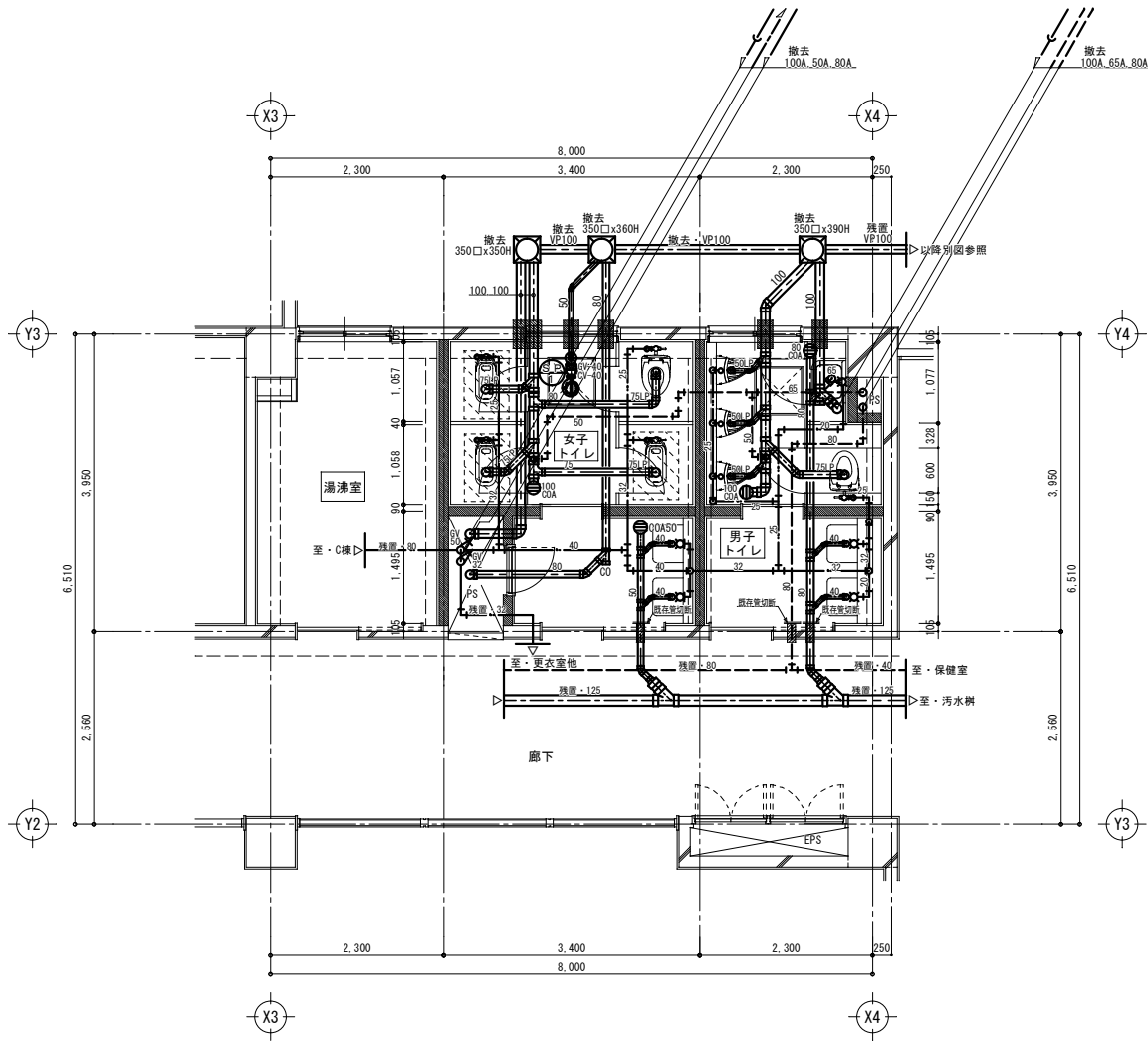
管理・特別教室棟 (A棟) 2階平面図 (改修後)



凡例 : 改修工事部分 (全面リニューアル改修工事) を表す。

記号	名称	施工区分	仕様
	給水管	天井・PS内	耐衝撃性塩化ビニル管 (HVP)
	汚水管	天井・PS内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
	排水管	天井・PS内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
	通気管	天井・PS内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
	既設管	天井内	改修前凡例による

- ※注記
1. 衛生器具及び水栓を新設とする。
 2. 天井内及びPS内配管 (保温共) を新設とする。
 3. 図示の既設屋内排水・給水管は既設管再使用とする。
 4. 掃除口、床排水トラップを新設とする。
 5. 図示の通気用VCIは新設する。



1階平面詳細図 (改修前) S=1/50

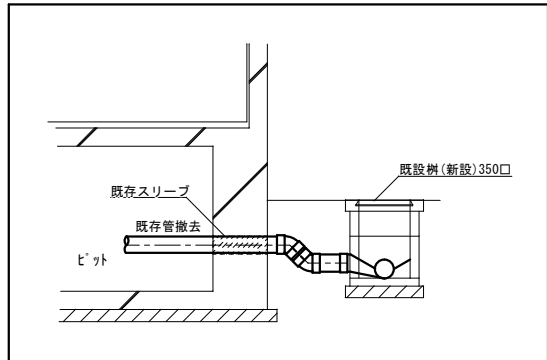
※トイレ内の配管用穴埋め工事は本工事とする。

	床		合計
	1F		
給水管用 50φ	10		10箇所
排水管用 75φ	4		4箇所
排水管用 100φ	3		3箇所
排水管用 125φ	8		8箇所
排水管用 150φ	2		2箇所

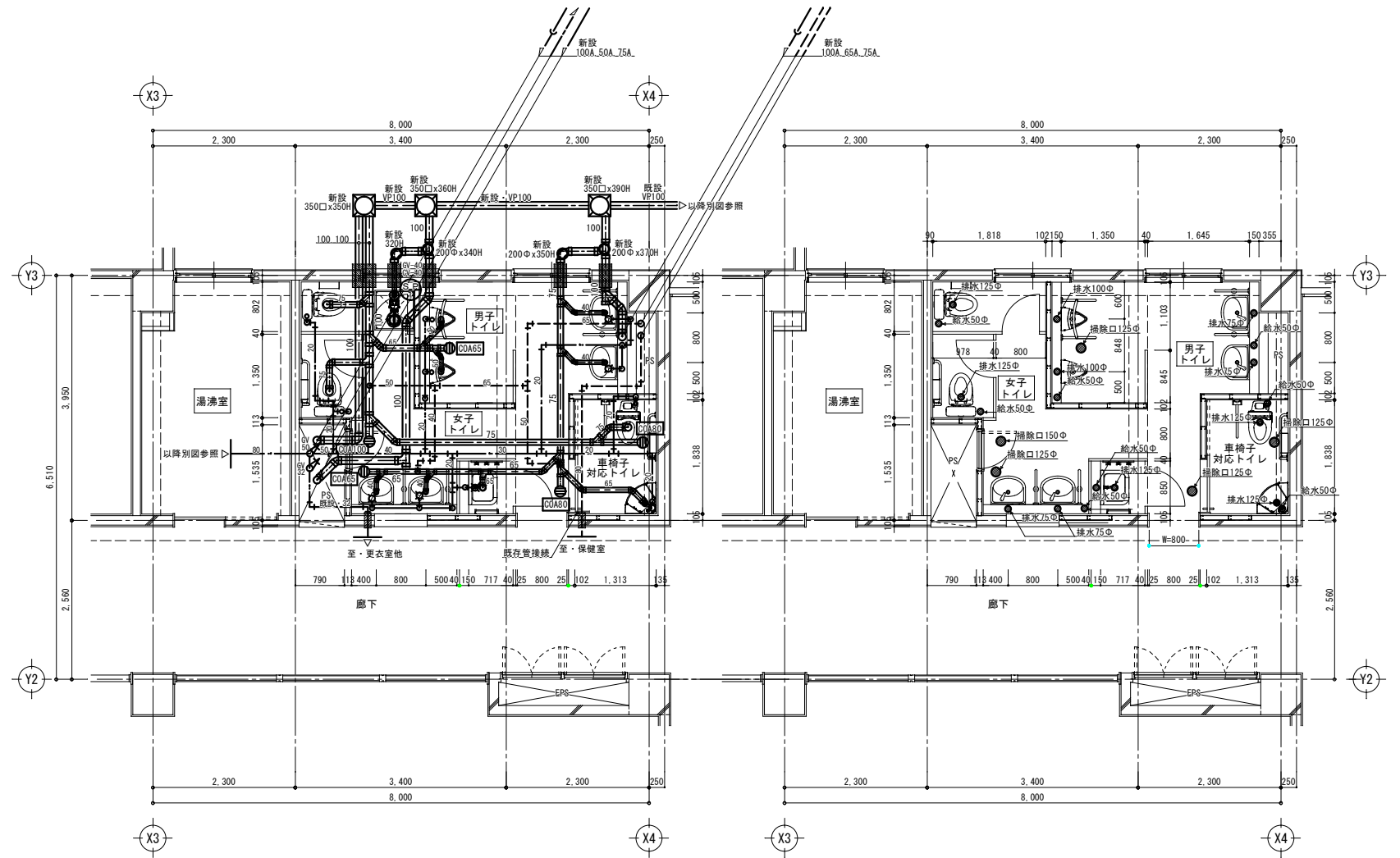
既存撤去管 凡例

記号	名称	施工区分	仕様
---	給水管	ビット内	水道用塩ビライニング鋼管
---	汚水管	ビット内	排水用鋼鉄管
---	排水管	ビット内	排水用鉛管
---	排水管	ビット内	配管用炭素鋼管
---	通気管	ビット内	配管用炭素鋼管
---	排水管	地中埋設	硬質塩化ビニル管

※注記
 1. 衛生器具及び水栓を撤去し処分する。
 2. ビット内配管(保温共)を撤去する。
 3. 図示の残置屋外排水管以外及びインパット樹は撤去する。
 4. 掃除口を撤去する。
 5. 天井埋込型換気扇及びダクト、VC共撤去する。
 6. 和風便器撤去後の開口閉鎖(補強共)は建築工事とする。



既存樹廻り参考図



1階平面詳細図 (改修後) S=1/50

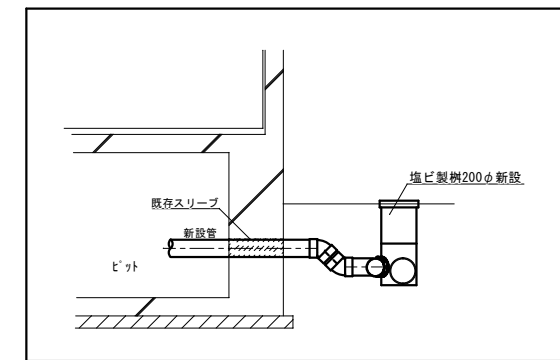
1階平面詳細図 (改修後) S=1/50

(床研り補修参考図)

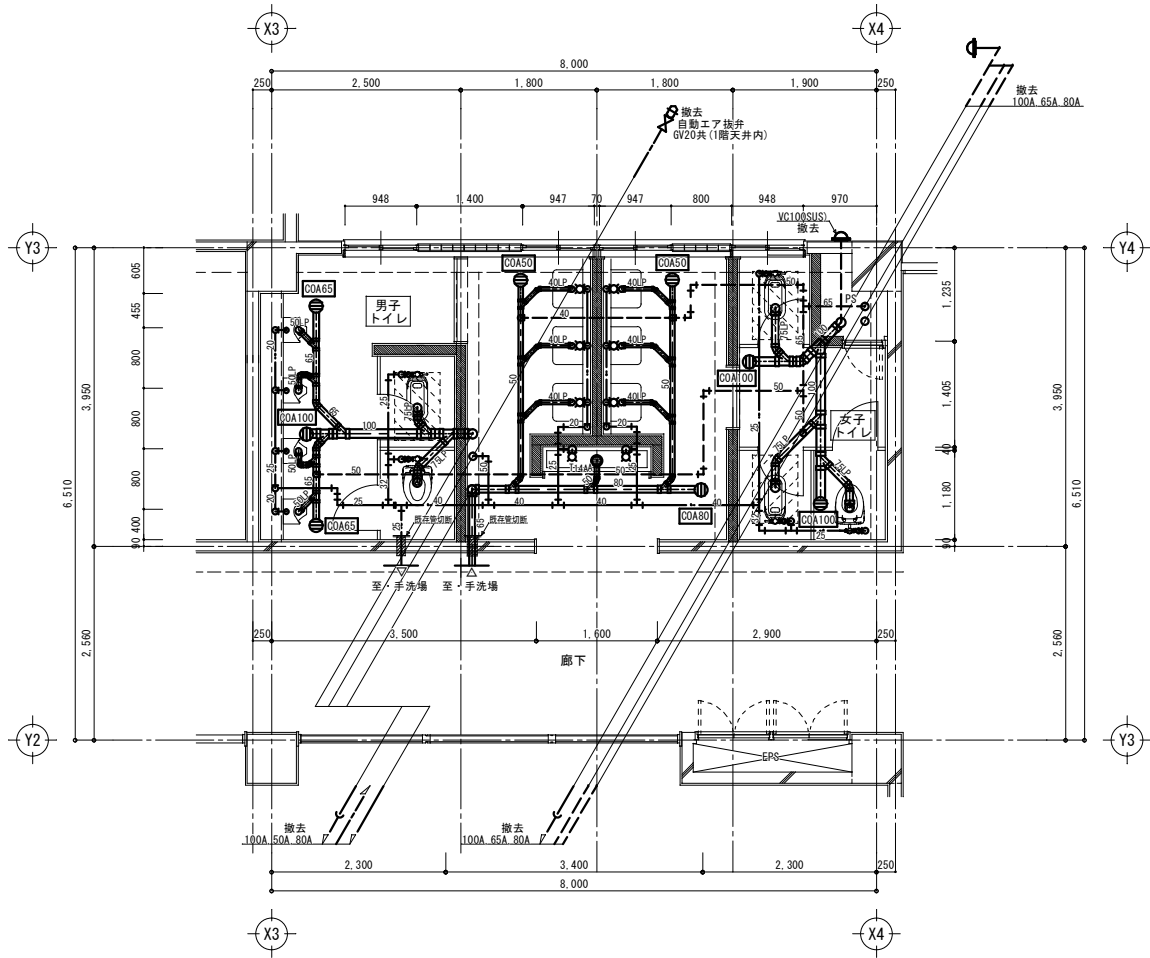
新設管 凡例

記号	名称	施工区分	仕様
---	給水管	ビット内	耐衝撃性塩ビ管(HIVP)
---	汚水管	ビット内	硬質ポリ塩化ビニル管(VP)
---	排水管	ビット内	硬質ポリ塩化ビニル管(VP)
---	排水管	地中埋設	硬質ポリ塩化ビニル管(VU)
---	通気管	ビット内	硬質ポリ塩化ビニル管(VP)
---	既設管	ビット内	改修前凡例による

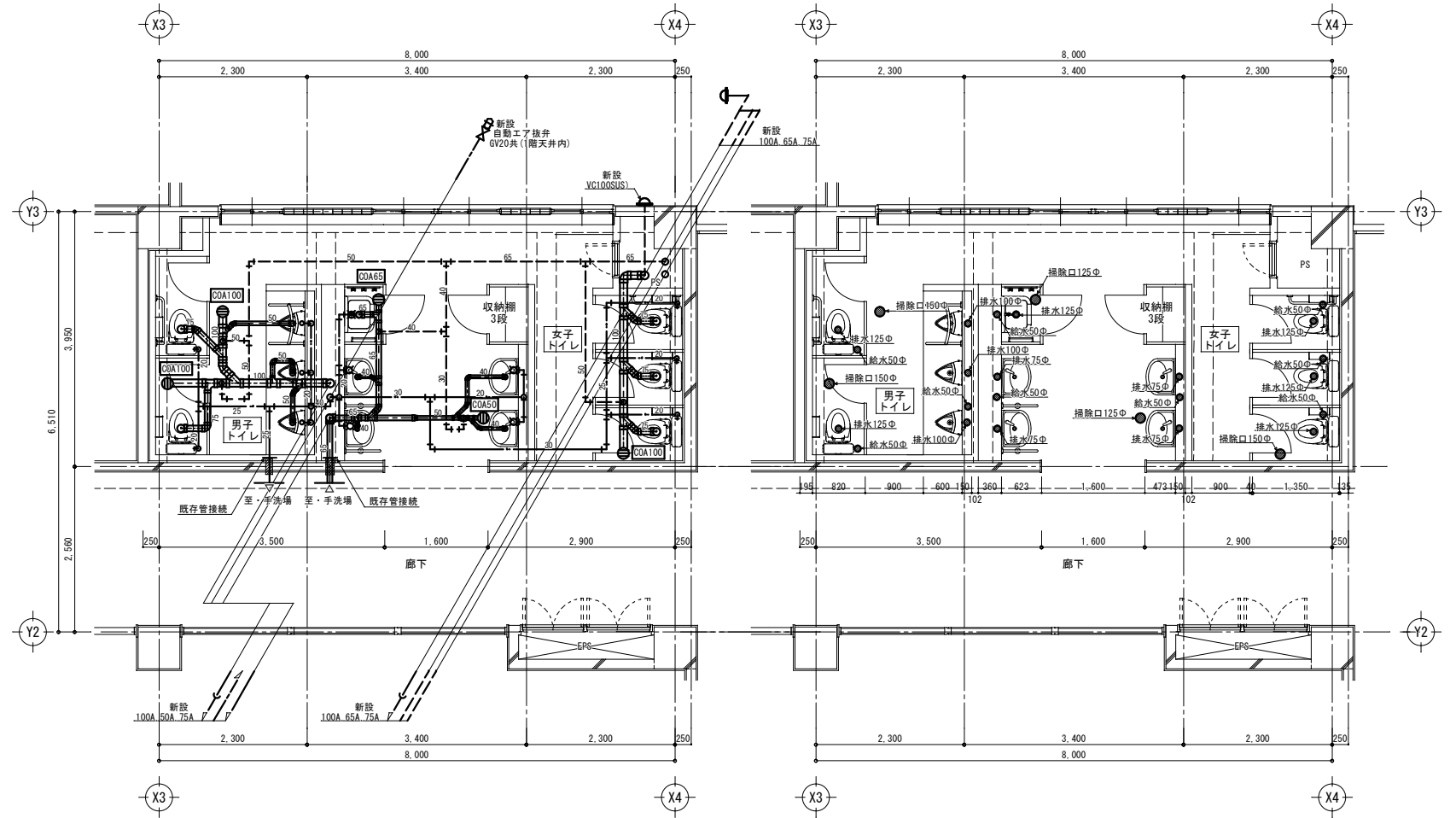
※注記
 1. 衛生器具及び水栓を新設する。
 2. ビット内及びPS内の給排水・通気管・掃除口を新設する。
 3. 男子・女子トイレ天井埋込型換気扇を新設する。
 4. 屋外配管及び塩ビ製樹、インパット樹は新設とする。
 5. 新設配管は既存梁貫通スリーブを使用する。
 6. 既存スリーブは新設配管後は外部からの浸水が無いよう処理する。
 7. スリーブ穴埋め補修は、モルタル詰め・捨シーリングの上、塗膜防水塗布(300×300程度)とする。(内外共)



新設配管参考図



2階平面詳細図 (改修前) S=1/50



2階平面詳細図 (改修後) S=1/50

2階平面詳細図 (改修後) S=1/50

(床研り補修参考図)

既存撤去管 凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
	給水管	天井・PS内	水道用塩ビライニング鋼管
	汚水管	天井・PS内	排水用鉄鋼管
	排水管	天井・PS内	排水用鉛管
	通気管	天井・PS内	配管用炭素鋼管

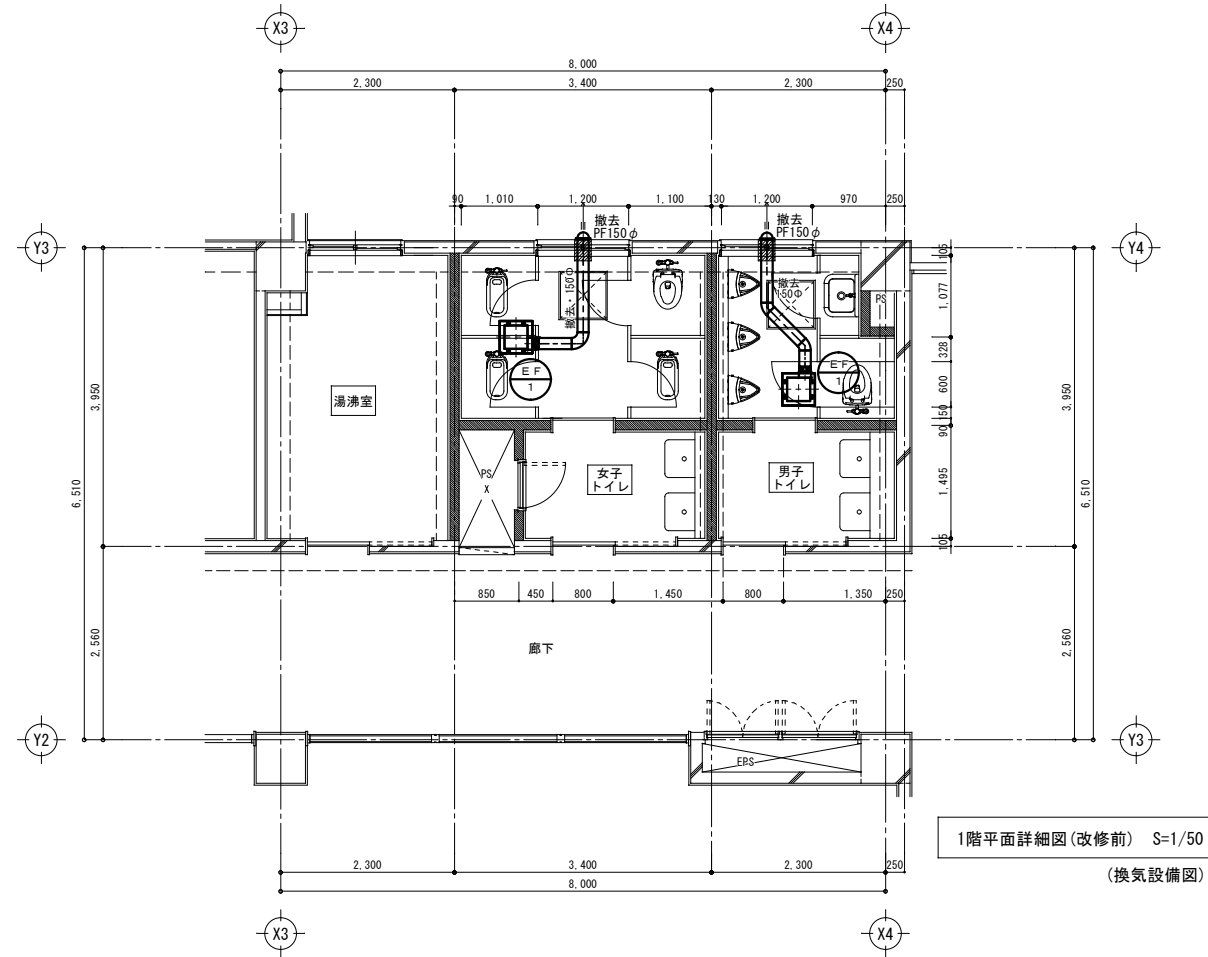
※注記
 1. 衛生器具及び水栓を撤去し処分する。
 2. 天井内及びPS内配管 (保温共) を撤去する。
 3. 掃除口、床排水トラップを撤去する。
 4. 男子・女子トイレ天井埋込型換気扇を撤去する。
 5. 和便器撤去後の開口閉鎖 (補強共) は建築工事とする。

※トイレ内の配管用穴埋め工事は本工事とする。

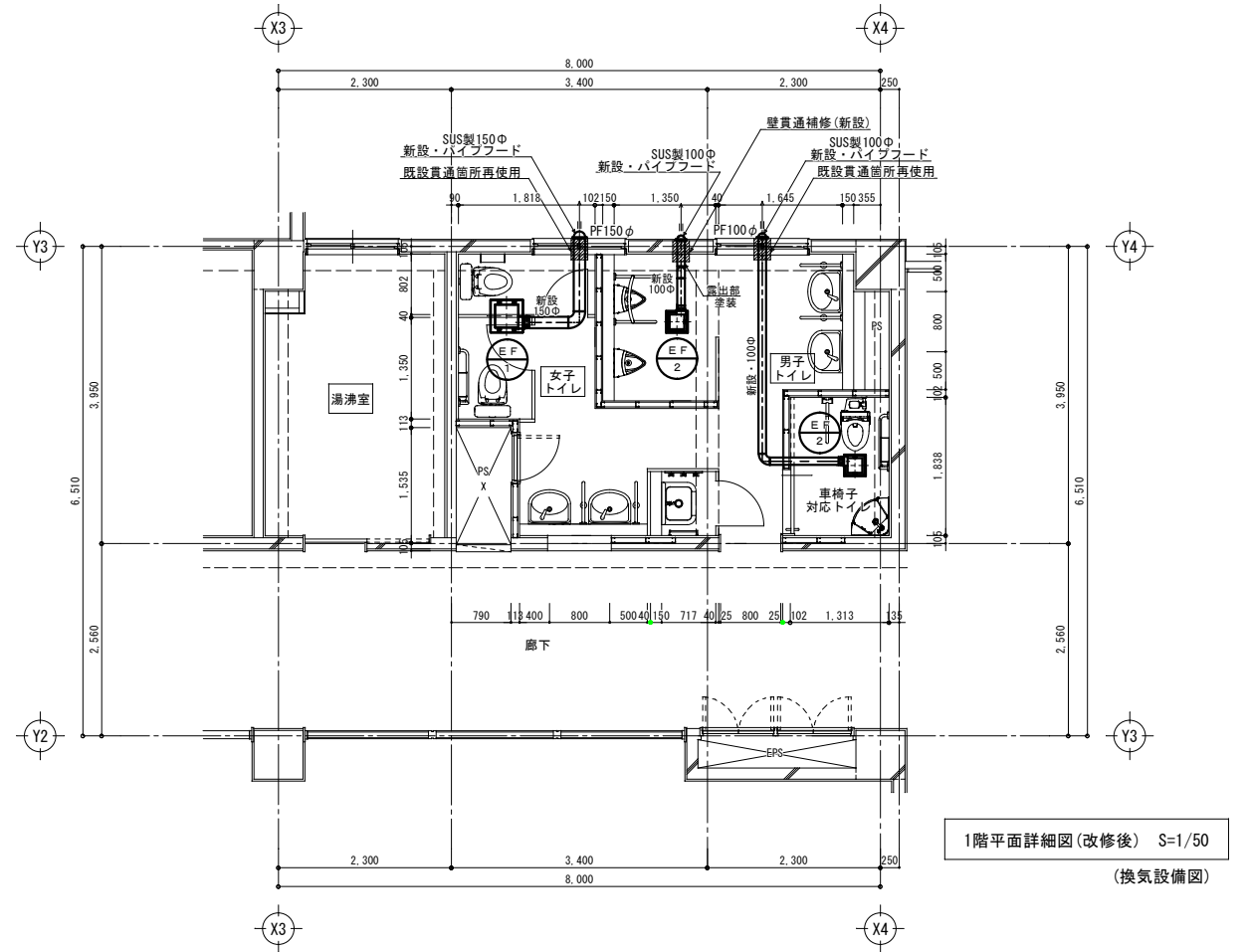
	床		合計
	2F		
給水管用 50φ	7		7箇所
排水管用 75φ	6		6箇所
排水管用 100φ	4		4箇所
排水管用 125φ	8		8箇所
排水管用 150φ	3		3箇所

新設管 凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
	給水管	天井・PS内	耐衝撃性塩ビ管 (HVP)
	汚水管	天井・PS内	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
	排水管	天井・PS内	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
	通気管	天井・PS内	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
	既存管	天井・PS内	改修前凡例による

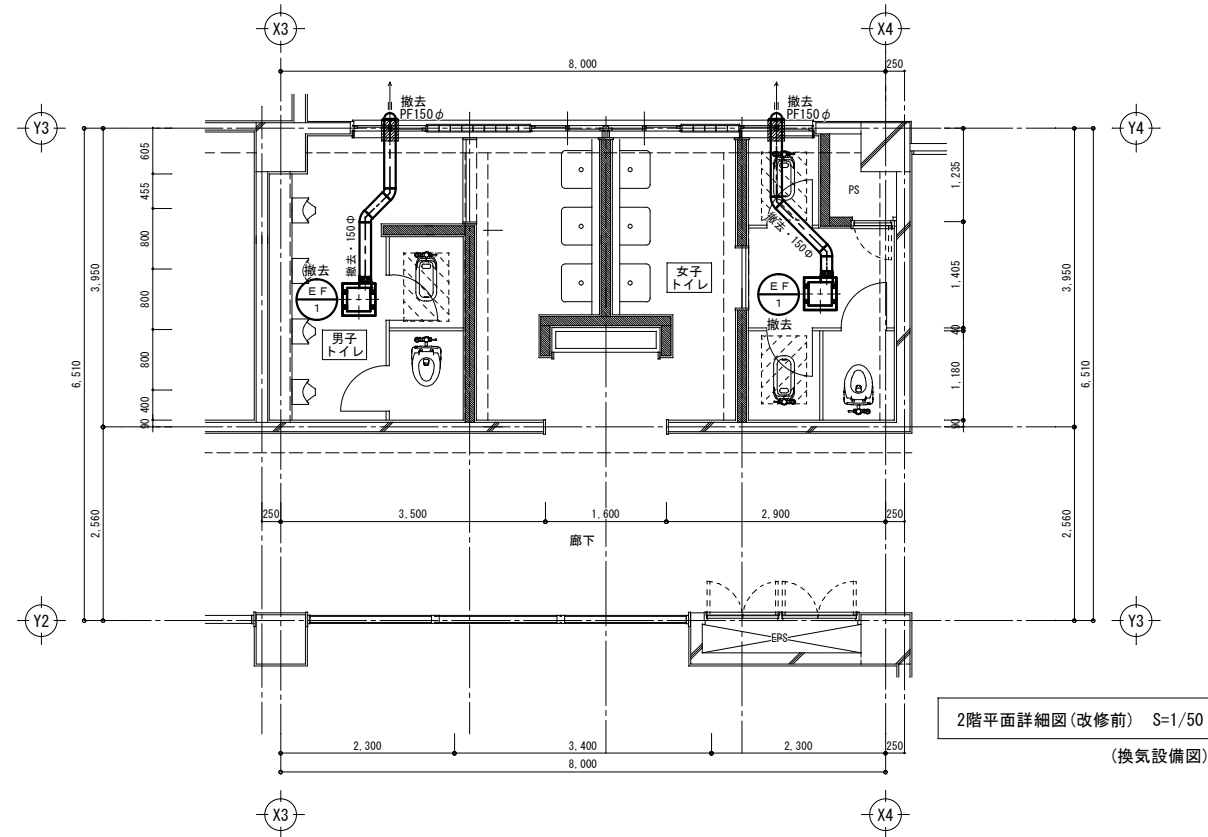
※注記
 1. 衛生器具及び水栓を新設する。
 2. 天井内及びPS内の給排水・通気管・掃除口を新設する。
 3. 男子・女子トイレ天井埋込型換気扇を新設する。
 4. 新設配管は既存梁貫通スリーブを使用する。



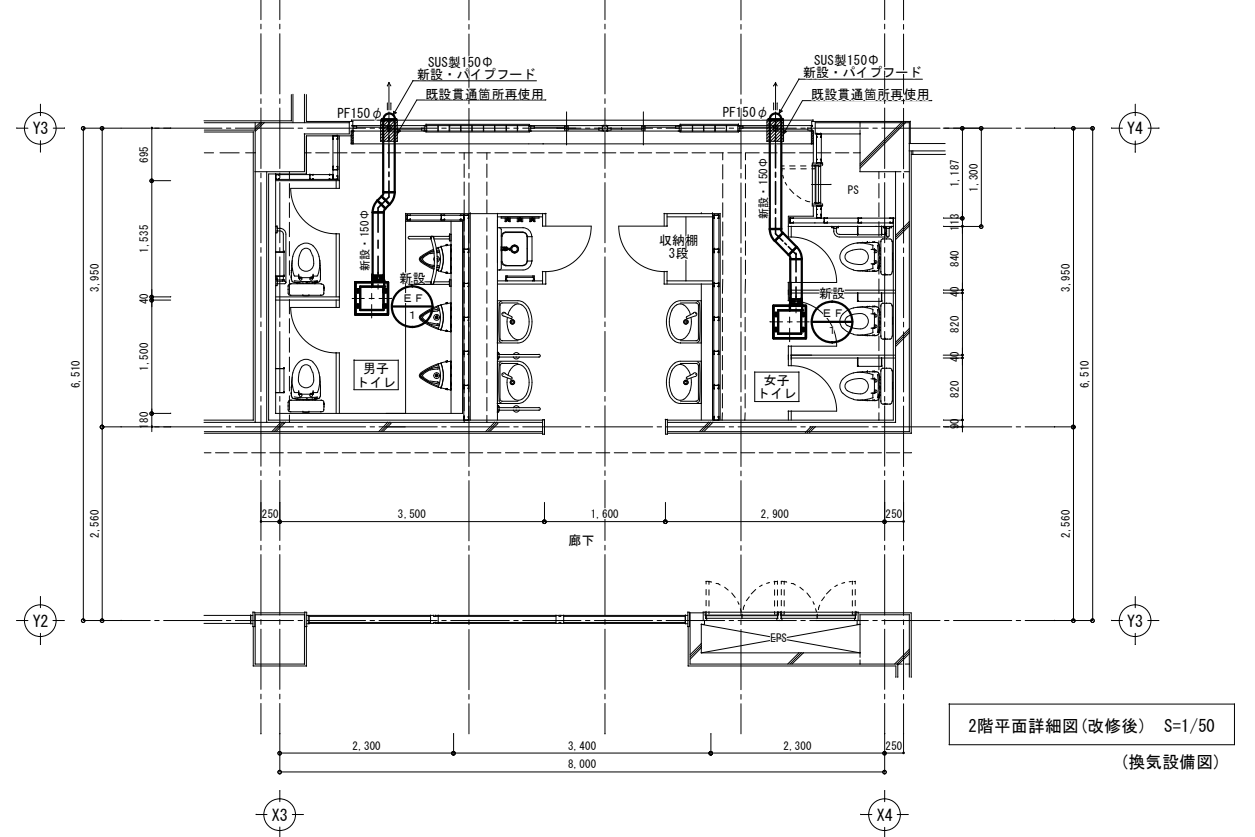
1階平面詳細図 (改修前) S=1/50
(換気設備図)



1階平面詳細図 (改修後) S=1/50
(換気設備図)

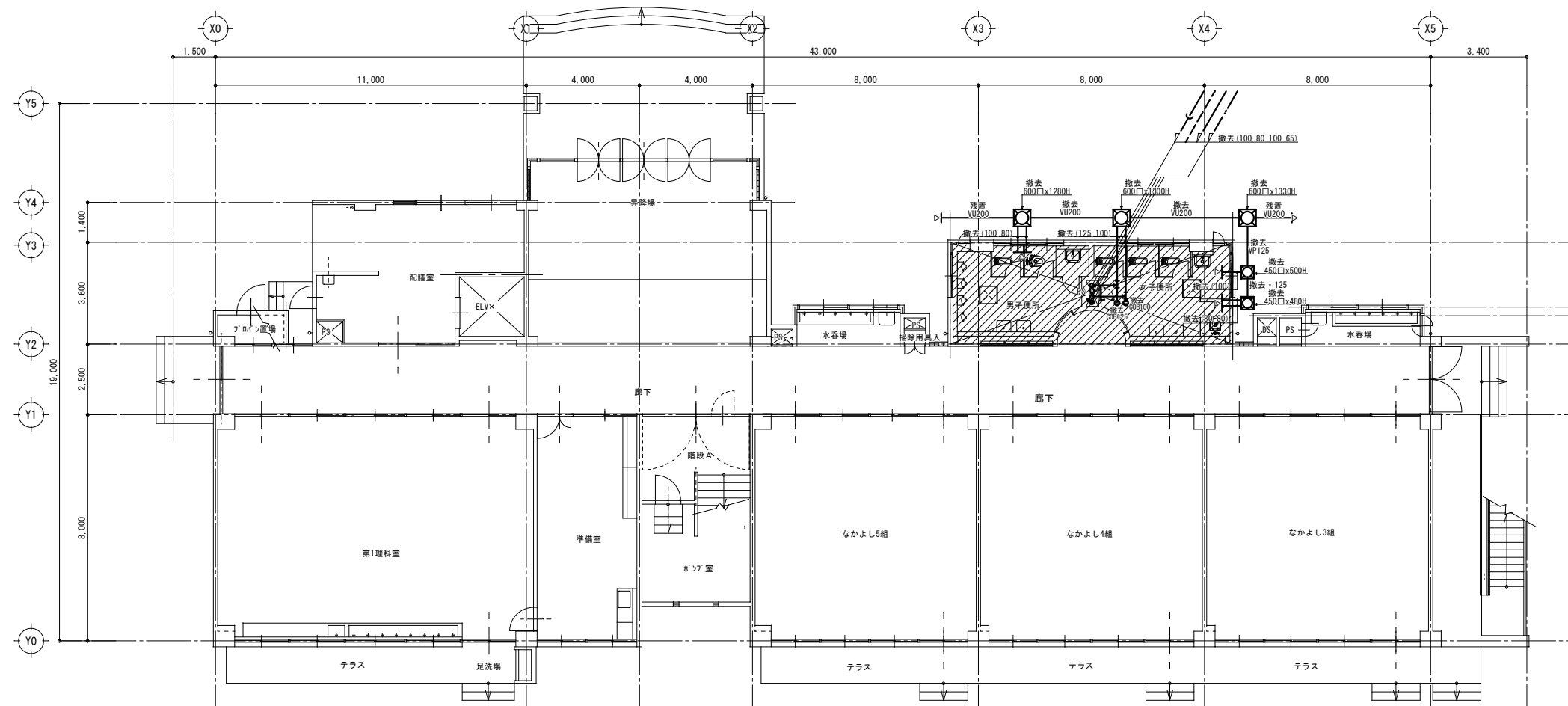


2階平面詳細図 (改修前) S=1/50
(換気設備図)



2階平面詳細図 (改修後) S=1/50
(換気設備図)

北側特別教室及び普通教室棟 (B棟) 1階平面図 (改修前)

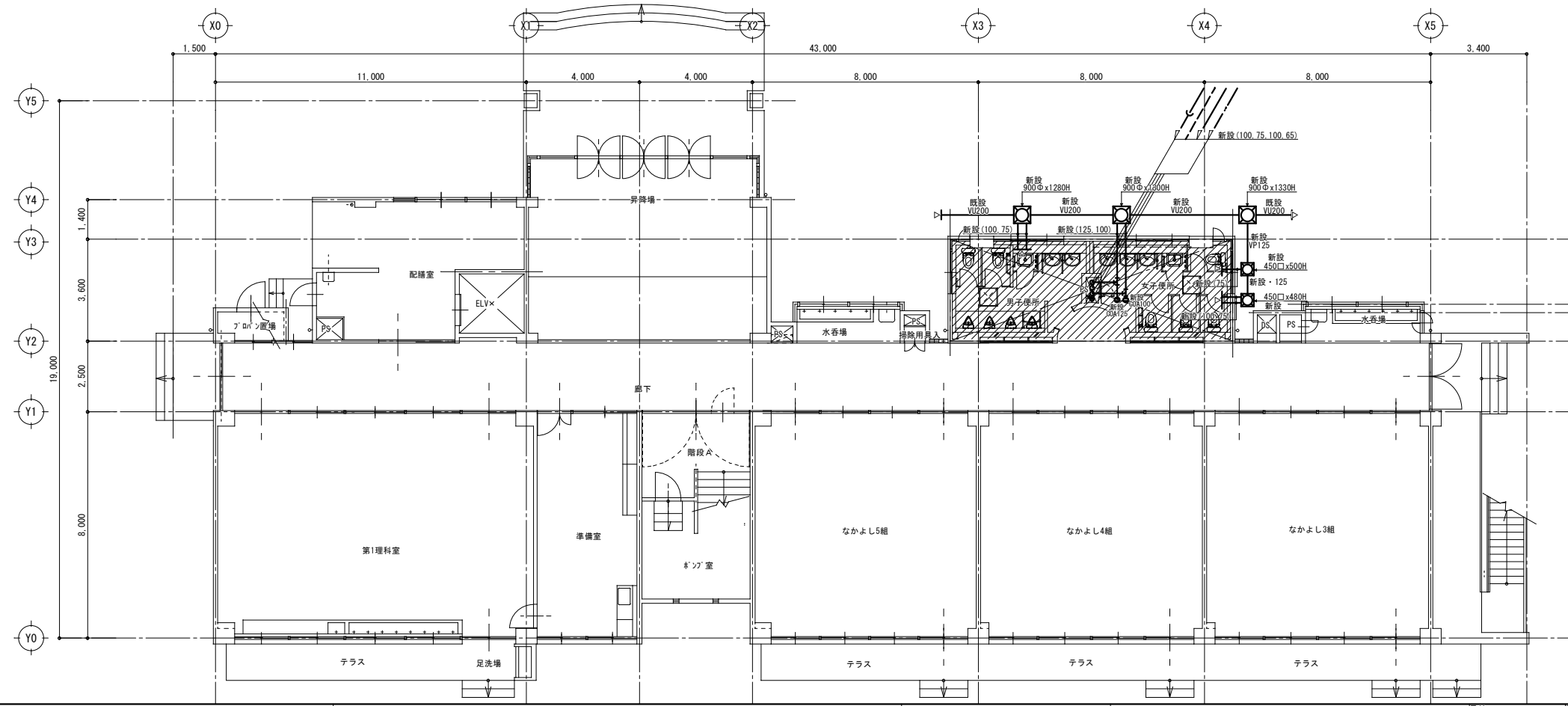


例：改修工事部分 (全面リニューアル改修工事) を表す。

記号	名称	施工区分	仕様
—	給水管	ビット内	水道用塩ビライニング鋼管
—	汚水管	ビット内	排水用鋼鉄製
—	LP	ビット内	排水用鉛管
—	排水管	ビット内	配管用炭素鋼管
—	通気管	ビット内	配管用炭素鋼管
—	VP	地中埋設	硬質塩化ビニル管 (VP)
—	VU	地中埋設	硬質塩化ビニル管 (VU)

- ※注記
1. 衛生器具及び水栓を撤去し処分する。
 2. ビット内配管 (保温共) を撤去する。
 3. 図示の残置屋外排水管以外は撤去する。
 4. 屋外インパート樹は撤去とする。
 5. 掃除口、床排水トラップを撤去する。
 6. 和風便器撤去後の開口閉鎖 (補強共) は建築工事とする。

南側特別教室及び普通教室棟 (B棟) 1階平面図 (改修後)

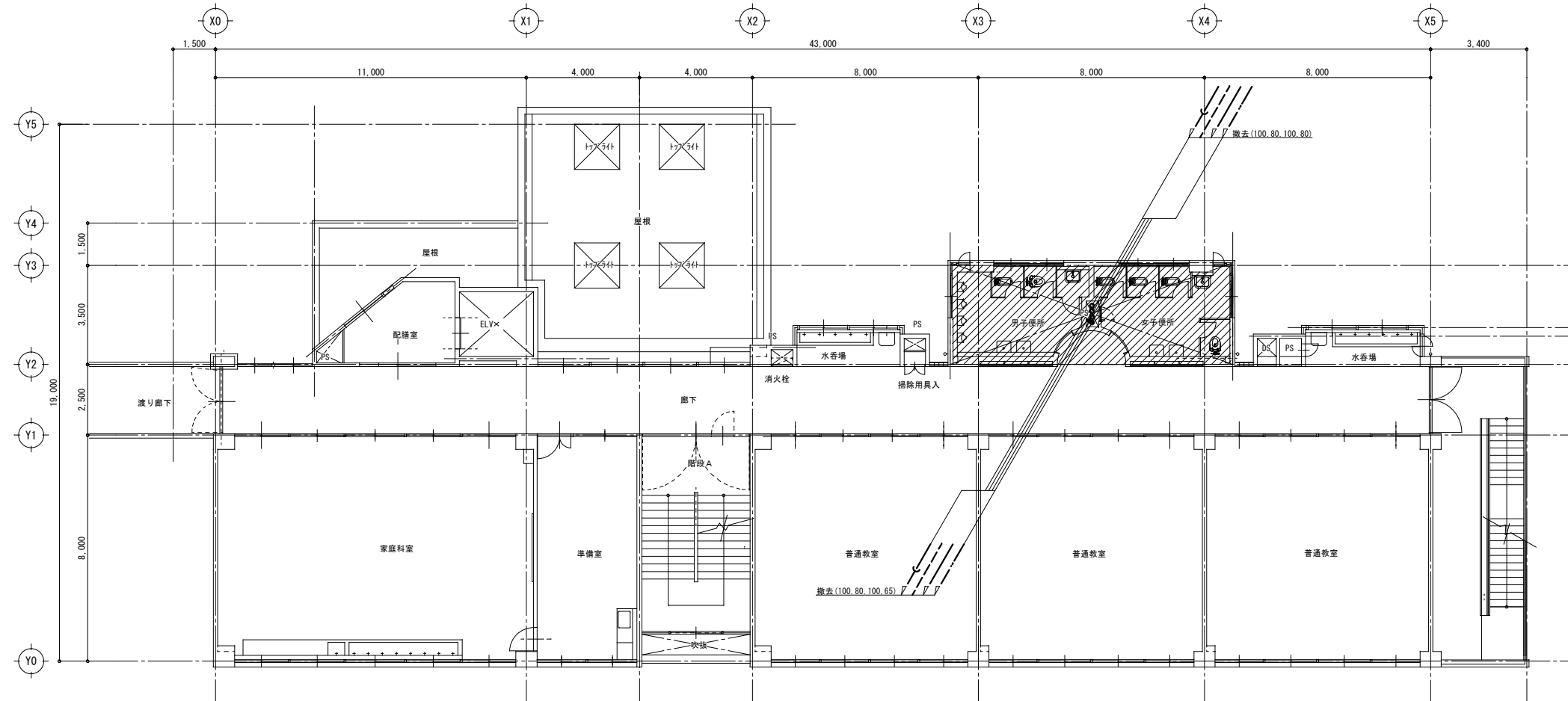


例：改修工事部分 (全面リニューアル改修工事) を表す。

記号	名称	施工区分	仕様
—	給水管	ビット内	耐衝撃性塩化ビニル管 (HVP)
—	汚水管	ビット内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
—	排水管	ビット内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
—	排水管	地中埋設	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
—	通気管	ビット内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
—	既設	地中埋設	改修前凡例による

- ※注記
1. 衛生器具及び水栓を新設する。
 2. ビット内及びPS内の給排水・通気管・掃除口を新設する。
 3. 図示箇所屋外配管及びインパート樹は新設とする。
 4. 新設配管は既存梁貫通スリーブを使用する。
 5. 既存スリーブは新設配管後は外部からの浸水が無いよう処理する。
 7. スリーブ穴埋め補修は、モルタル詰め・排シーリングの布、塗膜防水塗布 (300x300程度) とする。(内外共)

北側特別教室及び普通教室棟(B棟) 2階平面図 (改修前)

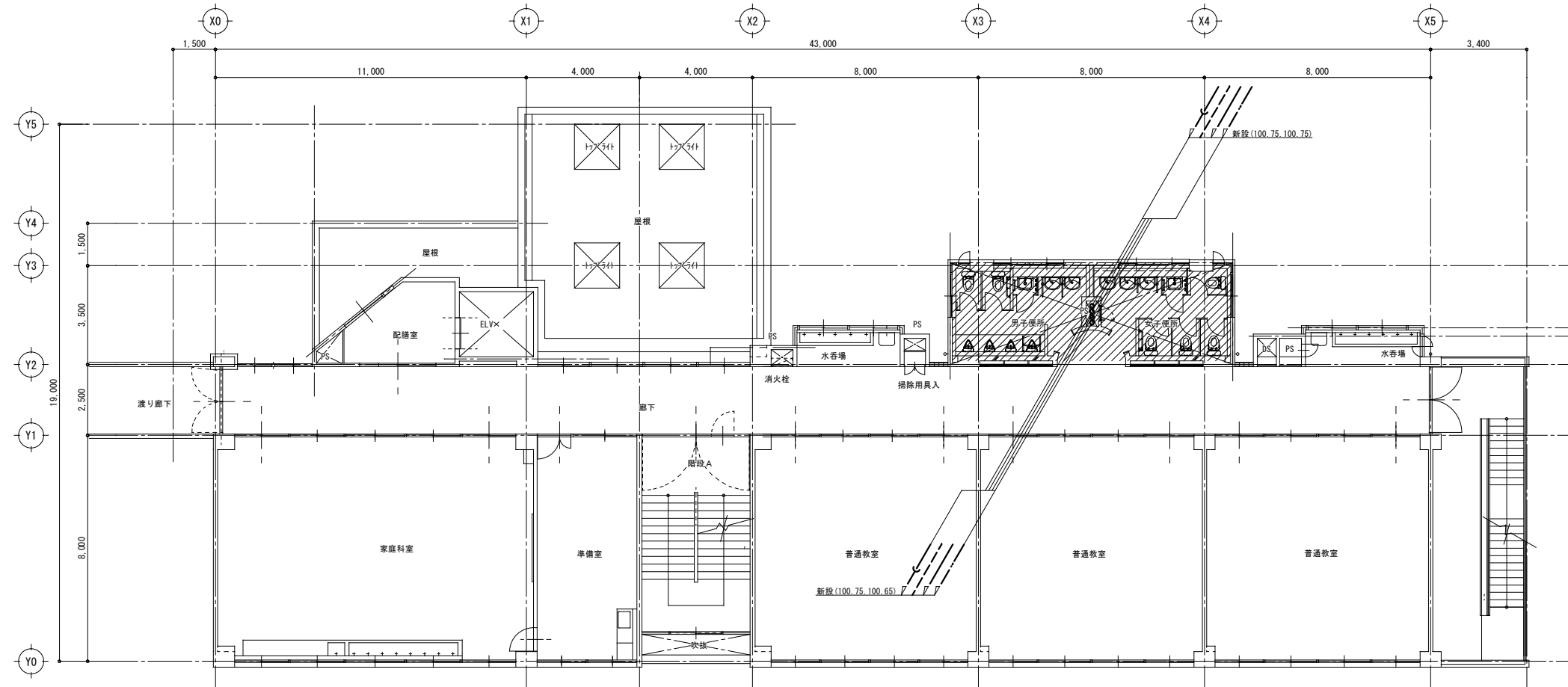


凡例：改修工事部分（全面リニューアル改修工事）を表す。

既存撤去管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
—	給水管	天井・PS内	水道用塩ビラインング鋼管
—	汚水管	天井・PS内	排水用鋼鉄製
← LP	排水管	天井・PS内	排水用鉛管
—	排水管	天井・PS内	配管用炭素鋼管
—	通気管	天井・PS内	配管用炭素鋼管

※注記
 1. 衛生器具及び水栓を撤去し処分する。
 2. 天井内及びPS内配管（保温共）を撤去する。
 3. 掃除口、床排水トラップを撤去する。
 4. 和風便器撤去後の開口閉鎖（補強共）は建築工事とする。

北側特別教室及び普通教室棟(B棟) 2階平面図 (改修後)

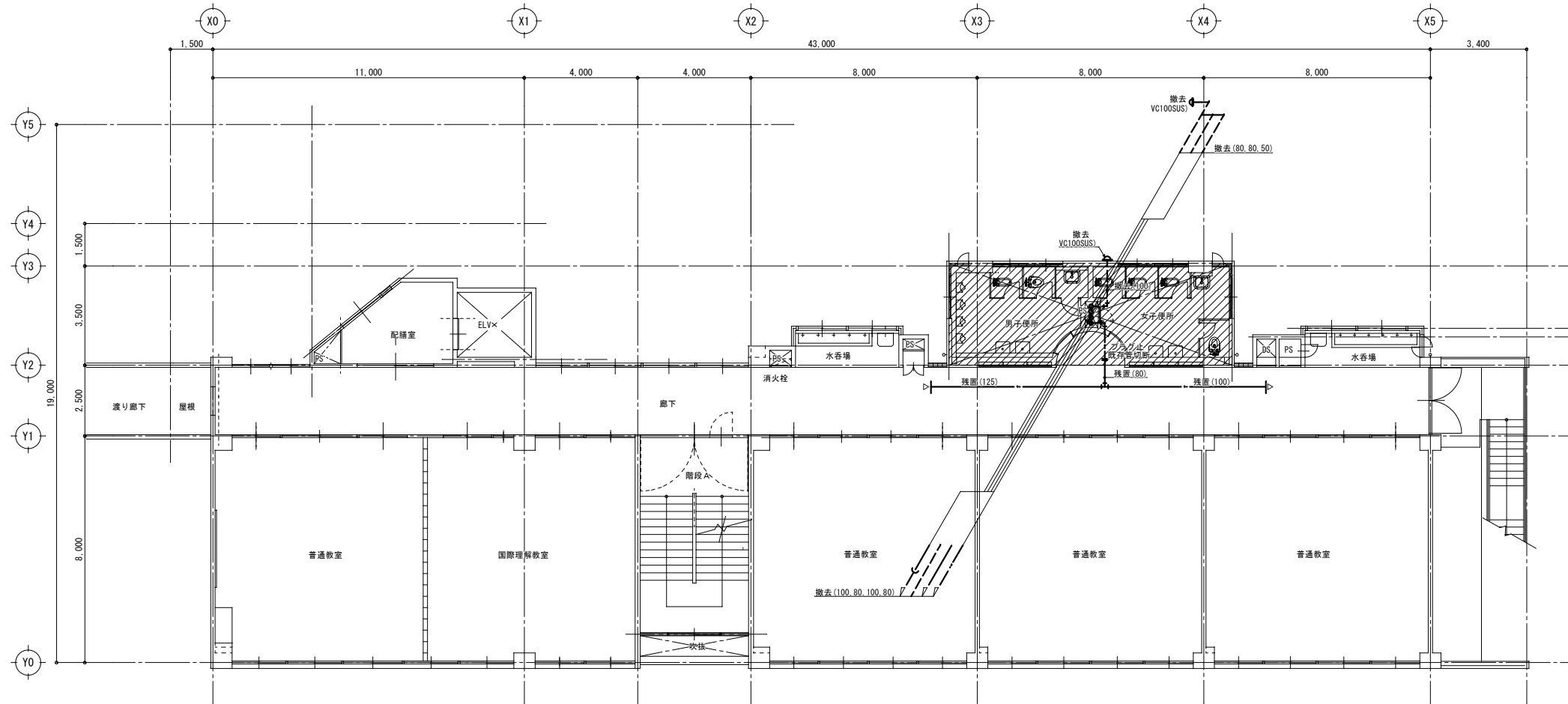


凡例：改修工事部分（全面リニューアル改修工事）を表す。

新設管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
—	給水管	天井・PS内	耐衝撃性塩化ビニル管(HIVP)
←	汚水管	天井・PS内	硬質ポリ塩化ビニル管(VP)
—	排水管	天井・PS内	硬質ポリ塩化ビニル管(VP)
—	通気管	天井・PS内	硬質ポリ塩化ビニル管(VP)
—	既設管	天井内	改修前凡例による

※注記
 1. 衛生器具及び水栓を新設とする。
 2. 天井内及びPS内配管（保温共）を新設とする。
 3. 図示の既設屋内排水・給水管は既設管再使用とする。
 4. 掃除口、床排水トラップを新設とする。

北側特別教室及び普通教室棟(B棟) 3階平面図 (改修前)



凡例：改修工事部分（全面リニューアル改修工事）を表す。

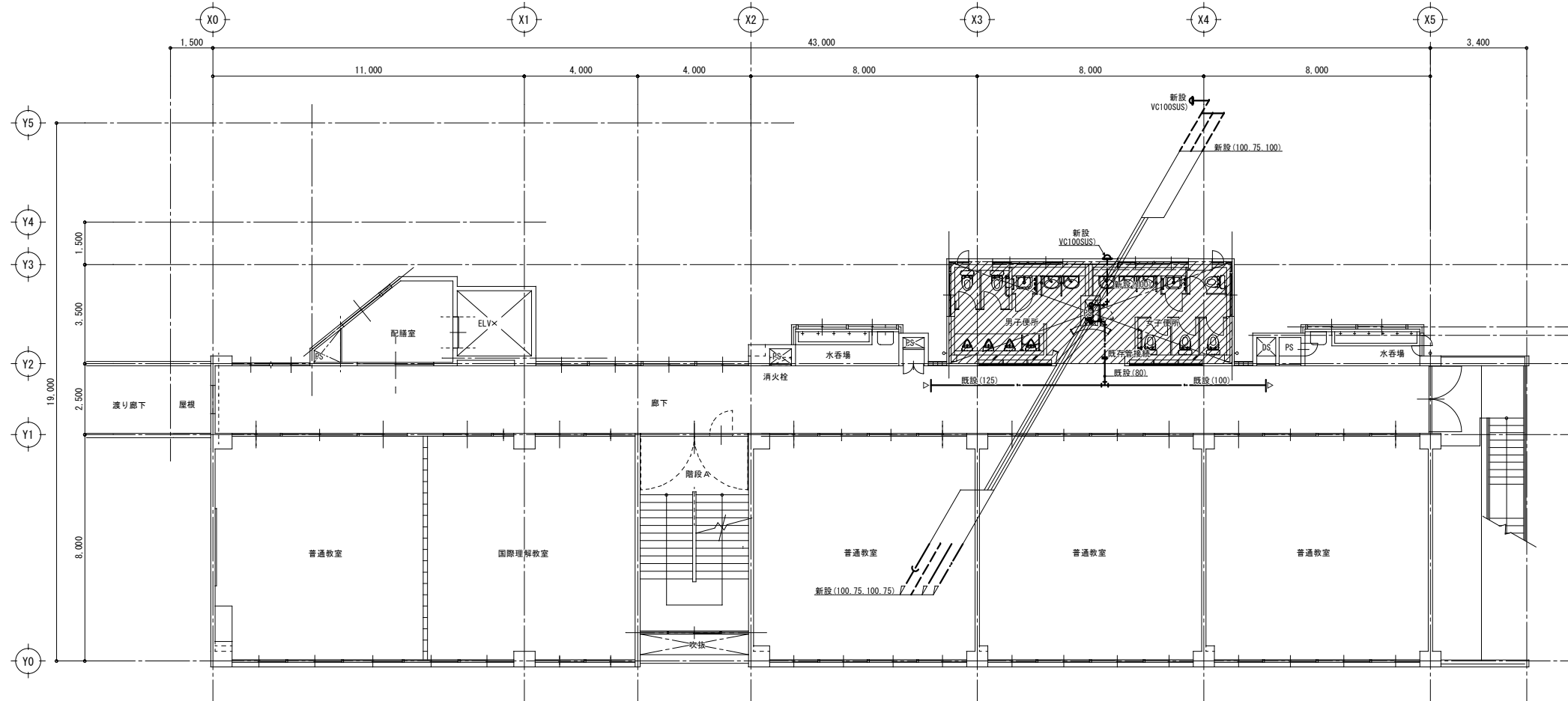
既存撤去管凡例

記号	名称	施工区分	仕様
—	給水管	天井・PS内	水道用塩ビライニング鋼管
←	汚水管	天井・PS内	排水用鋼鉄製
LP		天井・PS内	排水用鉛管
—	排水管	天井・PS内	配管用炭素鋼管
---	通気管	天井・PS内	配管用炭素鋼管

※注記

1. 衛生器具及び水栓を撤去し処分する。
2. 天井内及びPS内配管（保温共）を撤去する。
3. 図示の残置屋内給水管以外は撤去する。
4. 掃除口、床排水トラップを撤去する。
5. 和風便器撤去後の開口閉鎖（補強共）は建築工事とする。
6. 図示の通気用VCは撤去する。

北側特別教室及び普通教室棟(B棟) 3階平面図 (改修後)



凡例：改修工事部分（全面リニューアル改修工事）を表す。

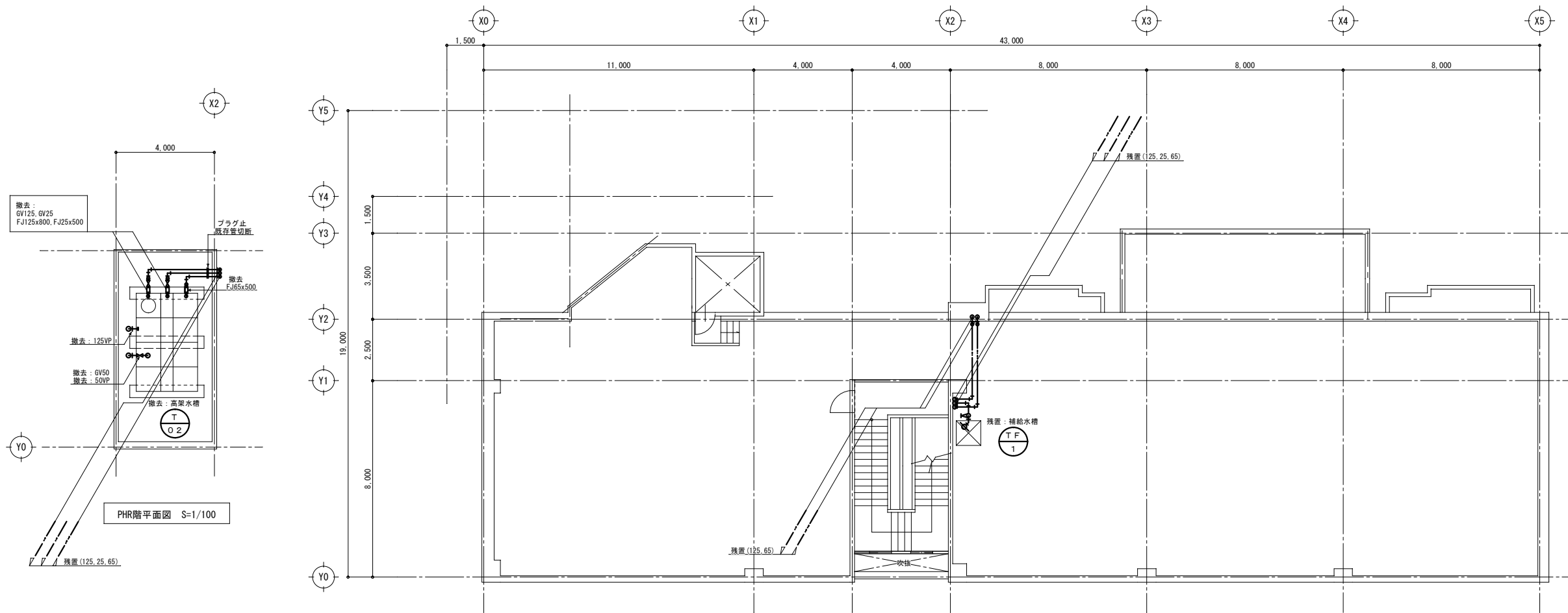
新設管凡例

記号	名称	施工区分	仕様
—	給水管	天井・PS内	耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVP)
←	汚水管	天井・PS内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
—	排水管	天井・PS内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
---	通気管	天井・PS内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
---	既設管	天井内	改修前凡例による

※注記

1. 衛生器具及び水栓を新設とする。
2. 天井内及びPS内配管（保温共）を新設とする。
3. 図示の既設屋内給水管は既設管再使用とする。
4. 掃除口、床排水トラップを新設とする。
5. 図示の通気用VCは新設する。

北側特別教室及び普通教室棟(B棟) R・PHR階平面図 (改修前)

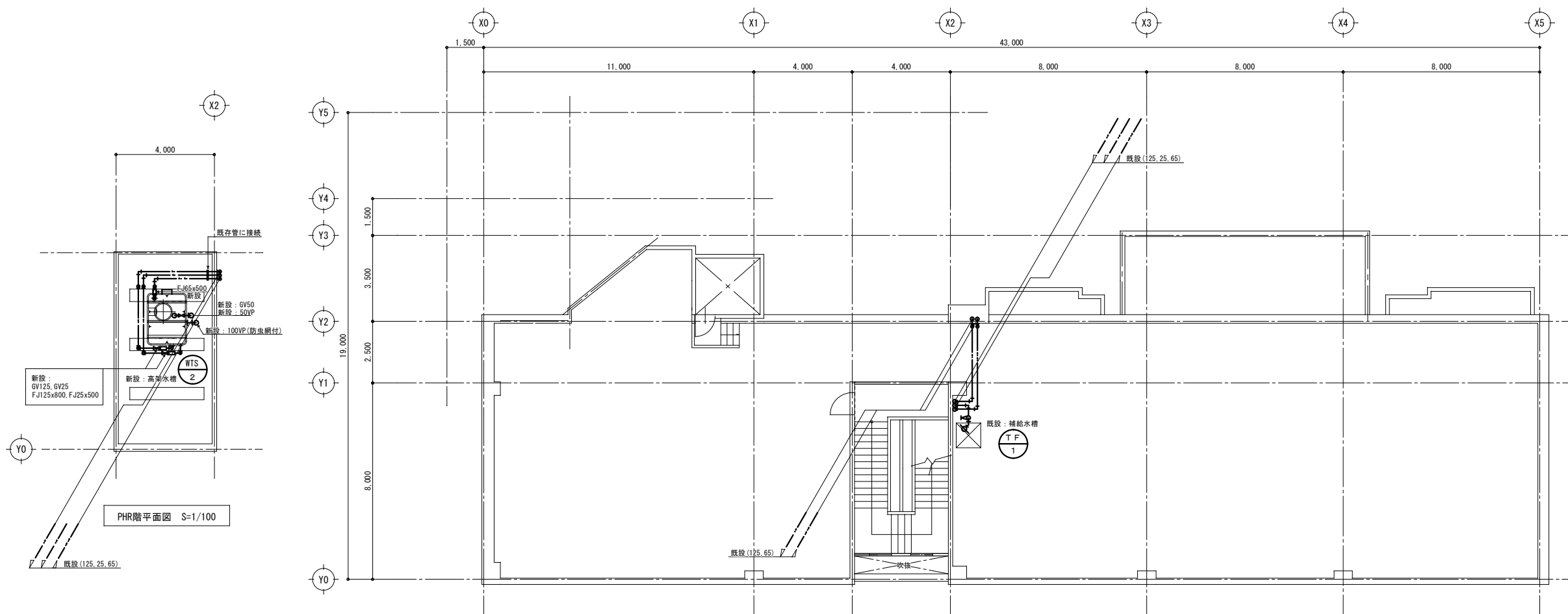


凡例

既存撤去管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
	給水管	屋外露出	水道用塩ビライニング鋼管
	揚水管	屋外露出	水道用塩ビライニング鋼管
	排水管	屋外露出	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)

※注記
 1. 高架水槽 (4.0x2.5x1.0H) 架台共を撤去処分とする。
 2. PHR階箇所の配管 (保温共) は切断処理後、撤去処分とする。

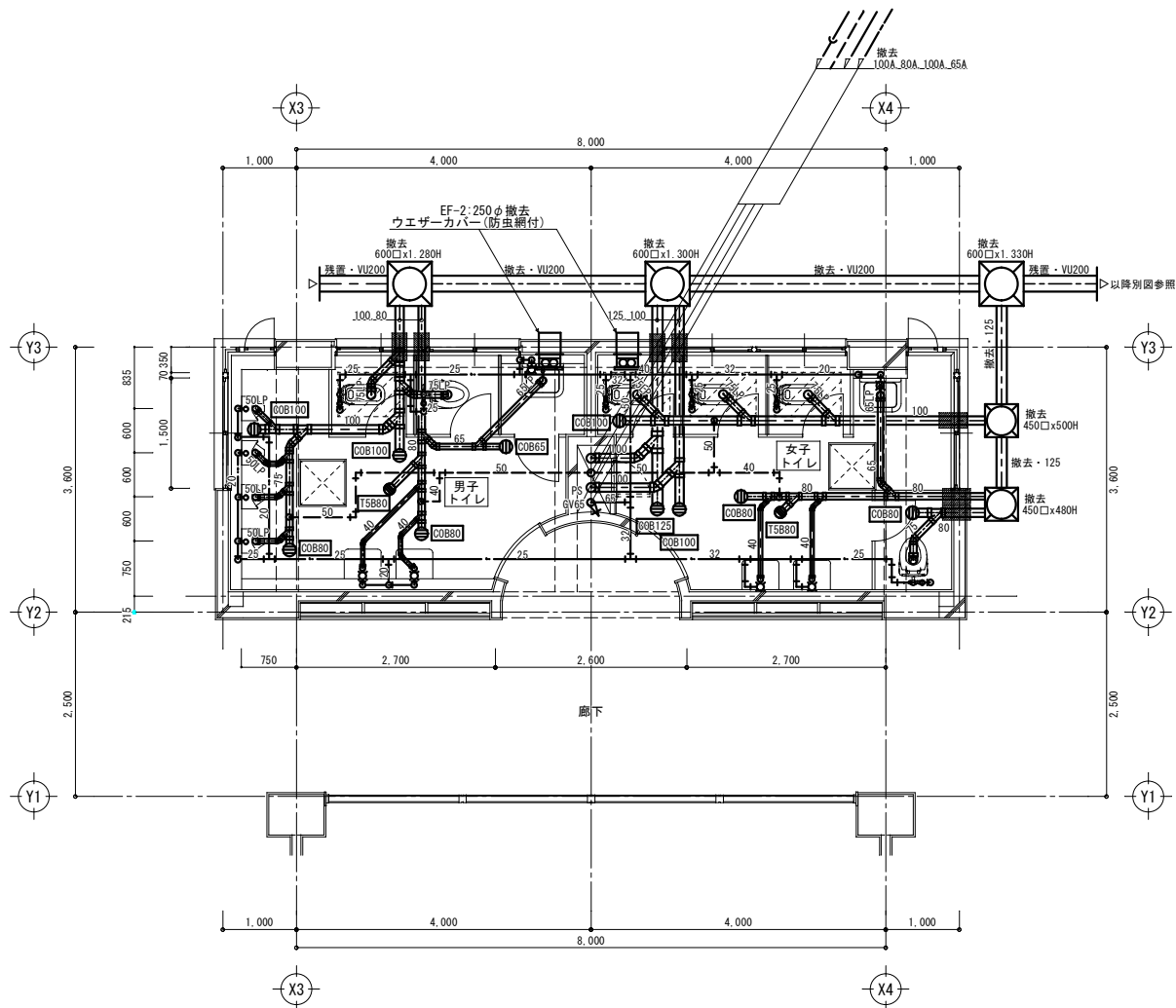
北側特別教室及び普通教室棟(B棟) R・PHR階平面図 (改修後)



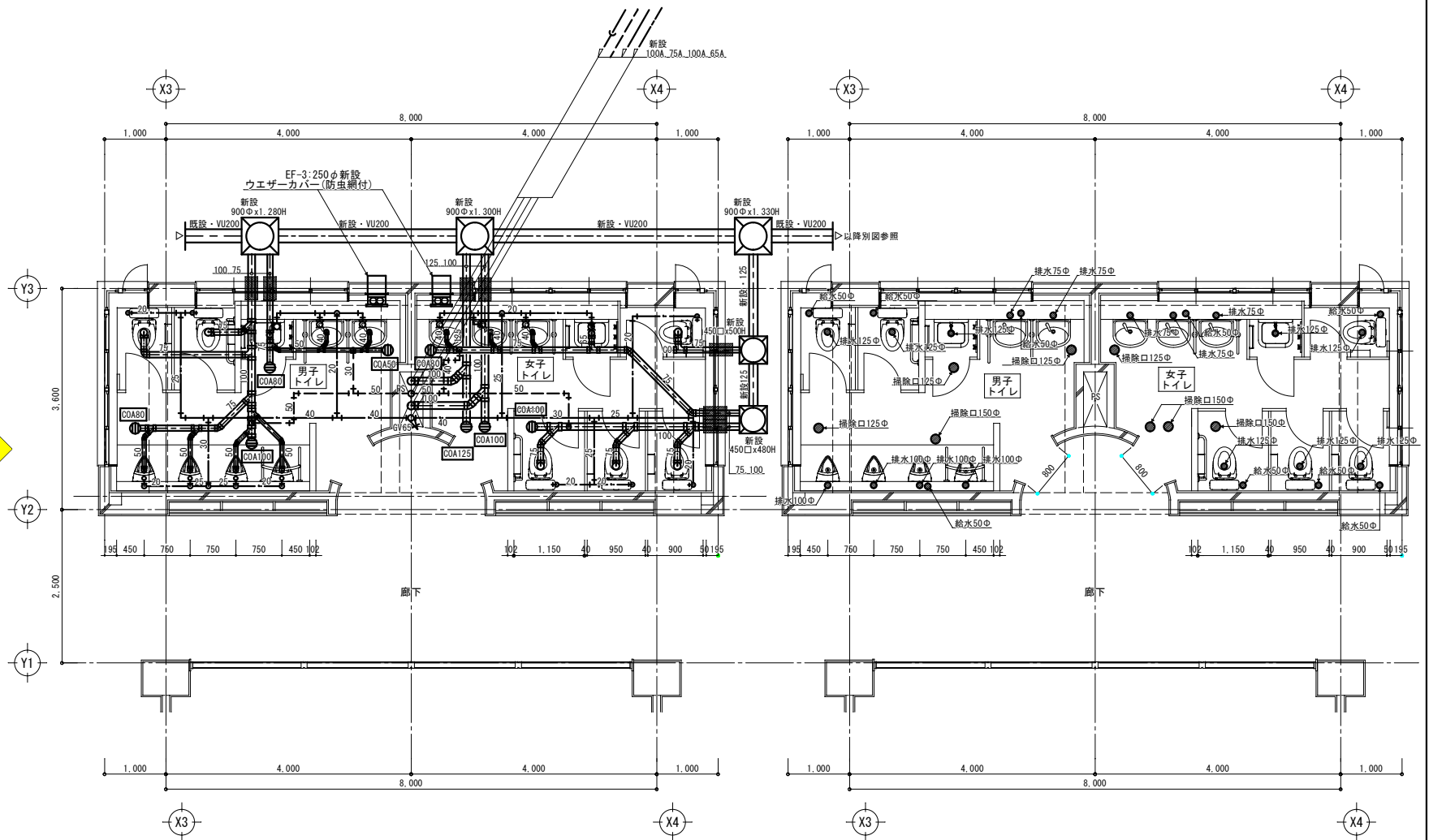
凡例

新設管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
	給水管	屋外露出	水道用塩ビライニング鋼管
	揚水管	屋外露出	水道用塩ビライニング鋼管
	排水管	屋外露出	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)

※注記
 1. 高架水槽 (1.5x2.0x1.32H) 架台共を新設とする。
 2. PHR階の配管 (保温共) は既存管に接続箇所以降は新設管とする。
 3. 上記の配管架台 (鋼製) は新設とする。



1階平面詳細図 (改修前) S=1/50



1階平面詳細図 (改修後) S=1/50

1階平面詳細図 (改修後) S=1/50

(床研り補修参考図)

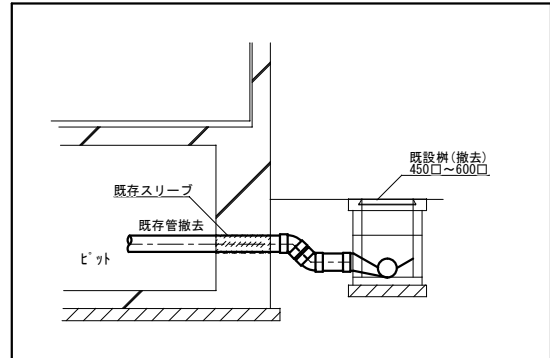
※トイレ内の配管用穴埋め工事は本工事とする。

	床	
	1F	合計
給水管用 50φ	15	15箇所
排水管用 75φ	4	4箇所
排水管用 100φ	4	4箇所
排水管用 125φ	15	15箇所
排水管用 150φ	5	5箇所

既存撤去管 凡例

記号	名称	施工区分	仕様
---	給水管	ビット内	水道用塩ビラインング鋼管
---	汚水管	ビット内	排水用鉄線管
---	排水管	ビット内	排水用鉛管
---	排水管	ビット内	配管用炭素鋼鋼管
---	通気管	ビット内	配管用炭素鋼鋼管
---	排水管	地中埋設	硬質塩化ビニル管
---	排水管	地中埋設	硬質塩化ビニル管

- ※注記
1. 衛生器具及び水栓を撤去し処分する。
 2. ビット内配管 (保温共) を撤去する。
 3. 図示の残置屋外排水管以外及びインバート樹は撤去する。
 4. 掃除口、床排水トラップを撤去する。
 5. 換気扇250φ及びウエザーカバーを撤去する。
 6. 和風便器撤去後の開口閉鎖 (補強共) は建築工事とする。

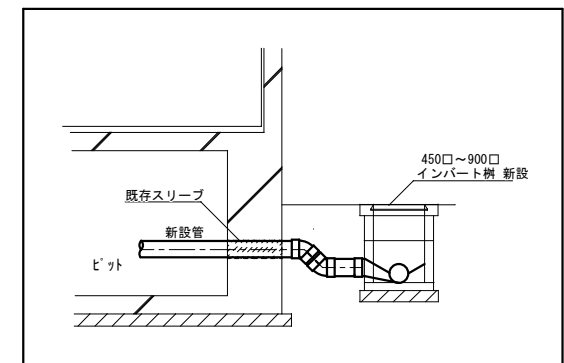


既設樹回り参考図

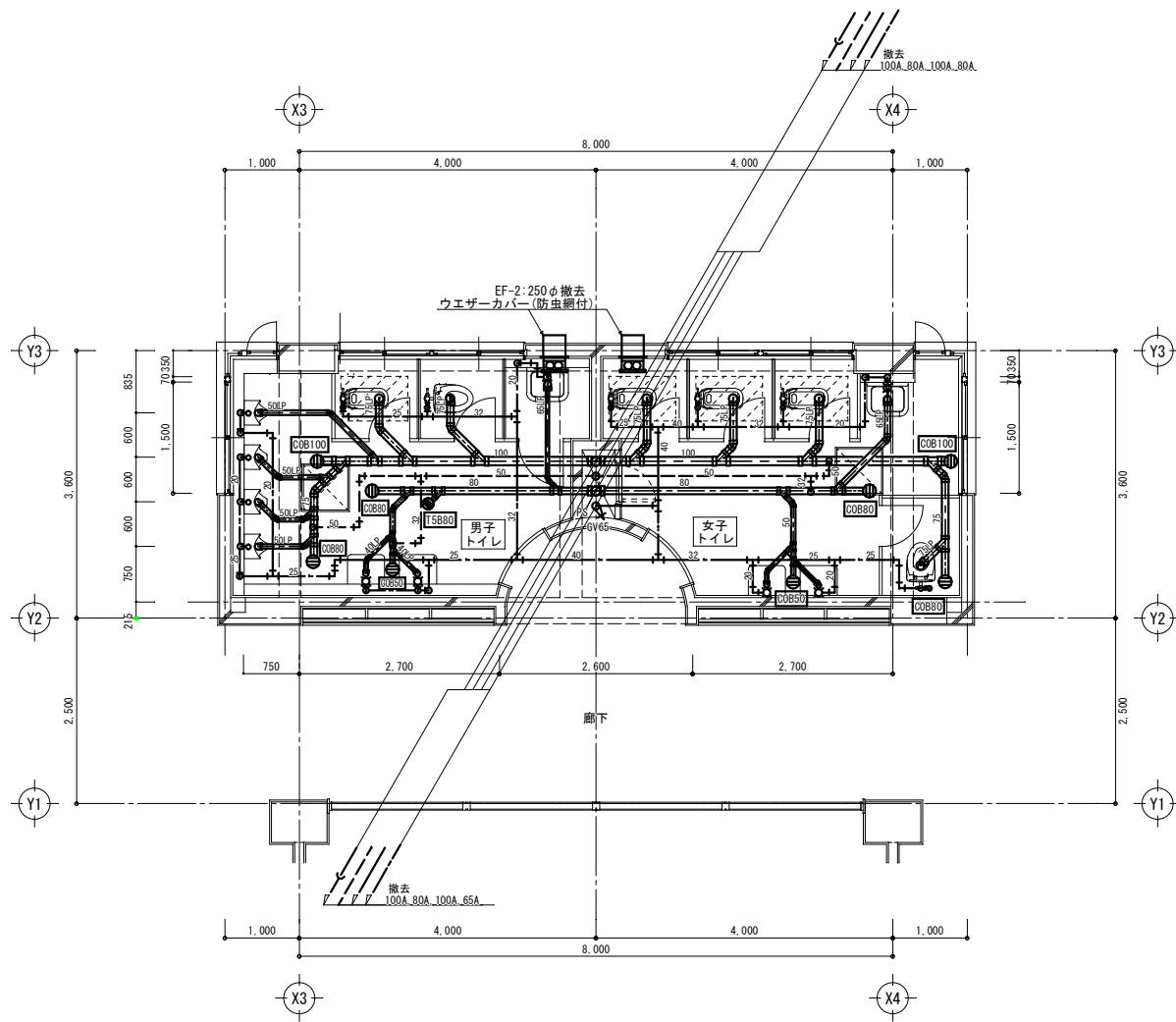
新設管 凡例

記号	名称	施工区分	仕様
---	給水管	ビット内	耐衝撃性塩ビ管 (HIVP)
---	汚水管	ビット内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
---	排水管	ビット内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
---	排水管	地中埋設	硬質ポリ塩化ビニル管 (VU)
---	通気管	ビット内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
---	既設管	ビット内	改修前凡例による

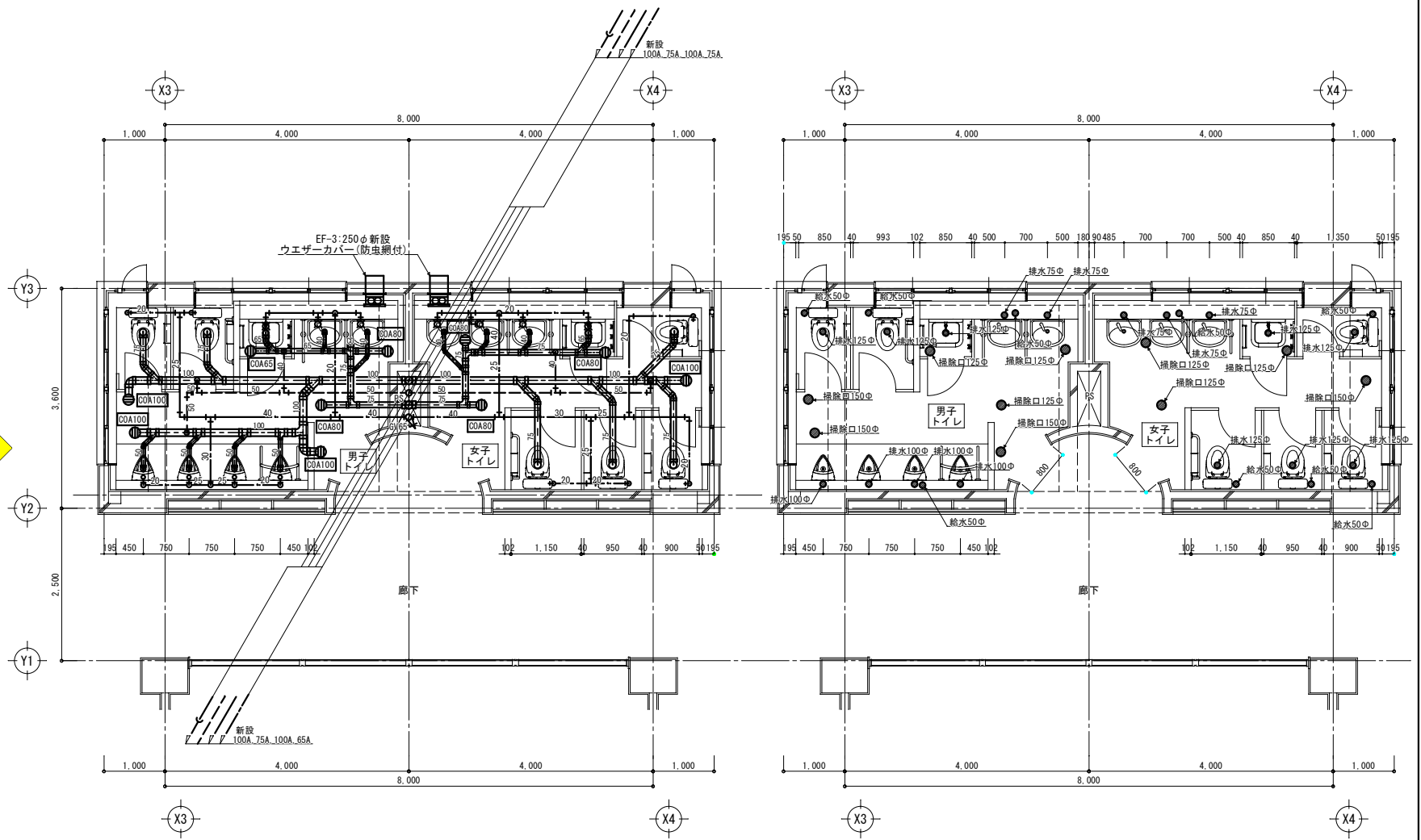
- ※注記
1. 衛生器具及び水栓を新設する。
 2. ビット内及びPIS内の給排水・通気管・掃除口を新設する。
 3. 男子・女子トイレ換気扇250φ及びウエザーカバーを新設する。
 4. 屋外配管は既設再使用以外は新設する。
 5. インバート樹は新設とする。
 6. 新設配管は既存梁貫通スリーブを使用する。
 7. 既存スリーブは新設配管後は外部からの浸水が無いよう処理する。
 8. スリーブ穴埋め補修は、モルタル詰め・捨シーリングの上、塗膜防水塗布 (300×300程度) とする。(内外共)



既設樹回り参考図



2,3階平面詳細図(改修前) S=1/50



2,3階平面詳細図(改修後) S=1/50

2,3階平面詳細図(改修後) S=1/50

(床研り補修参考図)

既存撤去管 凡例

記号	名称	施工区分	仕様
———	給水管	天井・PS内	水道用塩ビライニング鋼管
———	汚水管	天井・PS内	排水用錆鉄管
———	排水管	天井・PS内	排水用鉛管
———	排水管	天井・PS内	配管用炭素鋼管
———	通気管	天井・PS内	配管用炭素鋼管

- ※注記
1. 衛生器具及び水栓を撤去し処分する。
 2. 天井内及びPS内配管(保温共)を撤去する。
 3. 掃除口、床排水トラップを撤去する。
 4. 換気扇250φ及びウエザーカーバーを撤去する。
 5. 和風便器撤去後の開口閉鎖(補強共)は建築工事とする。

※トイレ内の配管用穴埋め工事は本工事とする。

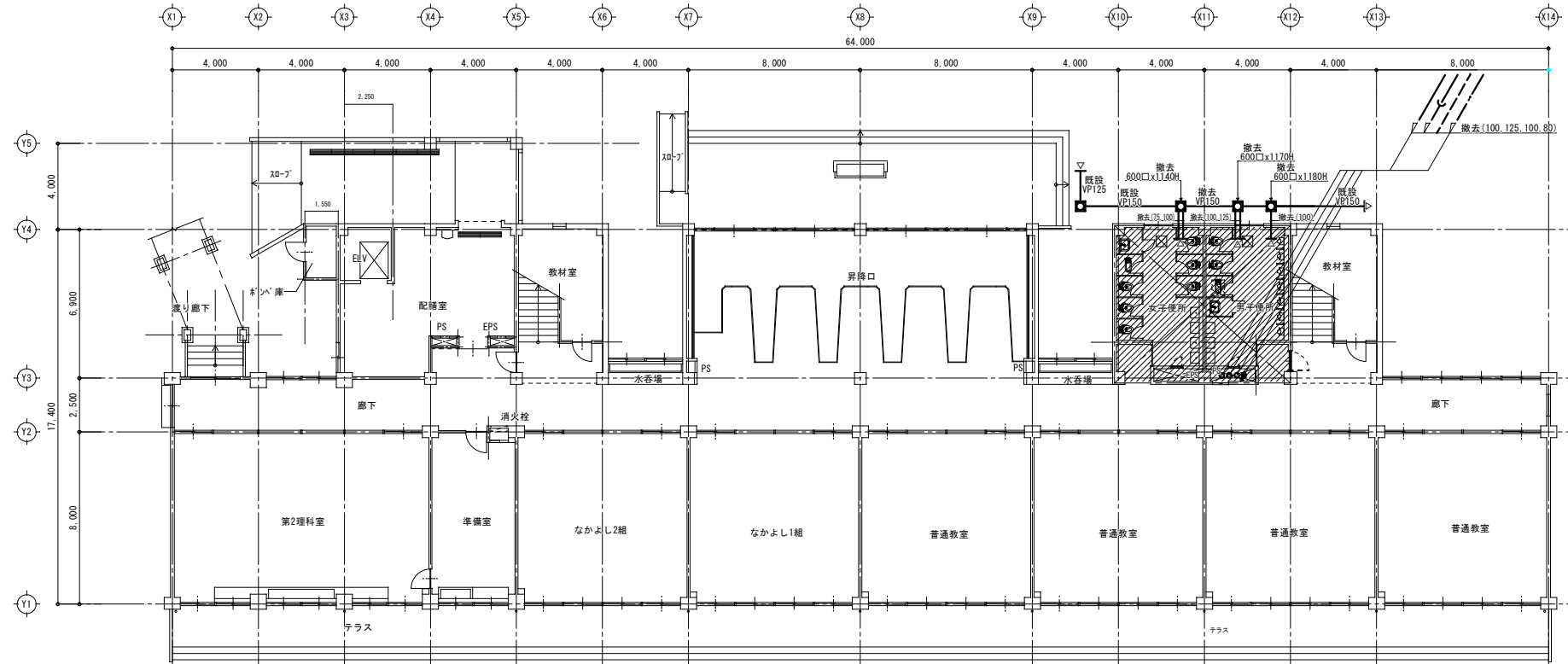
	床		合計
	2F	3F	
給水管用 50φ	15	15	30箇所
排水管用 75φ	4	4	8箇所
排水管用 100φ	4	4	8箇所
排水管用 125φ	15	15	22箇所
排水管用 150φ	2	2	4箇所

新設管 凡例

記号	名称	施工区分	仕様
———	給水管	天井・PS内	耐衝撃性塩ビ管(HIVP)
———	汚水管	天井・PS内	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(VP)
———	排水管	天井・PS内	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(VP)
———	通気管	天井・PS内	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(VP)
———	既設管	天井・PS内	改修前凡例による

- ※注記
1. 衛生器具及び水栓を新設する。
 2. 天井内及びPS内の給排水・通気管・掃除口を新設する。
 3. 男子・女子トイレ換気扇250φ及びウエザーカーバーを新設する。
 4. 新設配管は既存梁貫通スリーブを使用する。

南側特別教室及び普通教室棟 (C棟) 1階平面図 (改修前)

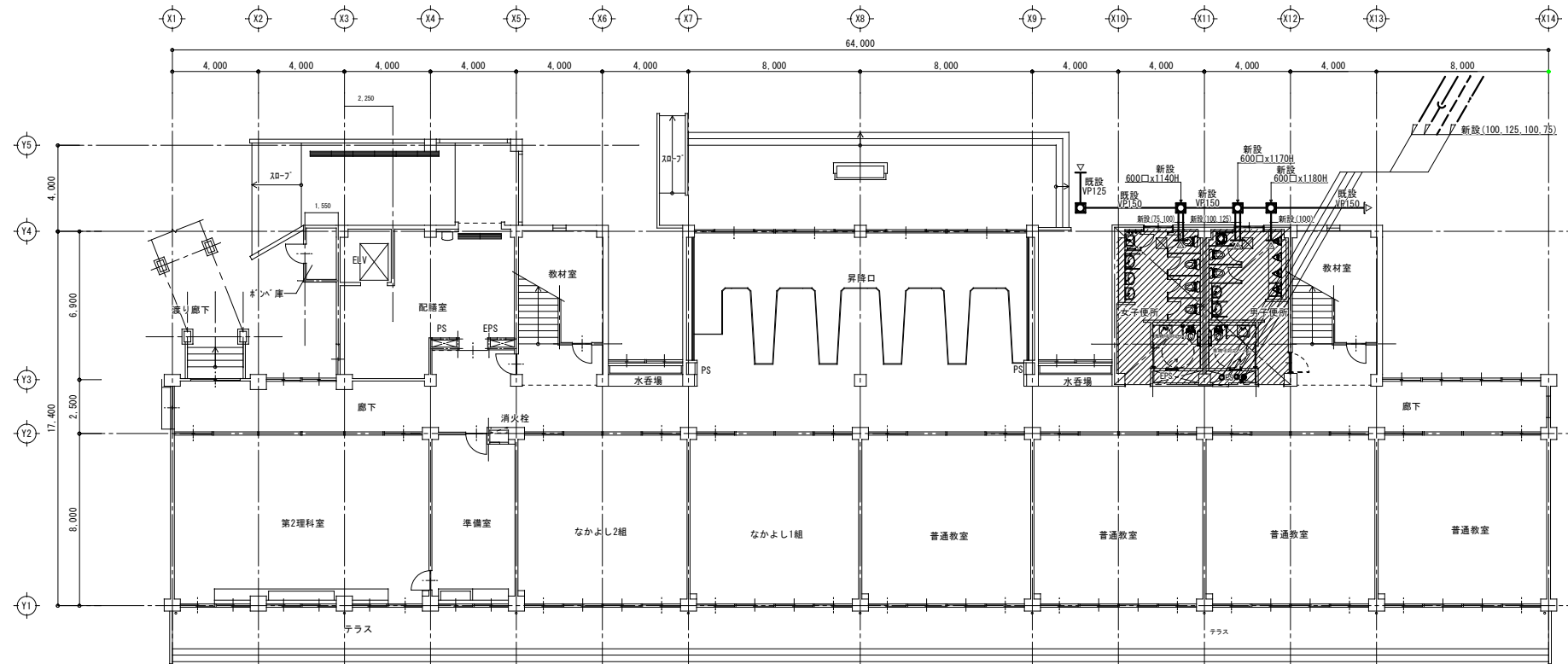


凡例：改修工事部分（全面リニューアル改修工事）を表す。

既存撤去管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
	給水管	ビット内	水道用塩ビライニング鋼管
	汚水管	ビット内	排水用硬質塩化ビニル管 (VP)
	排水管	ビット内	排水用硬質塩化ビニル管 (VP)
	通気管	ビット内	排水用硬質塩化ビニル管 (VP)
	排水管	地中埋設	硬質塩化ビニル管 (VP)

※注記
 1. 衛生器具及び水栓を撤去し処分する。
 2. ビット内配管（保温共）を撤去する。
 3. 図示の残置屋外排水管以外は撤去する。
 4. 屋外インバート側は撤去とする。
 5. 掃除口、床排水トラップを撤去する。
 6. 和風便器撤去後の開口閉鎖（補強共）は建築工事とする。

南側特別教室及び普通教室棟 (C棟) 1階平面図 (改修後)

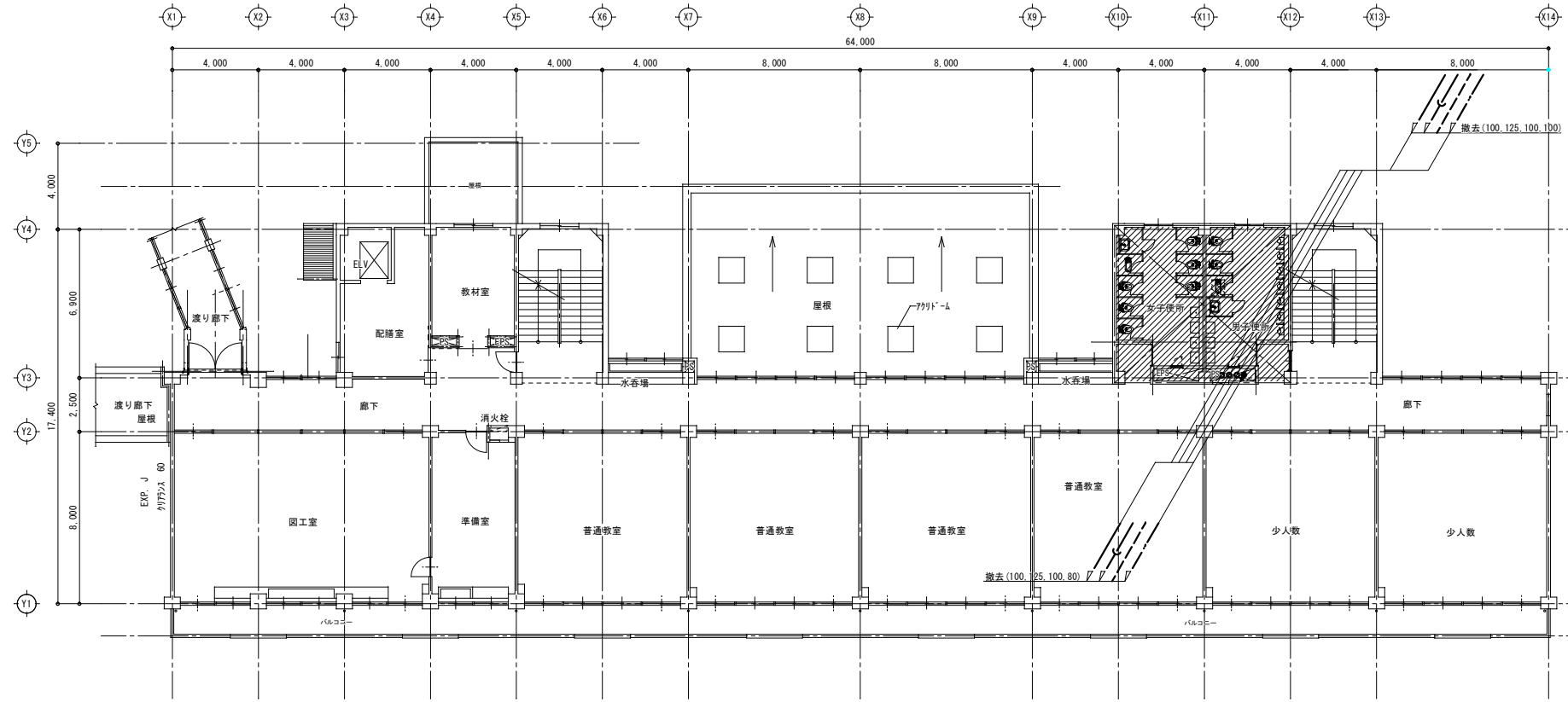


凡例：改修工事部分（全面リニューアル改修工事）を表す。

新設管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
	給水管	ビット内	耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVP)
	汚水管	ビット内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
	排水管	ビット内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
	排水管	地中埋設	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
	通気管	ビット内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
	既設管	地中埋設	改修前凡例による

※注記
 1. 衛生器具及び水栓を新設する。
 2. ビット内及びPS内の給排水・通気管・掃除口を新設する。
 3. 図示箇所屋外配管及びインバート側は新設とする。
 4. 新設配管は既存梁貫通スリーブを使用する。
 5. 既存スリーブは新設配管後は外部からの浸水が無いよう処理する。
 6. スリーブ穴埋め補修は、モルタル詰め・捨シーリングの上、塗膜防水塗布 (300x300程度) とする。(内外共)

南側特別教室及び普通教室棟 (C棟) 2階平面図 (改修前)

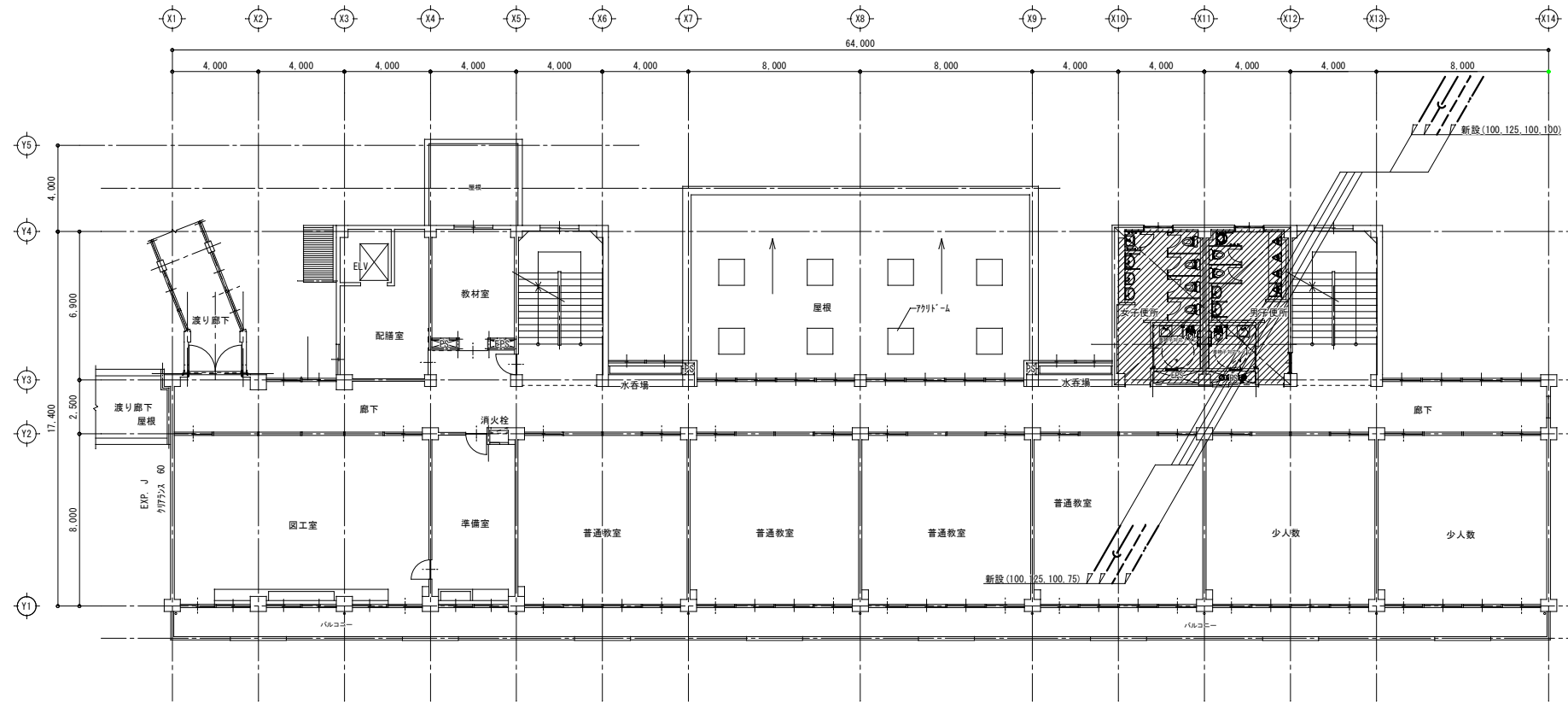


凡例：改修工事部分（全面リニューアル改修工事）を表す。

既存撤去管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
	給水管	天井・PS内	水道用塩ビライニング鋼管
	汚水管	天井・PS内	排水用塩ビライニング鋼管
	排水管	天井・PS内	排水用塩ビライニング鋼管
	通気管	天井・PS内	排水用塩ビライニング鋼管

※注記
 1. 衛生器具及び水栓を撤去し処分する。
 2. 天井内及びPS内配管（保温共）を撤去する。
 3. 掃除口、床排水トラップを撤去する。
 4. 和風便器撤去後の開口閉鎖（補強共）は建築工事とする。

南側特別教室及び普通教室棟 (C棟) 2階平面図 (改修後)

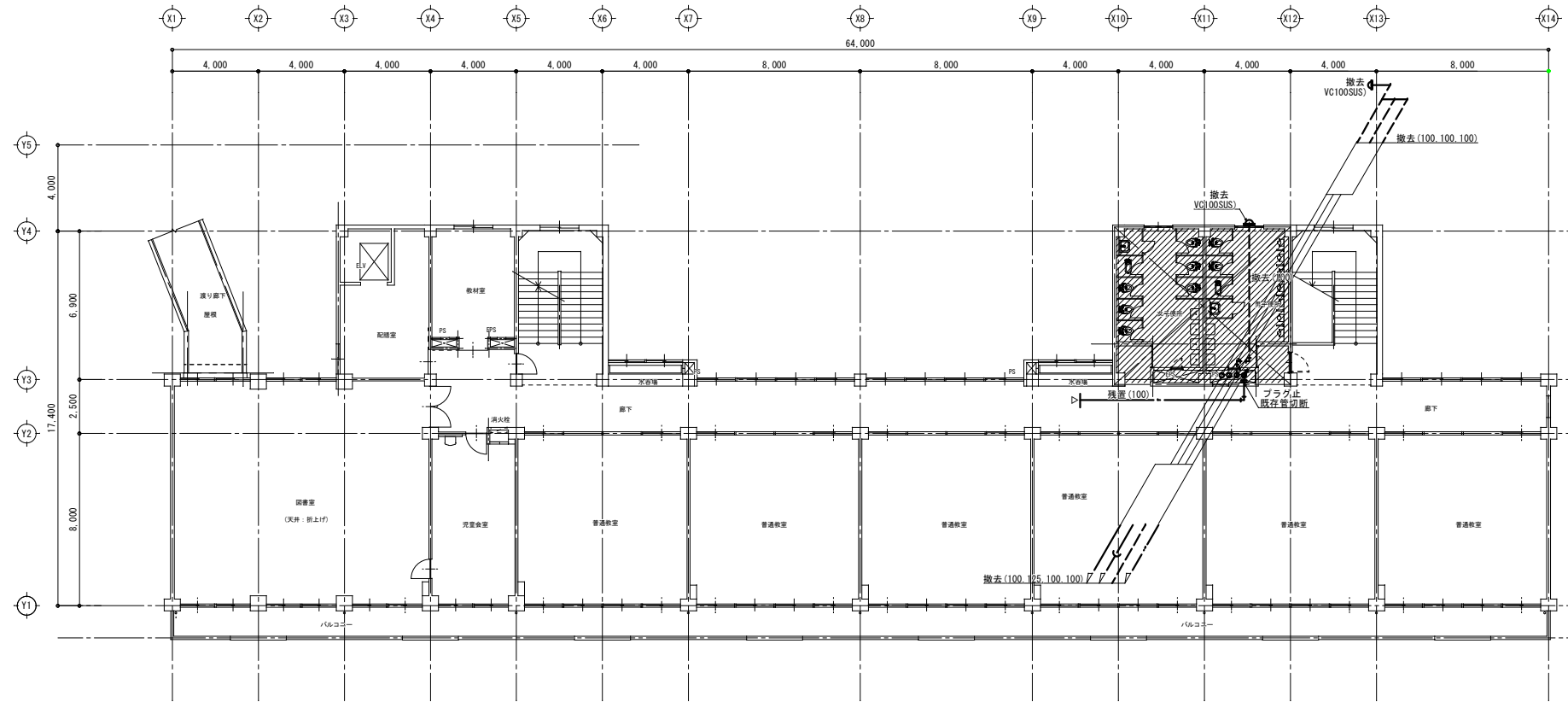


凡例：改修工事部分（全面リニューアル改修工事）を表す。

新設管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
	給水管	天井・PS内	耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVP)
	汚水管	天井・PS内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
	排水管	天井・PS内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
	通気管	天井・PS内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
	既存管	天井内	改修前凡例による

※注記
 1. 衛生器具及び水栓を新設とする。
 2. 天井内及びPS内配管（保温共）を新設とする。
 3. 図示の既設屋内排水・給水管は既設管再使用とする。
 4. 掃除口、床排水トラップを新設とする。

南側特別教室及び普通教室棟 (C棟) 3階平面図 (改修前)



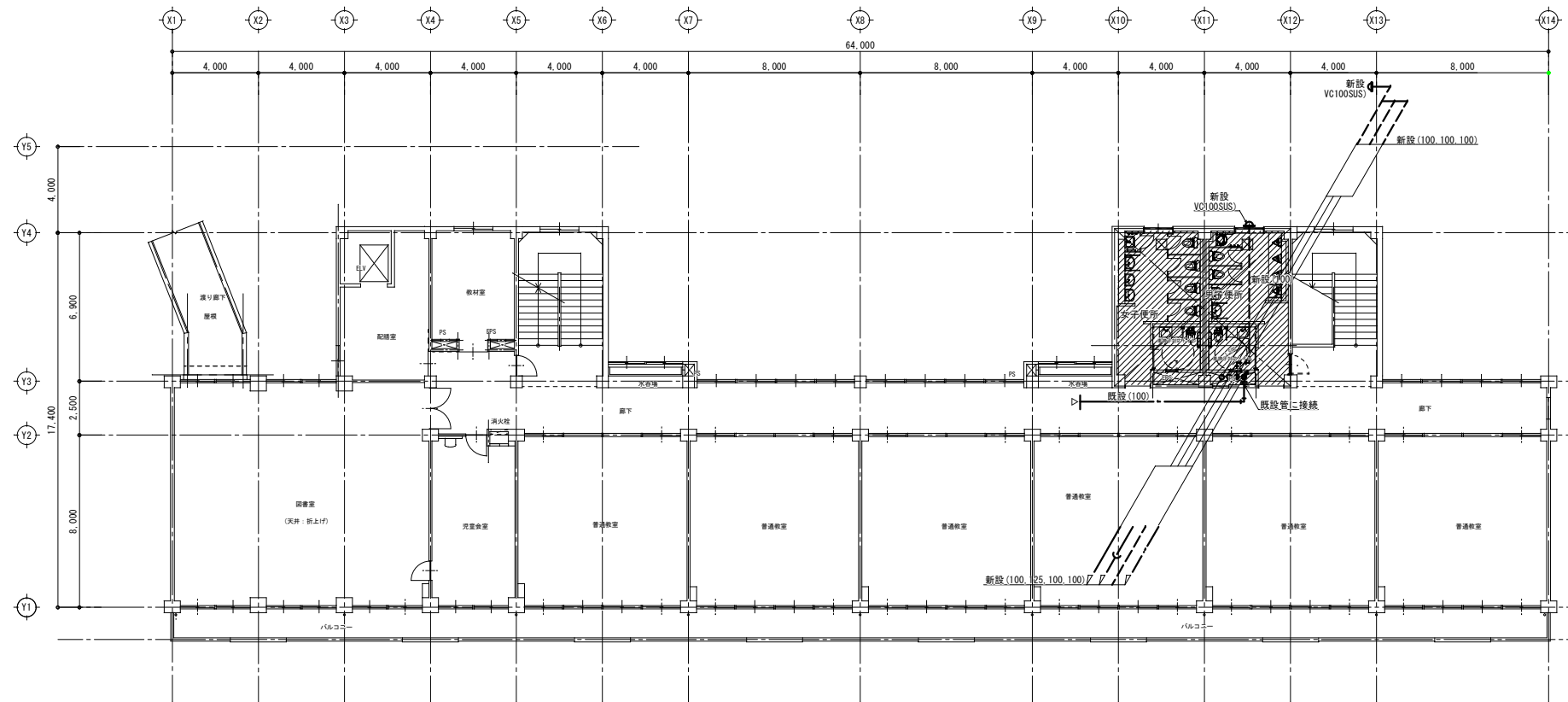
凡例：改修工事部分（全面リニューアル改修工事）を表す。

既存撤去管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
	給水管	天井・PS内	水通塩ビライニング鋼管
	汚水管	天井・PS内	排水用塩ビライニング鋼管
	排水管	天井・PS内	排水用塩ビライニング鋼管
	通気管	天井・PS内	排水用塩ビライニング鋼管

※注記

1. 衛生器具及び水栓を撤去し処分する。
2. 天井内及びPS内配管（保温共）を撤去する。
3. 掃除口、床排水トラップを撤去する。
4. 和風便器撤去後の開口閉鎖（補強共）は建築工事とする。
5. 図示の通気用VCは撤去する。

南側特別教室及び普通教室棟 (C棟) 3階平面図 (改修後)



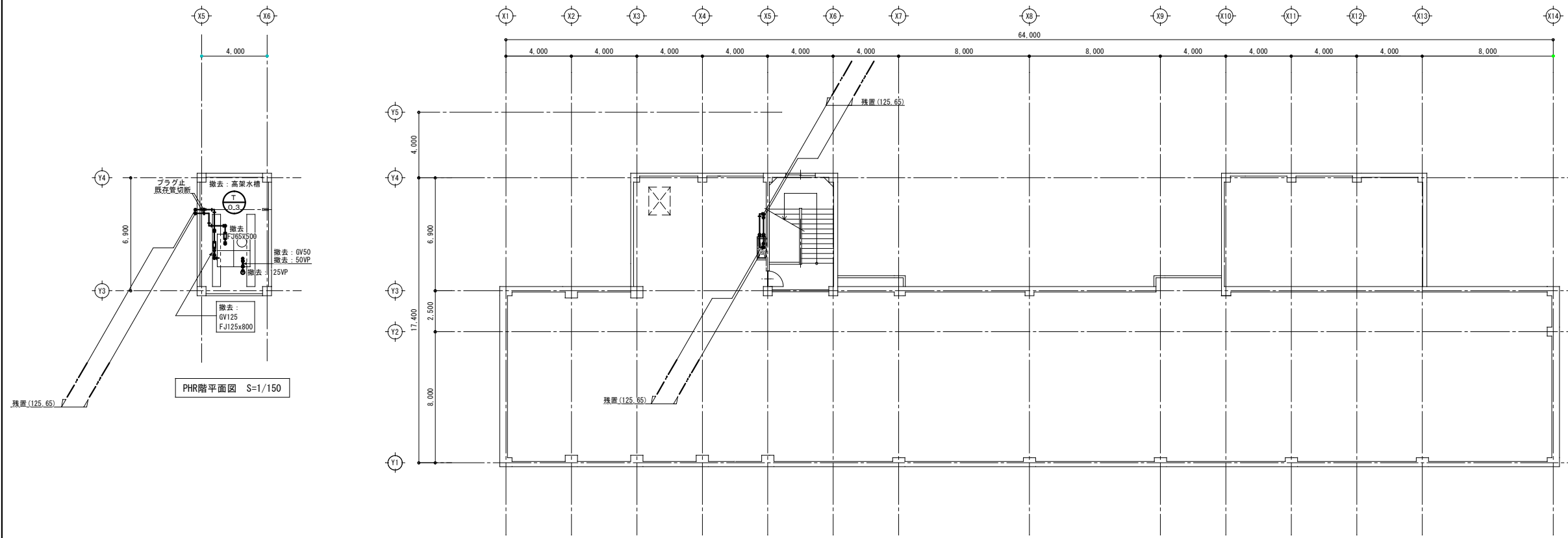
凡例：改修工事部分（全面リニューアル改修工事）を表す。

新設管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
	給水管	天井・PS内	耐衝撃性塩化ビニル管 (HVP)
	汚水管	天井・PS内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
	排水管	天井・PS内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
	通気管	天井・PS内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
	既設管	天井内	改修前凡例による

※注記

1. 衛生器具及び水栓を新設とする。
2. 天井内及びPS内配管（保温共）を新設とする。
3. 図示の既設屋内給水管は既設管再使用とする。
4. 掃除口、床排水トラップを新設とする。
5. 図示の通気用VCは新設する。

南側特別教室及び普通教室棟 (C棟) R・PHR階平面図 (改修前)

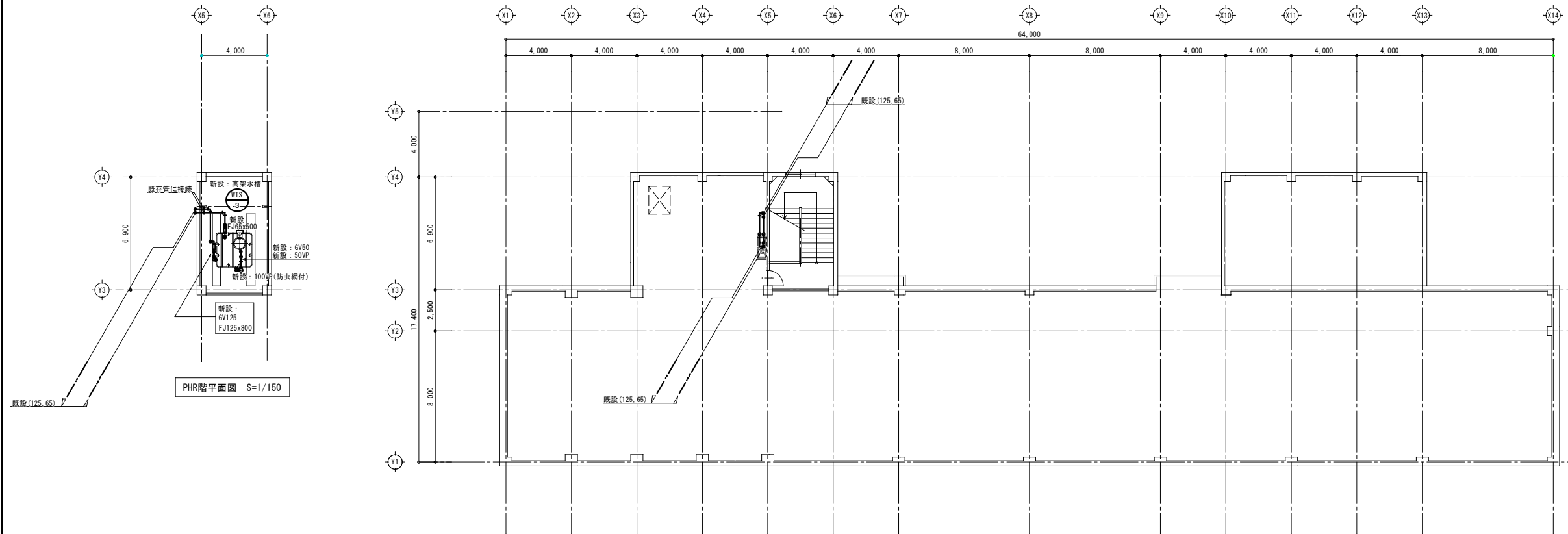


凡例

既存撤去管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
———	給水管	屋外露出	水道用塩ビライニング鋼管
———	揚水管	屋外露出	水道用塩ビライニング鋼管
———	排水管	屋外露出	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)

※注記
 1. 高架水槽 (2.0x2.0x2.0H) 架台共を撤去処分とする。
 2. PHR階の配管 (保温共) は切断処理後、撤去処分とする。

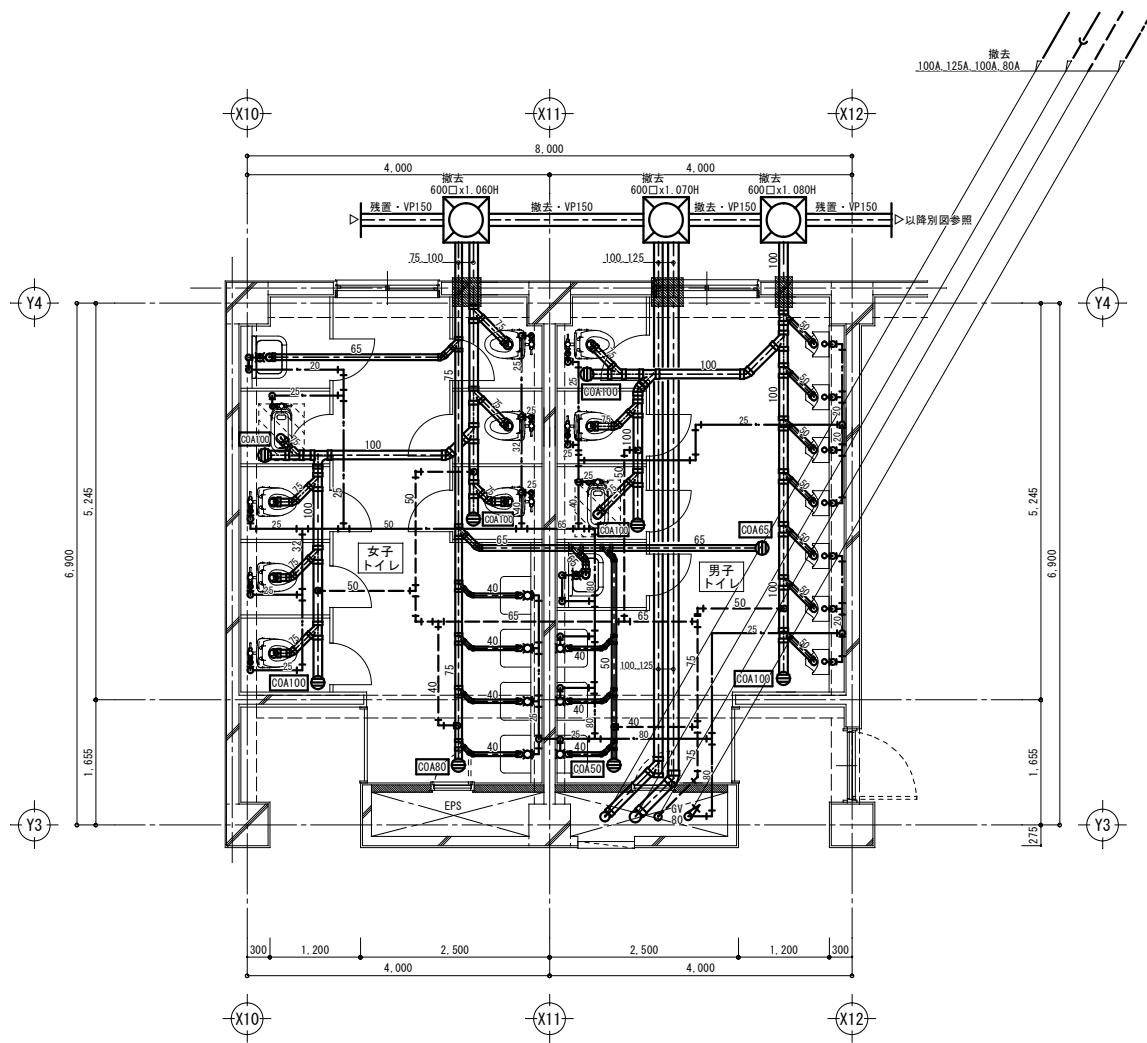
南側特別教室及び普通教室棟 (C棟) R・PHR階平面図 (改修後)



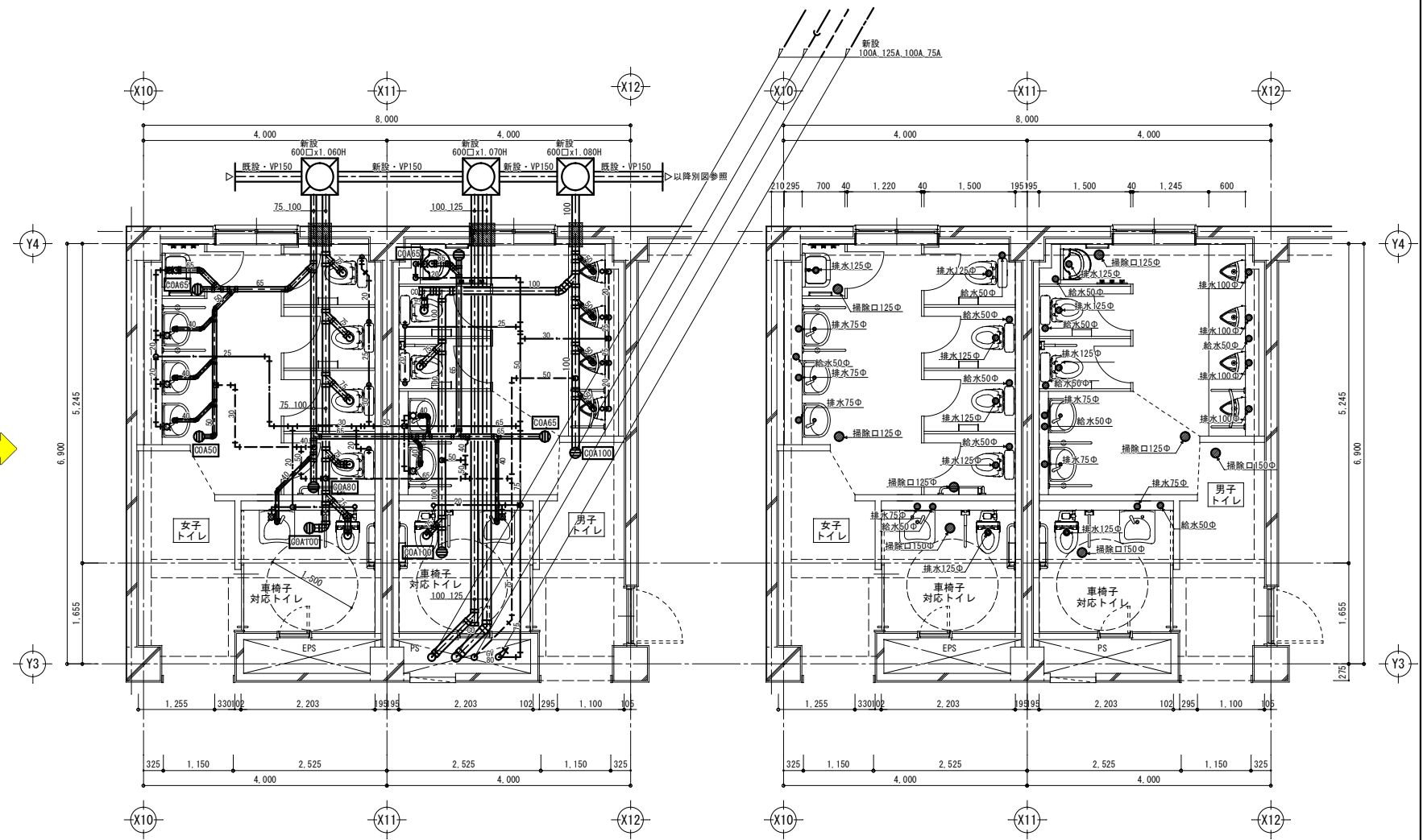
凡例

新設管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
———	給水管	屋外露出	水道用塩ビライニング鋼管
———	揚水管	屋外露出	水道用塩ビライニング鋼管
———	排水管	屋外露出	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)

※注記
 1. 高架水槽 (2.0x2.1x1.7H) 架台共を新設とする。
 2. PHR階の配管 (保温共) は既存管に接続箇所以降は新設管とする。
 3. 上記の配管架台 (鋼製) は新設とする。



1階平面詳細図(改修前) S=1/50



1階平面詳細図(改修後) S=1/50

1階平面詳細図(改修後) S=1/50

(床研り補修参考図)

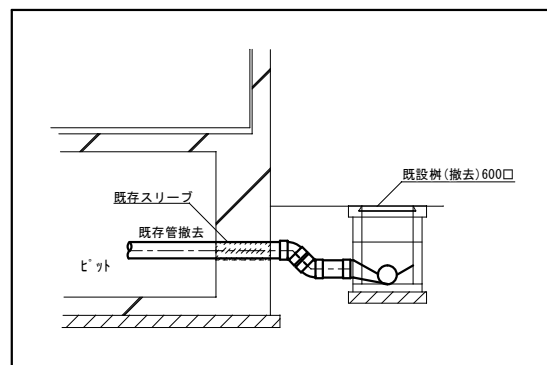
※トイレ内の配管穴埋め工事は本工事とする。

	床		合計
	1F		
給水管用 50φ	16		16箇所
排水管用 75φ	7		7箇所
排水管用 100φ	7		7箇所
排水管用 125φ	15		15箇所
排水管用 150φ	6		6箇所

既存撤去管 凡例

記号	名称	施工区分	仕様
	給水管	ビット内	水道用塩ビライニング鋼管
	汚水管	ビット内	排水用硬質塩化ビニル管 (VP)
	排水管	ビット内	排水用硬質塩化ビニル管 (VP)
	通気管	ビット内	排水用硬質塩化ビニル管 (VP)
	排水管	地中埋設	硬質塩化ビニル管

- ※注記
1. 衛生器具及び水栓を撤去し処分する。
 2. ビット内配管 (保温共) を撤去する。
 3. 図示の残置屋外排水管以外及びインパット樹は撤去する。
 4. 掃除口、床排水トラップを撤去する。
 5. 和風便器撤去後の開口閉鎖 (補強共) は建築工事とする。

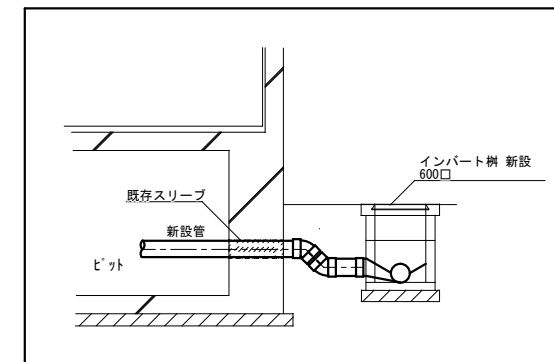


既設樹回り参考図

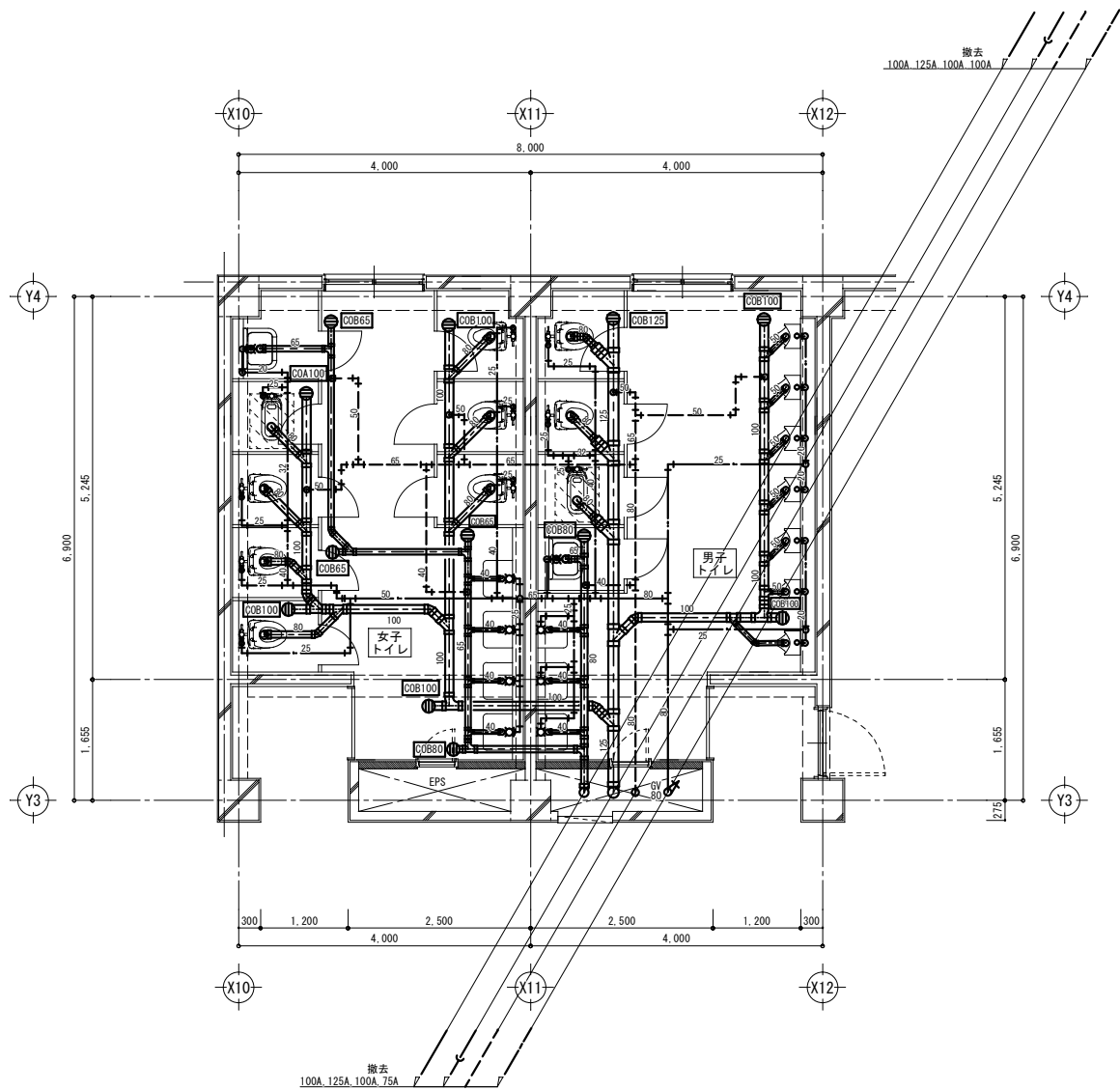
新設管 凡例

記号	名称	施工区分	仕様
	給水管	ビット内	耐衝撃性塩ビ管 (HIVP)
	汚水管	ビット内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
	排水管	ビット内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
	排水管	地中埋設	硬質ポリ塩化ビニル管 (VU)
	通気管	ビット内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
	既存管	ビット内	改修前凡例による

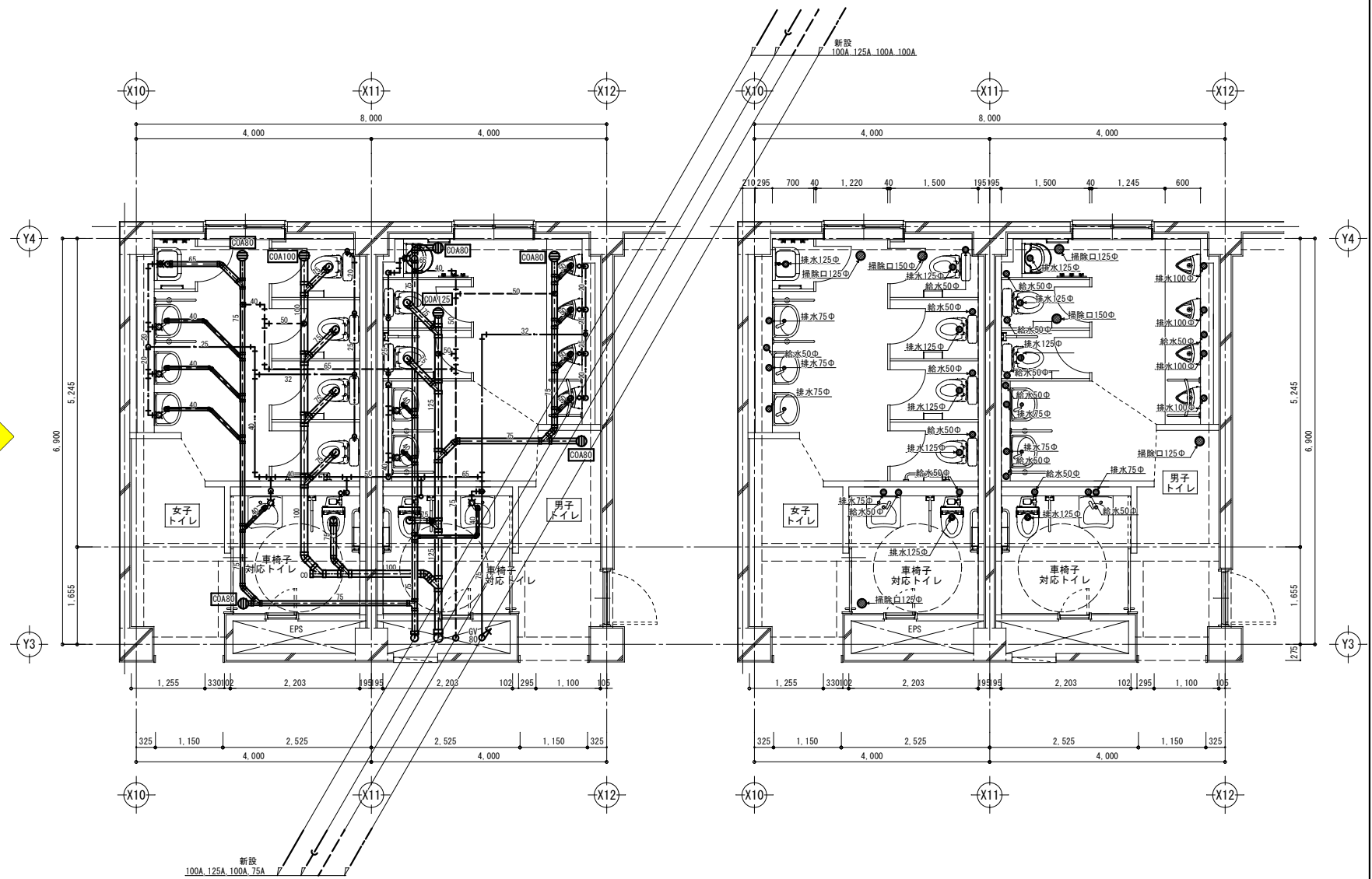
- ※注記
1. 衛生器具及び水栓を新設する。
 2. ビット内及びEPS内の給排水・通気管・掃除口を新設する。
 3. 屋外配管は既設再使用以外は新設する。
 4. インパット樹は新設とする。
 5. 新設配管は既存梁貫通スリーブを使用する。
 6. 既存スリーブは新設配管後は外部からの浸水が無いよう処理する。
 7. スリーブ穴埋め補修は、モルタル詰め・捨シーリングの上、塗膜防水塗布 (300×300程度) とする。(内外共)



既設樹回り参考図



2, 3階平面詳細図 (改修前) S=1/50



2, 3階平面詳細図 (改修後) S=1/50

2, 3階平面詳細図 (改修後) S=1/50

(床研り補修参考図)

既存撤去管 凡例

記号	名称	施工区分	仕様
—	給水管	天井・PS内	水通塩ビライニング鋼管
—	汚水管	天井・PS内	排水用塩ビライニング鋼管
—	排水管	天井・PS内	排水用塩ビライニング鋼管
—	通気管	天井・PS内	排水用塩ビライニング鋼管

※注記

1. 衛生器具及び水栓を撤去し処分する。
2. 天井内及びPS内配管 (保温共) を撤去する。
3. 掃除口、床排水トラップを撤去する。
4. 換気扇300φ及びウエザーカーを撤去する。
5. 和風便器撤去後の開口閉鎖 (補強共) は建築工事とする。

※トイレ内の配管用穴埋め工事は本工事とする。

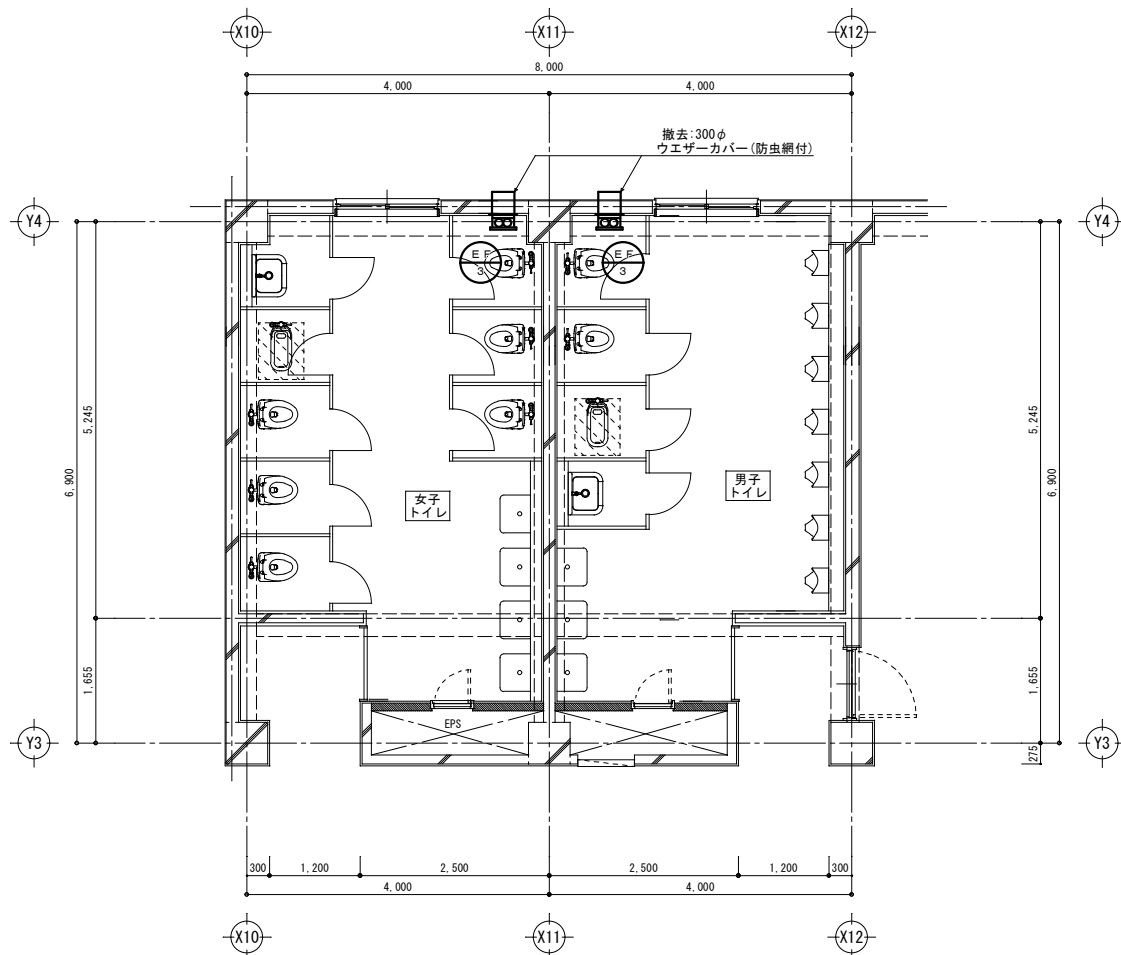
	床			合計
	2F	3F		
給水管用 50φ	19	19		38箇所
排水管用 75φ	6	6		12箇所
排水管用 100φ	7	7		14箇所
排水管用 125φ	17	17		34箇所
排水管用 150φ	7	7		14箇所

新設管 凡例

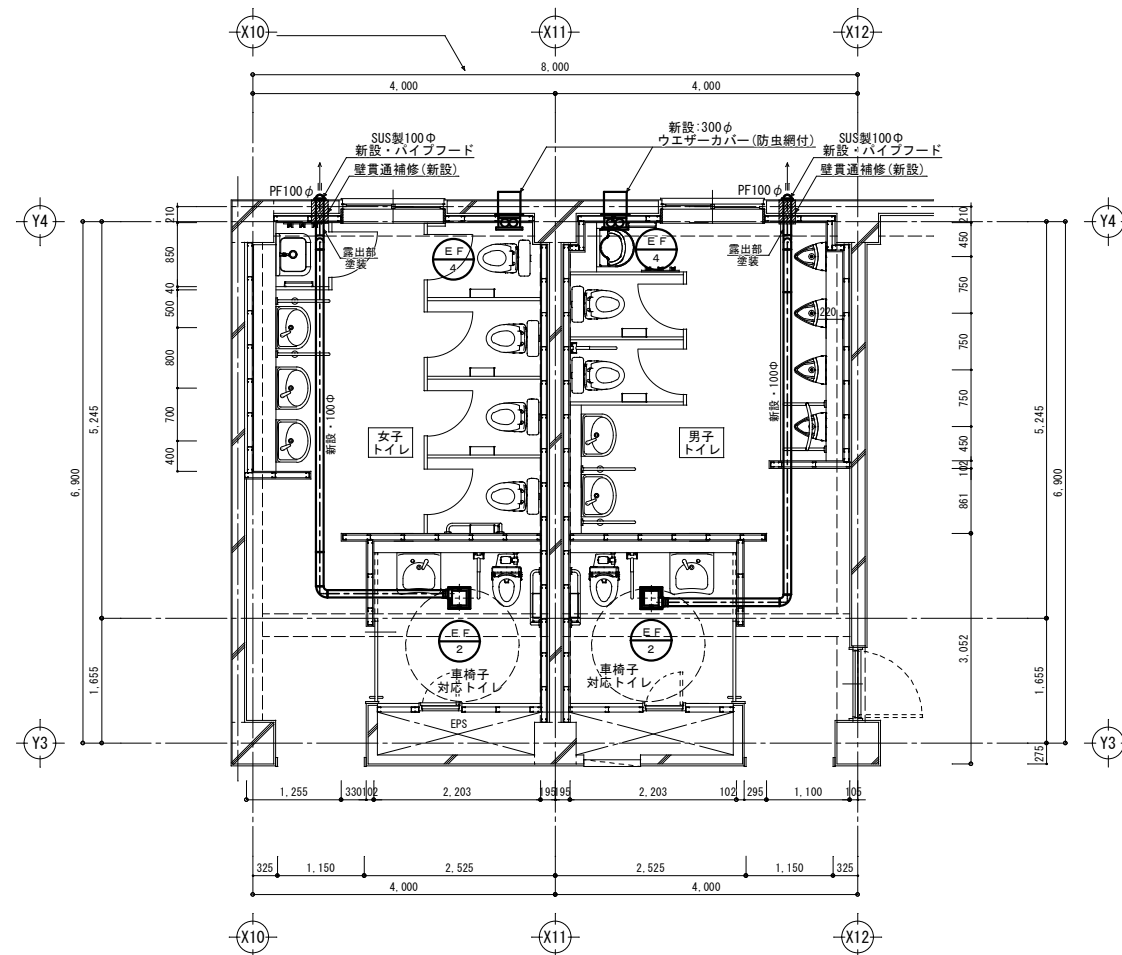
記号	名称	施工区分	仕様
—	給水管	天井・PS内	耐衝撃性塩ビ管 (HIVP)
—	汚水管	天井・PS内	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
—	排水管	天井・PS内	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
—	通気管	天井・PS内	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
—	既存管	天井・PS内	改修前凡例による

※注記

1. 衛生器具及び水栓を新設する。
2. 天井内及びPS内の給排水・通気管・掃除口を新設する。
3. 男子・女子トイレ換気扇300φ及びウエザーカーを新設する。
4. 新設配管は既存梁貫通スリーブを使用する。

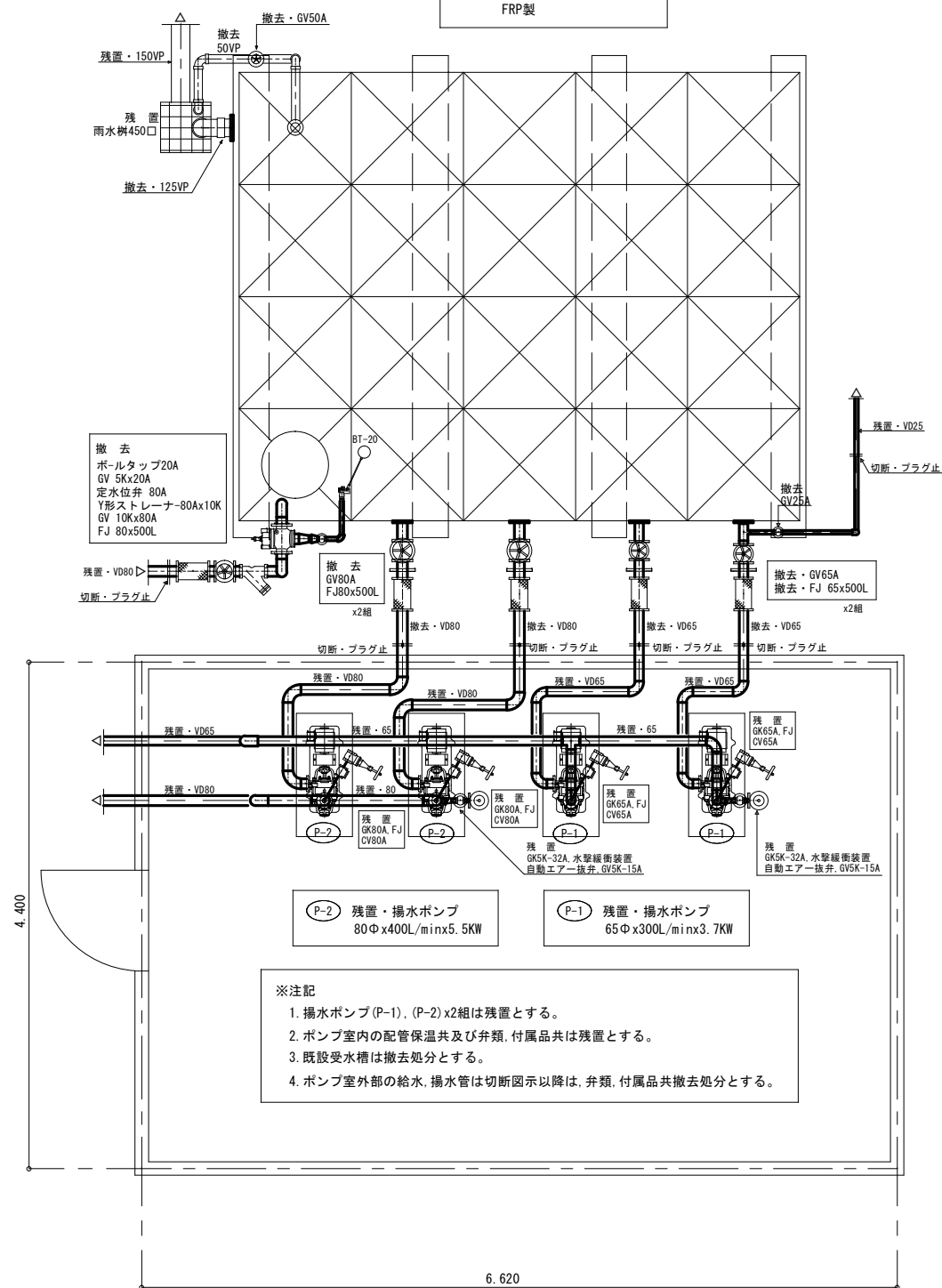


1～3階平面詳細図(改修前) S=1/50
(換気設備図)



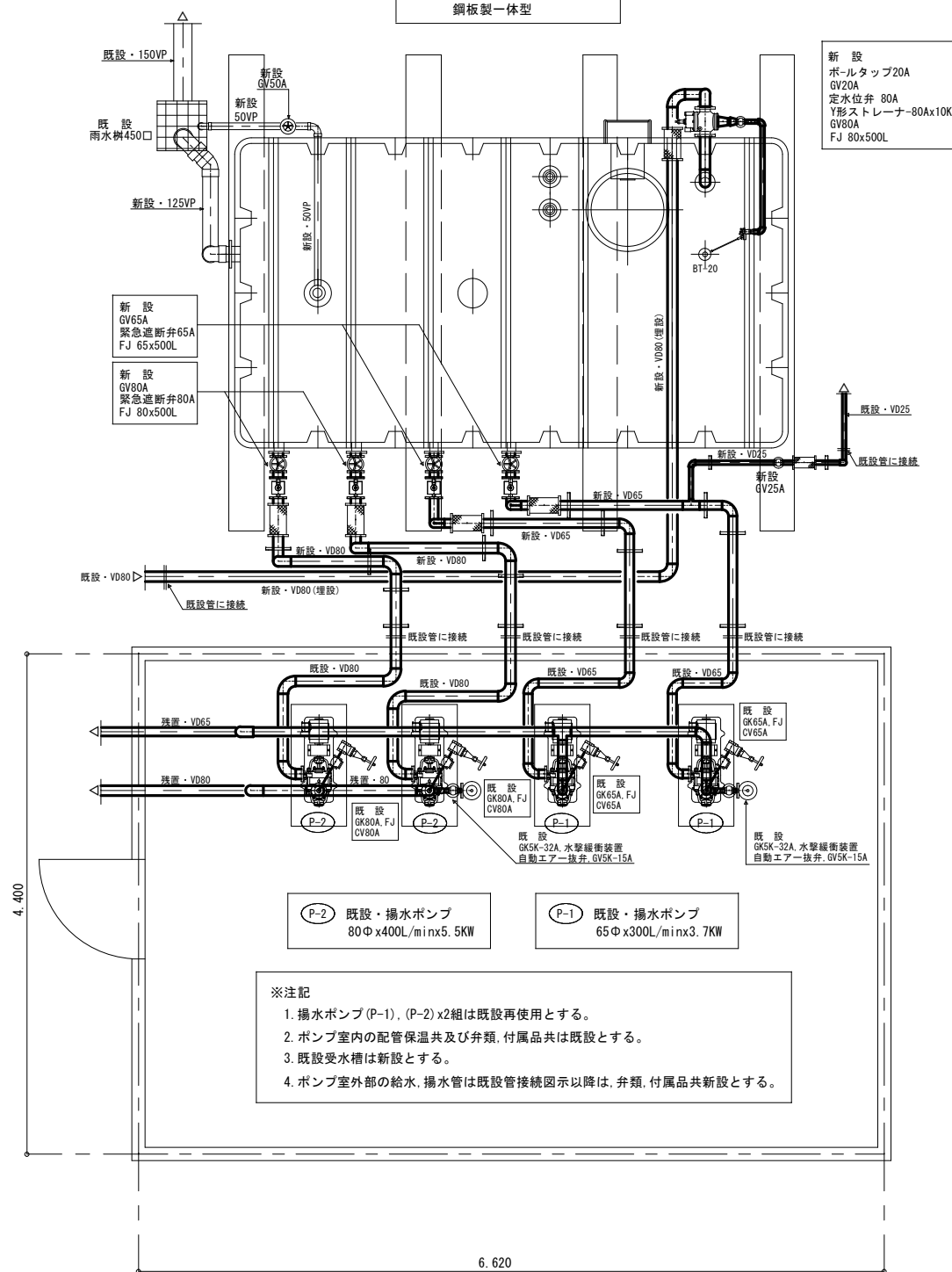
1～3階平面詳細図(改修後) S=1/50
(換気設備図)

T-01
撤去・受水槽架台共
外形寸法・5.0x4.0x1.5H
FRP製



受水槽・ポンプ室平面図 (改修前) S=1/30

WTS-1
新設・受水槽架台共
外形寸法・2.7x4.4x2.83H
鋼板製一体型



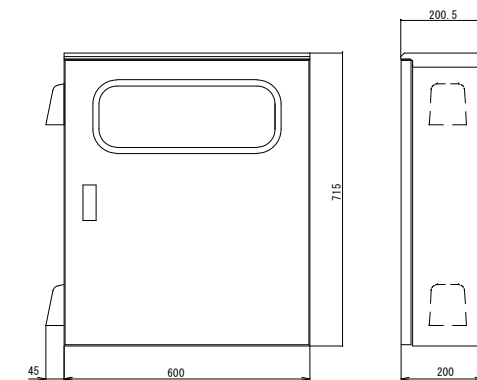
受水槽・ポンプ室平面図 (改修後) S=1/30

ノズル表						
符号	名称	呼称	数	管	継手	備考
N-1	給水口	80A	1	SGP	JIS10KF	防液面付(PVC)
N-2	給水口	20A 40A	1	BUS104 SGP	フタ JIS10KF	ポールタップ
N-3	揚水口	80A	2	SGP	JIS10KF	
N-4	溢水口	125A	1	SGP	JIS10KF	
N-5	排水口	50A	1	SGP	JIS10KF	
N-6	通気口	150A	1	SGP	JIS5KF	防虫網付(PVC)
N-7	電極座	50A 100A	2	PVC SGP	フタ JIS5KF	防液面カバー(PVC)
N-8	揚水口	65A	2	SGP	JIS10KF	
N-9	緊急時採水口	20A 40A	1	BUS104 SGP	フタ JIS10KF	ガードバルブ・検水栓付
M	マンホール	φ650	1	SS400	-	覆付カバー

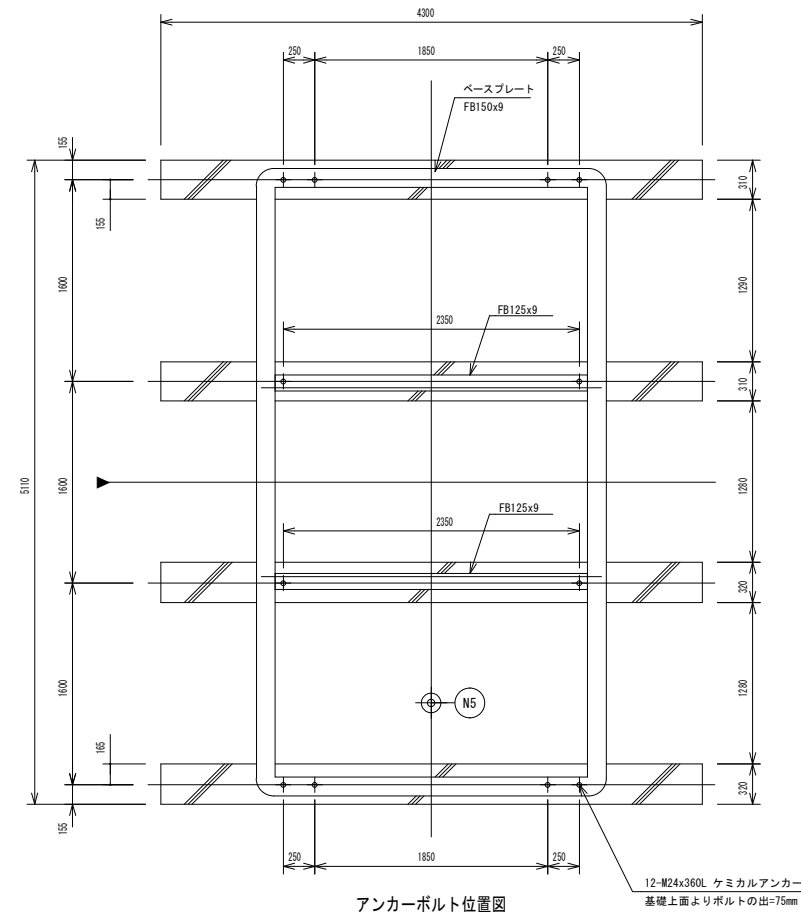
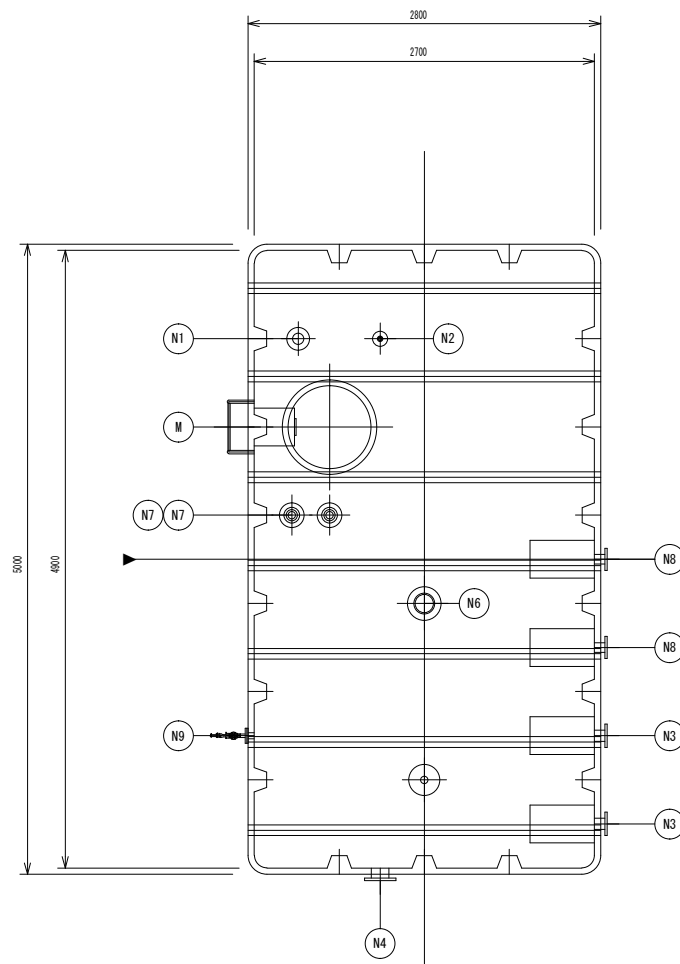
Mマンホールは内蓋付とする(合成樹脂製)
外面のフランジ材質はSS400とする

国土交通省告示構造基準適合品	
鋼板製一体型水槽	
槽の仕様	材質 SS400
容量	呼称= 有効=2.4m ³
板厚	天=4.5mm側=4.5mm底=6.0mm (JIS規格品使用)
製品質量	3420kg
防食仕様	材質 厚生労働省告示基準 適合エポキシ樹脂
内面施工	加熱硬化型エポキシライニング NE-204 厚サ=0.4mm以上
外面施工	加熱硬化型エポキシライニング NE-204 厚サ=0.2mm以上
施工法	無溶剤型ホットエアレススプレー
外装色	標準色: アイボリー(日塗工No. L22-80D)
設計震度	KH=1.5 KV=0.75
内梯子	合成樹脂製
外梯子	SGPの上溶融亜鉛メッキ仕上(HDZT49)
ボルト・ナット	水槽内部 気相部 合成樹脂製保護ボルト・ナット 液相部 SUS304 電極座及び通気口 硬質塩化ビニル マンホール SUS304 水槽外部 アンカーボルト・ナット SUS304 その他の部分 (SS鋼材)溶融亜鉛メッキ仕上

付属品		
緊急遮断弁	80A JIS10K (バタフライ弁)	2ヶ
緊急遮断弁	65A JIS10K (バタフライ弁)	2ヶ
緊急遮断弁制御盤		1ヶ

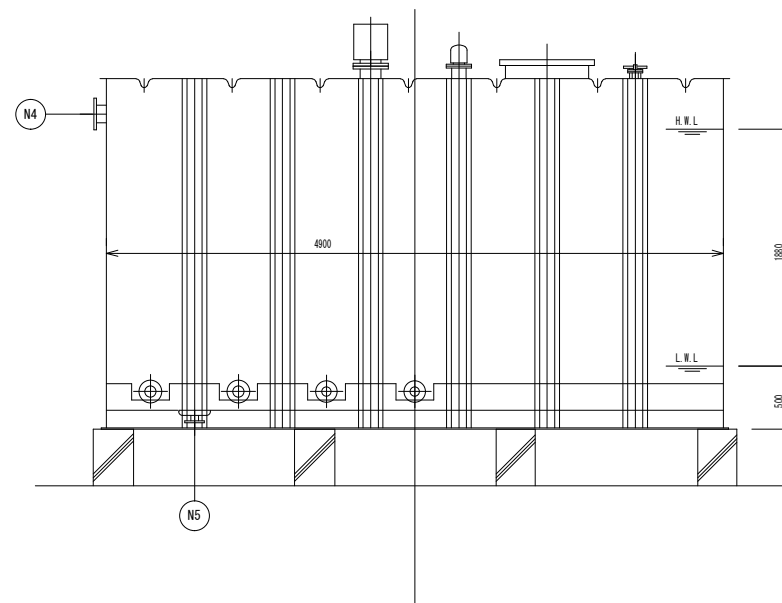
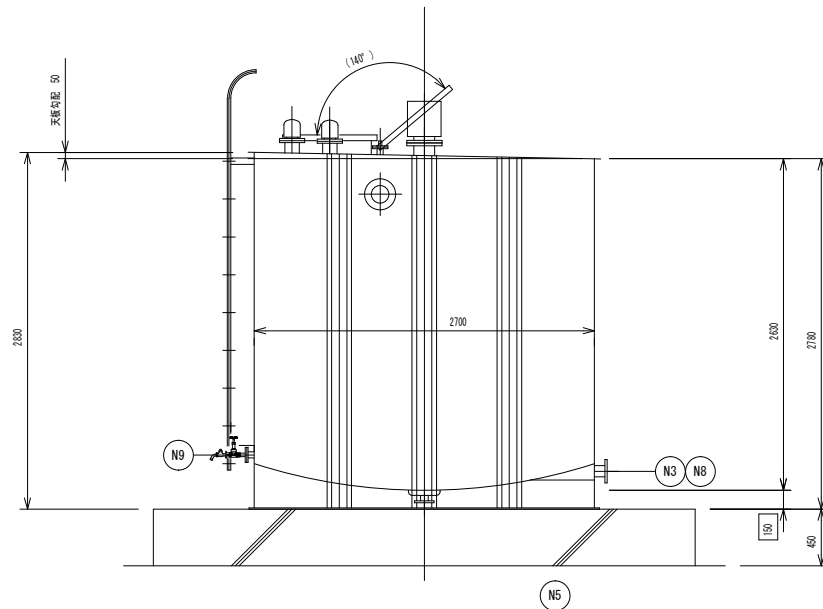


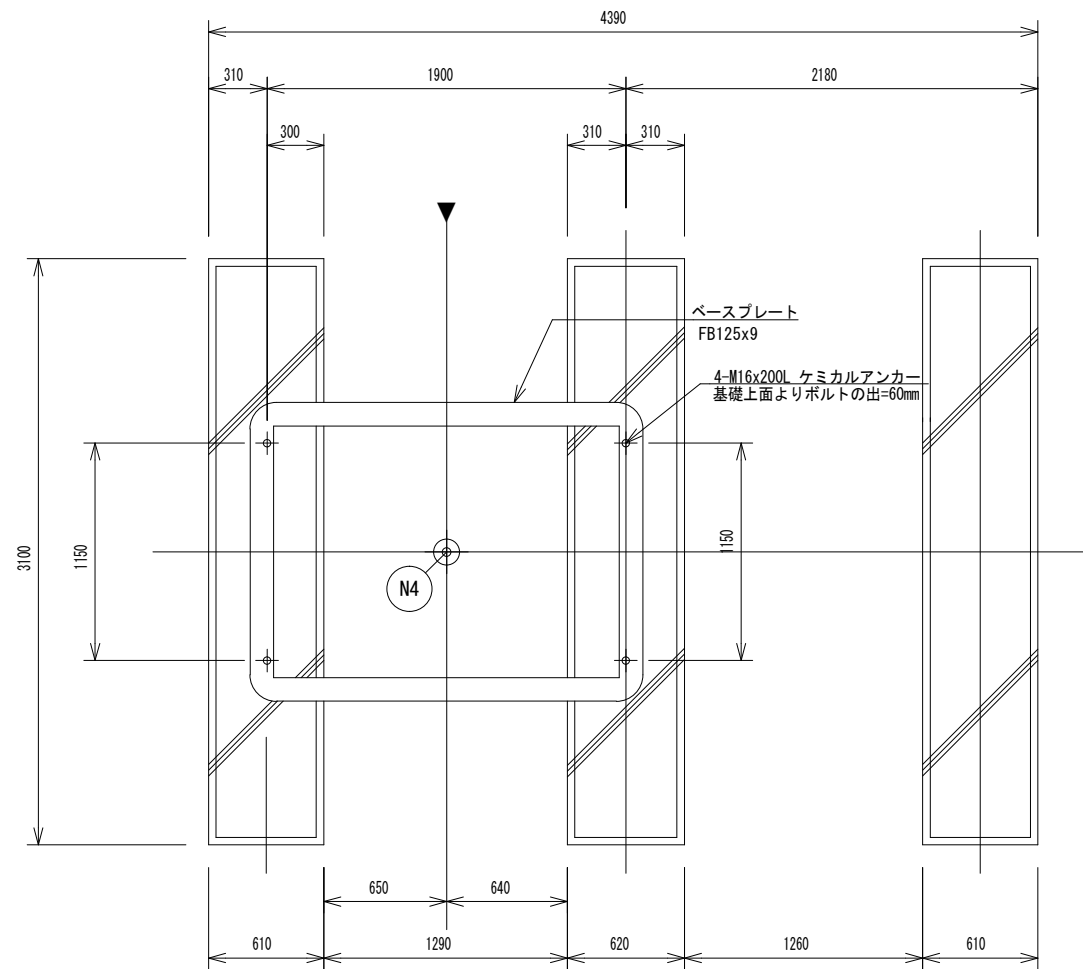
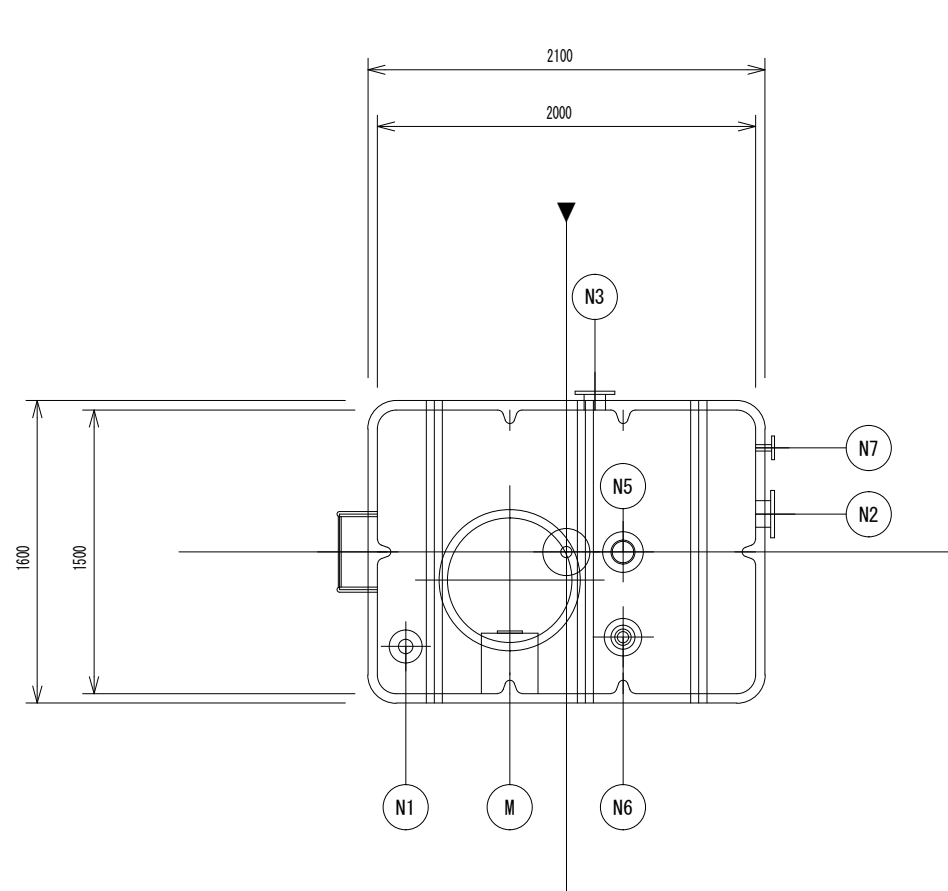
貯水槽用緊急遮断 制御盤
遮断弁4台制御用



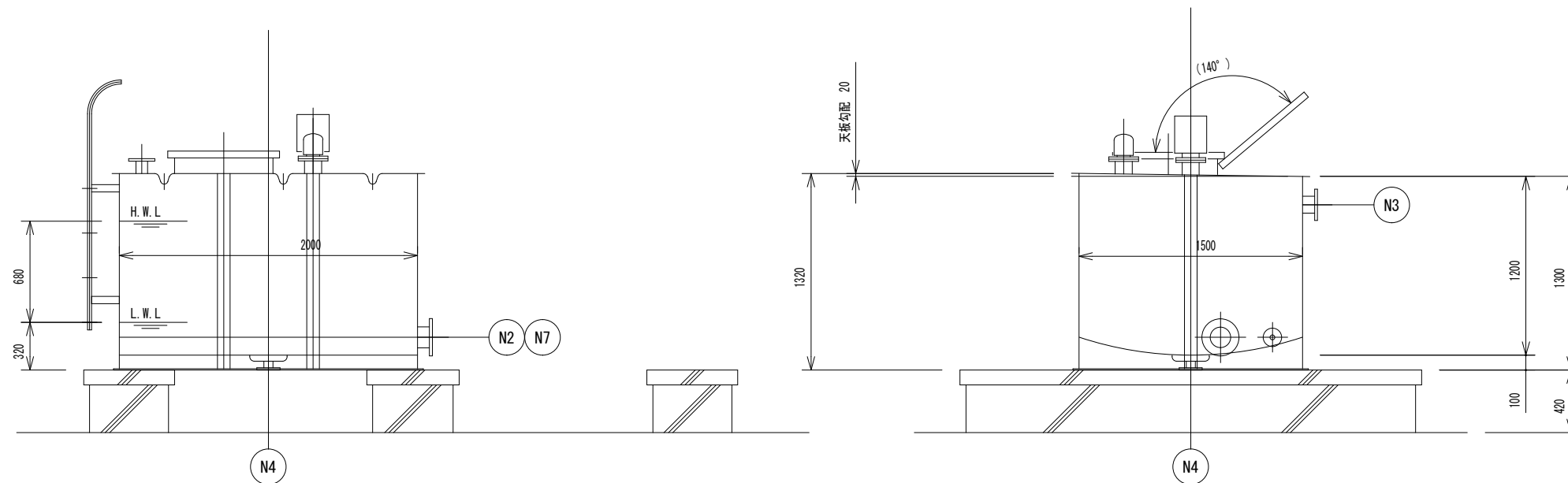
アンカーボルト位置図
(既設基礎使用)

12-M24x360L ケミカルアンカー
基礎上面よりボルトの出=75mm





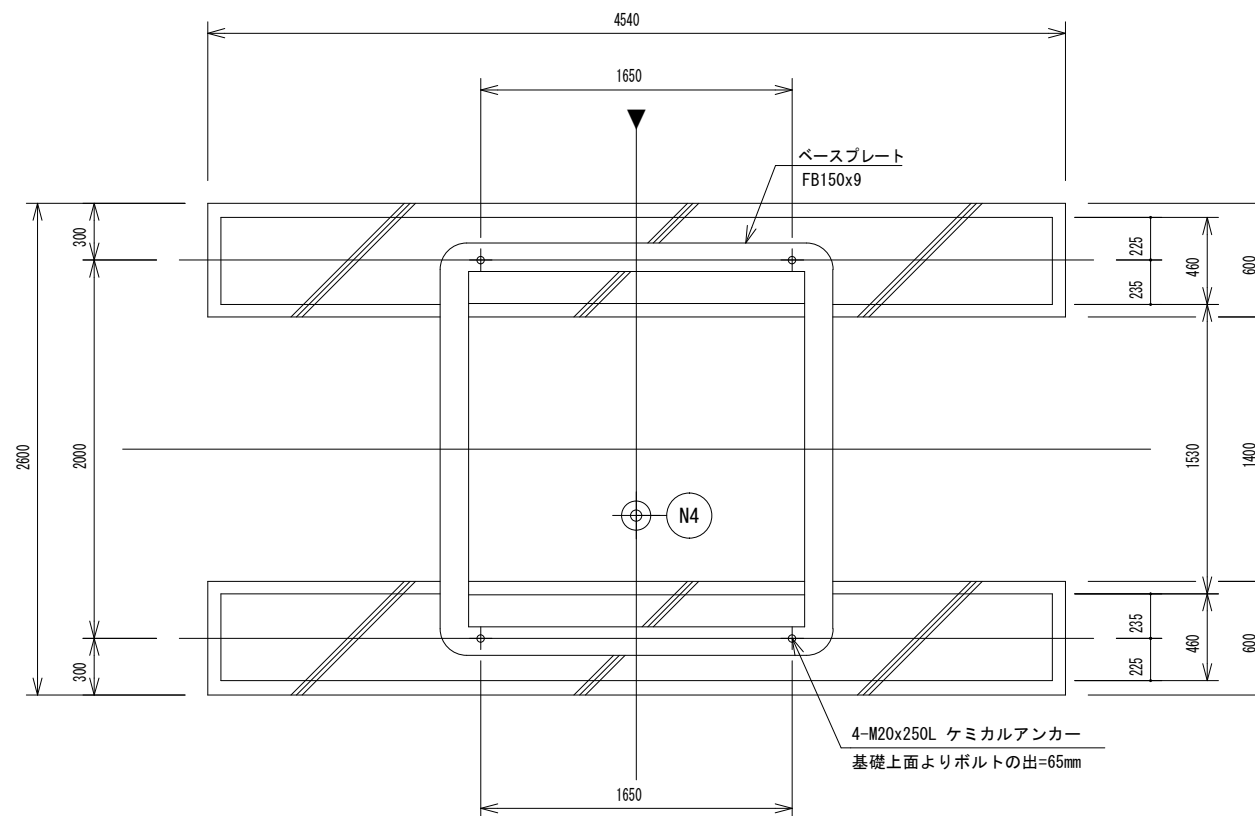
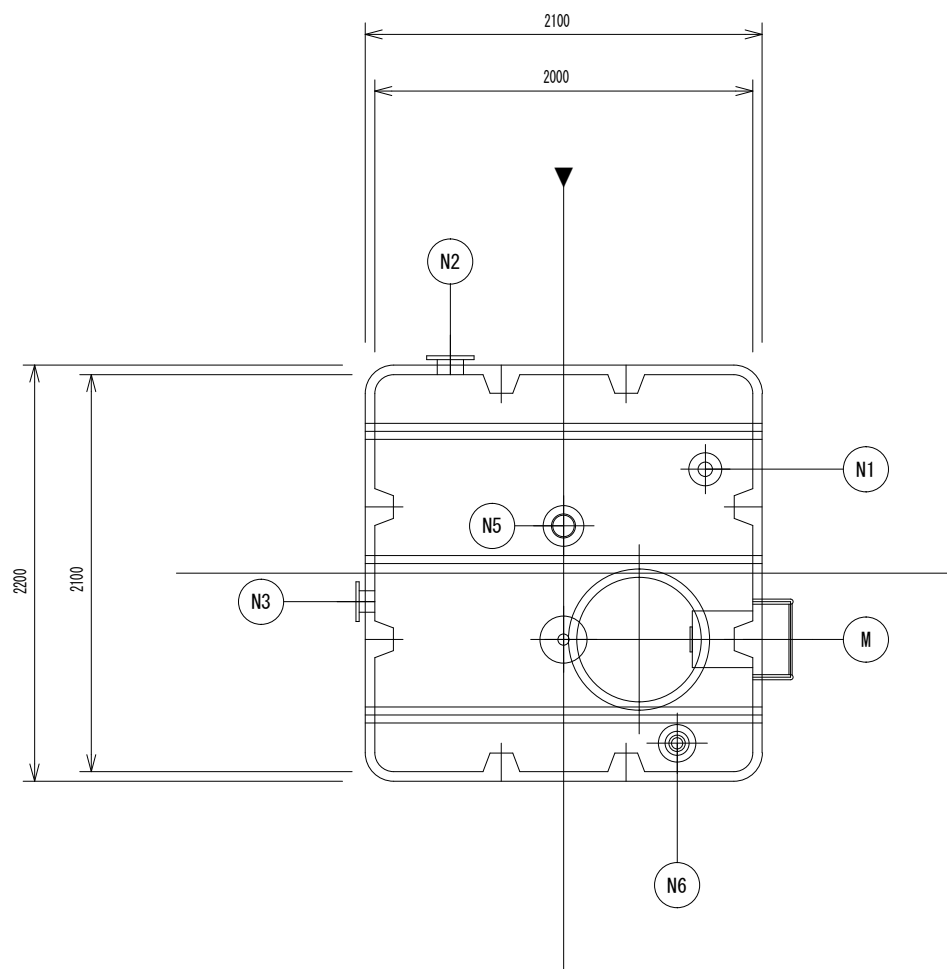
アンカーボルト位置図
(既設基礎使用)



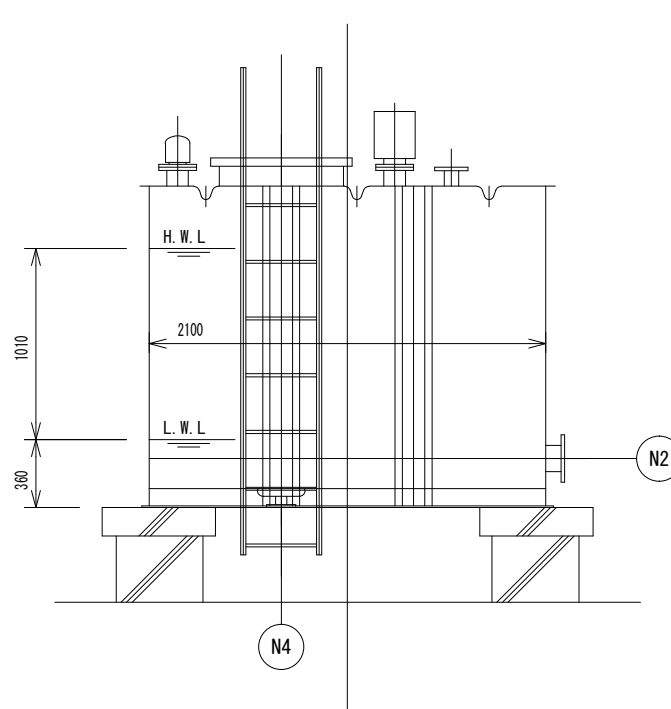
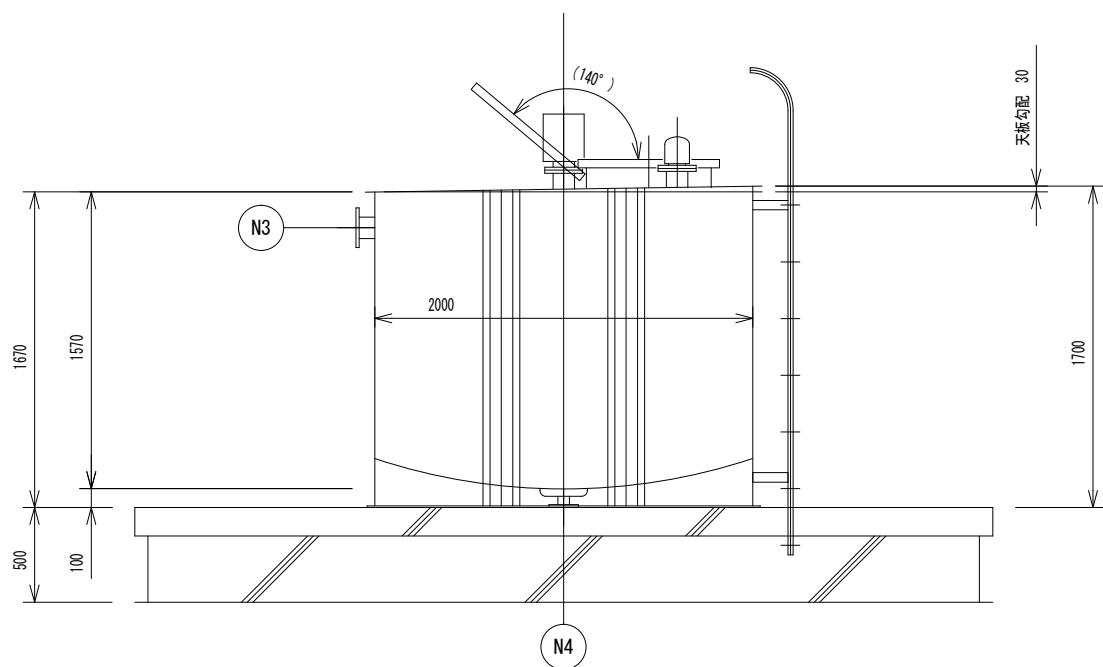
ノズル表						
符号	名称	呼数	管材	継手	備考	
N-1	揚水口	65A	1	SGP	JIS10KF	
N-2	給水口	125A	1	SGP	JIS10KF	
N-3	溢水口	100A	1	SGP	JIS10KF	
N-4	排水口	50A	1	SGP	JIS10KF	
N-5	通気口	100A	1	SGP	JIS5KF	防虫網付 (PVC)
N-6	電極座	50A 100A	1	PVC SGP	ソケット JIS5KF	防波筒・カバー付 (PVC)
N-7	消火補給水口	25A	1	SUS304	JIS10KF	
M	マンホール	φ650	1	SS400	-	鍍付カバー

Mマンホールは内蓋付とする(合成樹脂製)
外面のフランジ材質はSS400とする

槽の仕様		国土交通省告示構造基準適合品 鋼板製一体型水槽	
材質	SS400	容 量	呼称= 有効=2m ³
板厚	天=4.5mm側=4.5mm底=4.5mm (JIS規格品使用)	製品質量	810kg
防食仕様		材質	厚生労働省告示基準 適合エポキシ樹脂
内面施工	加熱硬化型エポキシライニング NE-204 厚サ=0.4mm以上	外面施工	加熱硬化型エポキシライニング NE-204 厚サ=0.2mm以上
施工法	無溶剤型ホットエアレススプレー	外装色	標準色: アイボリー (日塗工No. L22-80D)
設計震度	KH=2.0 KV=1.0	内梯子	合成樹脂製
外梯子	SGPの上溶融亜鉛メッキ仕上 (HDZT49)	ボルト・ナット	水槽内部 気相部 合成樹脂製保護ボルト・ナット 液相部 SUS304 水槽外部 電極座及び通気口 硬質塩化ビニル マンホール SUS304 アンカーボルト・ナット SUS304 その他の部分 (SS鋼材) 溶融亜鉛メッキ (HDZT49)



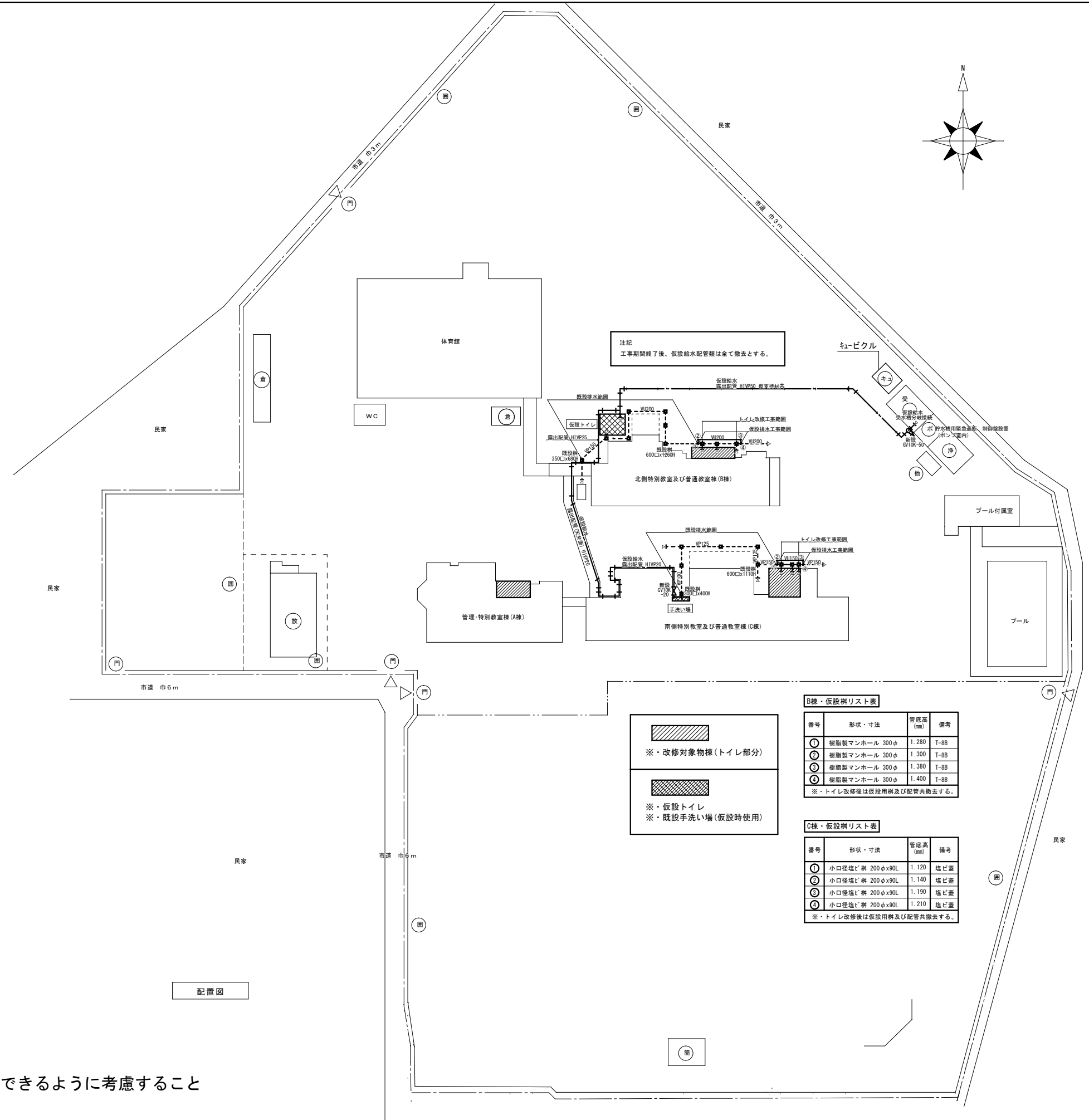
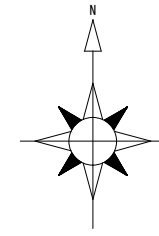
アンカーボルト位置図
(既設基礎使用)


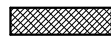


ノズル表						
符号	名称	呼数	管数	管材	継手	備考
N-1	揚水口	65A	1	SGP	JIS10KF	
N-2	給水口	125A	1	SGP	JIS10KF	
N-3	溢水口	100A	1	SGP	JIS10KF	
N-4	排水口	50A	1	SGP	JIS10KF	
N-5	通気口	100A	1	SGP	JIS5KF	防虫網付 (PVC)
N-6	電極座	50A 100A	1	PVC SGP	ソケット JIS5KF	防液筒・カバー付 (PVC)
M	マンホール	φ650	1	SS400	-	鍍付カバー

Mマンホールは内蓋付とする(合成樹脂製)
外面のフランジ材質はSS400とする

槽の仕様		国土交通省告示構造基準適合品 鋼板製一体型水槽	
材質	SS400	容 量	呼称= 有効= 4 m ³
板厚	天= 4.5mm 側= 4.5mm 底= 6.0mm	製品質量	1190kg
防食仕様	内面施工 NE-204 厚サ= 0.4mm以上	防食仕様	外面施工 NE-204 厚サ= 0.2mm以上
防食仕様	施工法 無溶剤型ホットエアレスプレー	外装色	標準色: アイボリー (日塗工No. L22-80D)
防食仕様	設計震度 KH= 2.0 KV= 1.0	内梯子	合成樹脂製
防食仕様	外梯子	SGPの上溶融亜鉛メッキ仕上 (HDZT49)	
ボルト・ナット	水槽内部 気相部 合成樹脂製保護ボルト・ナット 液相部 SUS304	水槽外部 電極座及び通気口 硬質塩化ビニル マンホール SUS304 アンカーボルト・ナット SUS304 その他の部分 (SS鋼材) 溶融亜鉛メッキ (HDZT49)	



 ※・改修対象物棟(トイレ部分)
 ※・仮設トイレ
 ※・既設手洗い場(仮設時使用)

B棟・仮設トイレリスト表

番号	形状・寸法	管底高 (mm)	備考
①	樹脂製マンホール 300φ	1,280	T-88
②	樹脂製マンホール 300φ	1,300	T-88
③	樹脂製マンホール 300φ	1,380	T-88
④	樹脂製マンホール 300φ	1,400	T-88

※・トイレ改修後は仮設用管及び配管共撤去する。

C棟・仮設トイレリスト表

番号	形状・寸法	管底高 (mm)	備考
①	小口径塩ビ管 200φx90L	1,120	塩ビ蓋
②	小口径塩ビ管 200φx90L	1,140	塩ビ蓋
③	小口径塩ビ管 200φx90L	1,190	塩ビ蓋
④	小口径塩ビ管 200φx90L	1,210	塩ビ蓋

※・トイレ改修後は仮設用管及び配管共撤去する。

配置図

※断水時でも仮設トイレが使用できるように考慮すること